

特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の利用定員及び待機児童の状況について

① 「特定教育・保育施設」及び「特定地域型保育事業」利用定員一覧

令和5年7月1日現在  
単位：人

日付	区分	施設数 (箇所)	1号	2号		3号			合計
				教育	保育	0歳	1・2歳	計	
R1	6	120	4,273	428	2,967	667	2,112	2,779	10,447
	特定教育・保育施設 特定地域型保育施設								
R2	4	120	4,213	547	3,014	671	2,151	2,822	10,596
	特定教育・保育施設 特定地域型保育施設								
R2	7	121	4,213	547	3,014	672	2,155	2,827	10,601
	特定教育・保育施設 特定地域型保育施設								
R3	4	121	4,083	577	3,047	710	2,204	2,914	10,621
	特定教育・保育施設 特定地域型保育施設								
R3	10	121	4,083	577	3,052	716	2,213	2,929	10,641
	特定教育・保育施設 特定地域型保育施設								
R4	4	116	3,663	747	3,020	720	2,223	2,943	10,373
	特定教育・保育施設 特定地域型保育施設								
R5	4	117	3,648	747	3,064	728	2,251	2,979	10,438
	特定教育・保育施設 特定地域型保育施設								
R5	7	117	3,648	747	3,100	728	2,256	2,984	10,479
	特定教育・保育施設 特定地域型保育施設								

利用定員の増減(令和4年4月 → 令和5年7月)

区分	施設数 (箇所)	1号	2号		3号			合計
			教育	保育	0歳	1・2歳	計	
特定教育・保育施設	0	△ 15	0	80	8	33	41	106
特定地域型保育施設								

②「特定教育・保育施設」及び「特定地域型保育事業」利用定員一覧(内訳)

令和5年7月1日現在

単位:人

区 分	施設数	認定区分						合計
		1号	2号		3号			
			教育	保育	0歳	1. 2歳	計	
特定教育・保育施設(A) (A)=(a)+(b)+(c)	90	3,648	747	3,100	617	1,970	2,587	10,082
幼稚園(a)	11	1,275	-	-	-	-	-	1,275
市立	7	510	-	-	-	-	-	510
私立	4	765	-	-	-	-	-	765
保育所(b)	60	-	-	3,100	563	1,802	2,365	5,465
市立	11	-	-	562	51	257	308	870
私立	49	-	-	2,538	512	1,545	2,057	4,595
認定こども園(c)	19	2,373	747	-	54	168	222	3,342
市立	5	320	179	-	7	34	41	540
私立	14	2,053	568	-	47	134	181	2,802
特定地域型保育事業(B)	27	-	-	-	111	286	397	397
家庭的保育事業	8	-	-	-	8	28	36	36
小規模保育事業	19	-	-	-	103	258	361	361
利用定員 計 (C)=(A+B)	117	3,648	747	3,100	728	2,256	2,984	10,479

## 保育所待機児童数の推移と利用定員の増減について

本市における保育所待機児童数は、これまでで最も少ない1人となりました。

本市でも、少子化は進んでおりますが、社会環境の変化による女性の就業率の向上や3歳以上の保育料無償化の影響により、保育需要は高い水準となっています。

令和6年度に向けても、さらなる保育定員の確保を行うとともに、これまでの施策を継続し、窓口でのきめ細やかな利用案内などで待機児童解消を目指してまいります。

### 1 待機児童数の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
待機数	116	158	123	113	30	18	23	8	3	1
0歳	6	18	19	4	5	0	0	0	0	0
1歳	38	64	52	66	10	13	2	1	2	0
2歳	38	34	29	23	8	2	4	1	0	0
3歳	23	34	15	19	5	3	15	5	1	1
4歳	5	5	6	1	0	0	2	0	0	0
5歳	6	3	2	0	2	0	0	1	0	0

### 2 令和4年度から令和5年度にかけての利用定員の増減

#### ①保育所の新設及び小規模保育事業から保育所への移行

**利用定員 110人増 19人減**

- ・こぼとりバティール保育園（自由が丘） 新設 定員50人
  - ・どんぐりの友保育園（開江町） 小規模保育事業から保育所へ移行 新設 定員60人
- ※小規模保育事業は廃止 △19人

#### ②利用定員の増減

**利用定員 30人増 10人減**

- ・ひかり保育園 増改築 20人増（100 → 120）
- ・のぎく保育園 増改築 20人増（60 → 80）
- ・ひばり保育園 変更 10人減（90 → 80）

### 3 令和6年4月1日の利用定員の増

**利用定員 30人増**

#### ①幼稚園から幼稚園型認定こども園への移行

- ・みどり幼稚園 幼稚園から幼稚園型認定こども園に移行 2号定員30人

#### ②利用定員の増

**利用定員 30人増**

- ・認定こども園大塚ひのまる幼稚園 変更 2号定員30人増（10 → 40）

## 水戸市第2期子ども・子育て支援事業計画の事業進捗について

### I 計画の概要

#### 1 計画策定の基本的事項

##### (1) 計画策定の趣旨

全国的な人口減少や少子高齢化により、家庭を取り巻く環境が大きく変化してきています。また、近年では児童虐待や子どもの貧困など、新たな課題に対応する必要が生じています。このため、社会全体で子どもと子育てを支援するため、子ども・子育て支援法（以下、「法」という。）に基づき策定しました。

##### (2) 計画期間

2020(令和2)年度から2024(令和6)年度までの5か年（法第61条第1項の規定による。）

#### 2 計画の基本的方向

##### (1) 目指す姿

子どもたちを笑顔で育むことができる、「安心して子どもを生み育てられるまち・水戸～すべての子どもたちが輝く未来のために～」を目指す姿とします。

##### (2) 基本方針

###### **基本方針Ⅰ 幼児教育・保育環境の充実**

計画的に保育の受け皿の拡大を進めるとともに、市立幼稚園の認定こども園への移行を図るなど、待機児童ゼロの達成及び継続並びに質の高い幼児教育・保育の充実に努めます。

###### **基本方針Ⅱ 総合的な放課後児童対策の推進**

放課後児童健全育成事業（開放学級及び学童クラブ）の充実を図り、全ての小学校における6年生までの受入れ並びに待機児童ゼロの達成及び継続に努めます。また、保護者の就労に関わらず、全ての児童が放課後等を安全に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境づくりを推進します。

###### **基本方針Ⅲ 地域における子育て支援の充実**

安心して子育てができるよう、市民ニーズを踏まえながら地域子ども・子育て支援事業を提供するほか、本市の実情に応じた独自の子育て支援サービスの充実を図ります。

###### **基本方針Ⅳ 健やかな妊娠・出産・育児への支援**

妊娠・出産・育児における切れ目ない支援を積極的に提供することにより、すべての妊産婦を心身ともに支えながら、乳幼児が健やかに成長できる環境づくりを推進します。

###### **基本方針Ⅴ 社会全体で子どもを支える環境づくり**

すべての子どもが安全で安心に暮らせる環境のもとに生まれ、健やかに育まれるよう、児童虐待防止対策の強化や子どもの貧困対策を推進します。また、子どもの発達に不安を抱える保護者が安心して子育てできるよう、子どもの発達支援の充実を図ります。

3 施策の体系

【目指す姿】	【基本方針】	【基本施策】	【具体的施策】
<p>安心して子どもを すすべての子どもたちが輝く未来のために す 育てられるまち・水戸</p>	I 幼児教育・保育環境の充実	1 各種保育サービスの充実 2 教育・保育環境等の充実	(1)各種保育サービスの充実 (2)よりよい子育て環境づくりの促進 (1)就学前の教育・保育の充実
	II 総合的な放課後児童対策の推進	1 放課後等の児童の健全育成	(1)放課後児童健全育成事業の充実 (2)放課後子ども教室の充実 (3)開放学級と放課後子ども教室の一体的な運営の推進
	III 地域における子育て支援の充実	1 子育て支援サービスの充実 2 子育てを支援する生活環境の整備	(1)各種子育て支援サービスの充実 (2)育児情報の提供及び相談体制の充実 (1)生活環境の整備 (2)防犯・安全対策の推進
	IV 健やかな妊娠・出産・育児への支援	1 妊娠・出産への支援	(1)妊産婦の健康診査・医療等の充実 (2)不妊等への支援 (3)妊産婦への保健指導等の充実
		2 乳幼児の健康づくりへの支援	(1)乳幼児の健康診査・医療等の充実 (2)子育て相談・教室等の充実 (3)訪問指導体制の充実
		3 思春期保健対策の充実	(1)健康相談・教育の充実
	V 社会全体で子どもを支える環境づくり	1 児童虐待防止対策の充実	(1)未然防止・早期発見のための体制整備 (2)要保護・要支援児童等への支援
		2 子どもの貧困対策の推進	(1)教育支援の充実 (2)生活支援の充実 (3)保護者の就労支援の充実 (4)経済的支援の充実
		3 配慮が必要な子どもへの支援の充実	(1)発達に心配のある子どもへの支援 (2)障害のある子どもへの日常生活支援 (3)外国につながる子どもへの支援
		4 ワーク・ライフ・バランスの促進	(1)仕事と家庭生活の調和の促進 (2)結婚支援・出会いの場の創出

II 計画の事業進捗について

1 教育・保育

【量の見込みと確保方策】

《計画》

	1号認定										2号認定										3号認定																				
	3歳					4,5歳					3歳					4,5歳					0歳					1歳					2歳										
	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		過不足	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		過不足	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		過不足	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		地域型保育		過不足	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		地域型保育		過不足	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		地域型保育		過不足					
			市内分	市外分				市内分	市外分				市内分	市外分				市内分	市外分	市内分	市外分				小規模保育	家庭的保育	市内分	市外分				小規模保育	家庭的保育	市内分	市外分		小規模保育	家庭的保育			
A	B			B-A	A	B			B-A	A	B			B-A	A	B			B-A	A	B			B-A	A	B			B-A	A	B			B-A							
2020 (R2)年度	827	932	877	55	105	2,213	3,281	3,181	100	1,068	1,083	1,124	1,087	37	41	2,128	2,248	2,169	79	120	335	667	530	14	115	8	332	980	1,068	875	30	151	12	88	1,034	1,126	927	36	152	11	92
2021 (R3)年度	813	932	877	55	119	2,264	3,151	3,051	100	887	1,097	1,144	1,107	37	47	2,243	2,288	2,209	79	45	328	687	550	14	115	8	359	1,054	1,088	895	30	151	12	34	990	1,136	937	36	152	11	146
2022 (R4)年度	741	962	907	55	221	2,196	2,711	2,611	100	515	1,030	1,164	1,127	37	134	2,242	2,328	2,249	79	86	322	697	560	14	115	8	375	1,049	1,098	905	30	151	12	49	1,064	1,136	937	36	152	11	72
2023 (R5)年度	774	962	907	55	188	2,078	2,711	2,611	100	633	1,110	1,164	1,127	37	54	2,187	2,328	2,249	79	141	317	707	570	14	115	8	390	1,045	1,108	915	30	151	12	63	1,059	1,136	937	36	152	11	77
2024 (R6)年度	748	962	907	55	214	2,027	2,711	2,611	100	684	1,104	1,164	1,127	37	60	2,198	2,328	2,249	79	130	312	707	570	14	115	8	395	1,043	1,108	915	30	151	12	65	1,055	1,136	937	36	152	11	81

《実績》 ※ 4月1日現在

	1号認定										2号認定										3号認定																				
	3歳					4,5歳					3歳					4,5歳					0歳					1歳					2歳										
	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		過不足	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		過不足	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		過不足	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		地域型保育		過不足	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		地域型保育		過不足	量の見込み	確保方策	特定教育・保育施設		地域型保育		過不足					
			市内分	市外分				市内分	市外分				市内分	市外分				市内分	市外分	市内分	市外分				小規模保育	家庭的保育	市内分	市外分				小規模保育	家庭的保育	市内分	市外分		小規模保育	家庭的保育			
A	B			B-A	A	B			B-A	A	B			B-A	A	B			B-A	A	B			B-A	A	B			B-A	A	B			B-A							
2022 (R4)年度	706	924	887	37	218	1,598	2,880	2,776	104	1,282	1,212	1,237	1,213	24	25	2,524	2,610	2,554	56	86	302	725	603	5	109	8	423	974	1,076	911	17	133	15	102	1,121	1,184	1,013	20	138	13	63

2022(R4)年度比較<実績-計画>

2022 (R4)年度	△ 35	△ 38	△ 20	△ 18	△ 3	△ 598	169	165	4	767	182	73	86	△ 13	△ 109	282	282	305	△ 23	0	△ 20	28	43	△ 9	△ 6	0	48	△ 75	△ 22	6	△ 13	△ 18	3	53	57	48	76	△ 16	△ 14	2	△ 9
-------------	------	------	------	------	-----	-------	-----	-----	---	-----	-----	----	----	------	-------	-----	-----	-----	------	---	------	----	----	-----	-----	---	----	------	------	---	------	------	---	----	----	----	----	------	------	---	-----

## 2 地域子ども・子育て支援事業

### (1) 延長保育事業（時間外保育事業）

保護者の就労等のやむを得ない理由により、通常の利用時間を超えて保育を実施する事業です。

#### 【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み	3,336 人	3,427 人	3,424 人	3,431 人	3,427 人
B 確保方策	3,336 人	3,427 人	3,424 人	3,431 人	3,427 人
	93 か所	94 か所	94 か所	94 か所	94 か所
B - A	0	0	0	0	0

C 実績	3,119 人	3,266 人	3,253 人		
	95 か所	95 か所	96 か所		
C - B	△ 217 人	△ 161 人	△ 171 人		

### (2) 一時預かり事業

#### ① 一時預かり事業（幼稚園型）

幼稚園・認定こども園において、通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに、保護者の要望等に応じて、在園児を一時的に預かる事業です。

#### 【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み	51,984 人	52,617 人	50,223 人	48,769 人	47,453 人
B 確保方策	51,984 人	52,617 人	50,223 人	48,769 人	47,453 人
	33 か所	33 か所	33 か所	33 か所	33 か所
B - A	0	0	0	0	0

C 実績	60,218 人	67,845 人	67,864 人		
	33 か所	31 か所	30 か所		
C - B	8,234 人	15,228 人	17,641 人		

② 一時預かり事業（幼稚園型以外）

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を預かる事業です。

【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み	11,746 人日	11,777 人日	11,697 人日	11,629 人日	11,549 人日
B 確保方策	11,746 人日	11,777 人日	11,697 人日	11,629 人日	11,549 人日
保育所等	5,391 人日	5,422 人日	5,342 人日	5,274 人日	5,194 人日
	58 か所	59 か所	59 か所	59 か所	59 か所
スマイル・キッズ	1,560 人日	1,560 人日	1,560 人日	1,560 人日	1,560 人日
	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
子育て支援・多 世代交流センター	3,880 人日	3,880 人日	3,880 人日	3,880 人日	3,880 人日
	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所
ファミリー・サポ ート・センター	900 人日	900 人日	900 人日	900 人日	900 人日
	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
トワイライトステ イ	15 人日	15 人日	15 人日	15 人日	15 人日
	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所
B - A	0	0	0	0	0

C 実績	8,731 人日	8,080 人日	8,202 人日		
保育所等	4,189 人日	3,781 人日	3,412 人日		
	44 か所	45 か所	44 か所		
スマイル・キッズ	1,415 人日	1,286 人日	1,712 人日		
	1 か所	1 か所	1 か所		
子育て支援・多 世代交流センター	1,815 人日	1,780 人日	1,865 人日		
	2 か所	2 か所	2 か所		
ファミリー・サポ ート・センター	1,312 人日	1,233 人日	1,213 人日		
	1 か所	1 か所	1 か所		
トワイライトステ イ	0	0	0		
	0	0	0		
C-B	△ 3,015 人日	△ 3,697 人日	△ 3,495 人日		



(3) 病児保育事業、ファミリー・サポート・センター（病児・病後児）

病気あるいは病気回復期などのため、保育所等での集団保育が困難な児童を預かる事業です。民間保育所等が実施する病児・病後児保育とファミリー・サポート・センターが実施する事業があります。

【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度	
A 量の見込み	1,070 人日	1,150 人日	1,300 人日	1,300 人日	1,300 人日	
B 確保方策	1,070 人日	1,150 人日	1,300 人日	1,300 人日	1,300 人日	
	10 か所	11 か所	12 か所	12 か所	12 か所	
	病児保育事業	970 人日	1,050 人日	1,200 人日	1,200 人日	1,200 人日
		9か所	10 か所	11 か所	11 か所	11 か所
	ファミリー・サポート・センター (病児・病後児)	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日
1か所		1か所	1か所	1か所	1か所	
B - A	0	0	0	0	0	

C 実績	407 人日	603 人日	550 人日		
	8か所	8か所	8か所		
病児・病後児保育事業	381 人日	593 人日	549 人日		
	7か所	7か所	7か所		
ファミリー・サポート・センター (病児・病後児)	26 人日	10 人日	1 人日		
	1か所	1か所	1か所		
C-B	△663 人日	△ 547 人日	△ 750 人日		

(4) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター【就学児対象】）

ファミリー・サポート・センターが実施する事業のうち、就学児を対象に学童クラブや習い事への送迎等を行う事業です。

【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み	2,760 人日	2,760 人日	2,760 人日	2,760 人日	2,760 人日
B 確保方策	2,760 人日	2,760 人日	2,760 人日	2,760 人日	2,760 人日
B - A	0	0	0	0	0

C 実績	1,876 人日	1,783 人日	1,840 人日		
C - B	△ 884 人日	△ 977 人日	△ 920 人日		

(5) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者が疾病、出産、育児疲れなどにより、一時的に子どもの養育が困難になった場合に、乳児院や児童養護施設等において、子どもを預かる事業です。

【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み	600 人日	600 人日	600 人日	600 人日	600 人日
B 確保方策	600 人日 5か所	600 人日 5か所	600 人日 5か所	600 人日 5か所	600 人日 5か所
B - A	0	0	0	0	0

C 実績	152 人日 4か所	245 人日 4か所	284 人日 4か所		
C - B	△ 448 人日	△ 355 人日	△ 316 人日		

(6) 利用者支援事業

教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう，身近な場所で情報提供を行い，必要に応じて相談・助言等を行う（基本型・特定型）ほか，妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に対応する（母子保健型）事業です。

【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
基本型・特定型	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
母子保健型	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
B 確保方策	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
基本型・特定型	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
母子保健型	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
B - A	0	0	0	0	0

C 実績	2か所	2か所	2か所		
基本型・特定型	1か所	1か所	1か所		
母子保健型	1か所	1か所	1か所		
C - B	0	0	0		

(7) 地域子育て支援拠点事業

公共施設、保育所、認定こども園等に、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み	10,200 人回	10,800 人回	11,400 人回	12,000 人回	12,000 人回
B 確保方策	17 か所	18 か所	19 か所	20 か所	20 か所

C 実績		2,311 人回	2,827 人回	4,081 人回		
		16 か所	16 か所	17 か所		
子育て支援・多世代交流センター		1,077 人回	1,325 人回	1,934 人回		
		2か所	2か所	2か所		
ぽかぽかつどいの広場		101 人回	116 人回	144 人回		
		1か所	1か所	1か所		
民間保育所, 認定こども園		882 人回	1,278 人回	1,730 人回		
		9か所	9か所	10 か所		
市立保育所, 認定こども園		251 人回	108 人回	273 人回		
		4か所	4か所	4か所		
C-A		△7,889 人回	△ 7,973 人回	△ 7,319 人回		
C-B		△ 1か所	△ 2か所	△ 2か所		

(8)-1 妊婦健康診査事業

妊婦を対象とした定期的な健康診査で、妊婦健康診査費用（14回分）を助成する事業です。

【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み (延べ人数)	32,115 人	31,465 人	30,945 人	30,425 人	29,905 人
確保方策 (実施体制・実施機関)	直営 地域保健課				

※ R4～子育て支援課

B 実績	25,104 人	24,145 人	23,278 人		
B-A	△ 7,011 人	△ 7,320 人	△ 7,667 人		

(8)-2 産婦健康診査事業

産婦を対象とした健康診査で、産後2週間及び1か月の2回、産婦健康診査費用を助成し、産後うつ等のリスクを早期に把握し、支援に繋げる事業です。

【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み (延べ人数)	4,566 人	4,476 人	4,390 人	4,316 人	4,250 人
確保方策 (実施体制・実施機関)	直営 地域保健課				

※ R4～子育て支援課

B 実績	3,374 人	3,500 人	3,429 人		
B-A	△ 1,192 人	△ 976 人	△ 961 人		

(9) 乳児家庭全戸訪問事業

子育ての孤立化を防ぐため、保健師等が乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供を行う事業です。

【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み	2,283 人	2,238 人	2,195 人	2,158 人	2,125 人
確保方策 (実施体制・実施機関)	2,283 人	2,238 人	2,195 人	2,158 人	2,125 人
直営 地域保健課					

※ R4～子育て支援課

B 実績	1,802 人	1,857 人	1,842 人		
B-A	△ 481 人	△ 381 人	△ 353 人		

(10) 養育支援訪問事業

育児支援が必要な家庭を対象に、定期的に子育てアドバイザーが訪問し、相談、助言を行う事業です。

【量の見込みと確保方策】

○養育支援訪問事業

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み	30 人	30 人	30 人	30 人	30 人
確保方策 (実施体制・実施機関)	30 人	30 人	30 人	30 人	30 人
直営 地域保健課					

※ R4～子育て支援課

B 実績	17 人	13 人	18 人		
B-A	△ 13 人	△ 17 人	△ 12 人		

(11) 放課後児童健全育成事業

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童（小学校に就学している児童）に、放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る事業です。本市では、この事業を開放学級及び学童クラブで実施します。

※ 「開放学級」については、名称から事業内容をわかりやすくするため、令和4年4月1日から名称を「放課後学級」へ変更しました。

【量の見込みと確保方策】

	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度
A 量の見込み	4,454 人	4,440 人	4,538 人	4,636 人	4,742 人
B 確保方策	4,514 人	4,666 人	4,666 人	4,706 人	4,762 人
	90 か所	93 か所	93 か所	94 か所	95 か所
B - A	60 人	226 人	128 人	70 人	20 人

C 実績	5,022 人	5,128 人	5,357 人		
	96 か所	98 か所	98 か所		
学童クラブ	969 人	1,079 人	1,053 人		
	22 か所	23 か所	23 か所		
開放学級	4,053 人	4,049 人	4,304 人		
	74 か所	75 か所	75 か所		
C - B	508 人	462 人	691 人		

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

保護者の世帯の所得状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具等の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業です。

【具体的施策の実施状況】

	2022（R4）年度実績
補足給付対象者数	67人

(13) 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

教育・保育施設や子ども・子育て支援事業の量的拡大を図るため、事業実施に関する相談や手続きに関する支援等を行い、多様な事業者の新規参入を促進する事業です。

【具体的施策の実施状況】（社会福祉法人以外の事業者）

（施設数）

	2022（R4）年度実績
民間保育所	1（特定非営利活動法人）
小規模保育事業	—



I 幼児教育・保育環境の充実

1 各種保育サービスの充実

(1) 各種保育サービスの充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
1	民間保育所の整備促進	民間保育所の整備を支援するとともに、老朽化した既存施設の増改築を促進します。	民間保育所 43か所 (分園除く)	・待機児童数 令和2年4月1日 23人 令和2年10月1日 87人 ・民間保育所増改築支援 保育所2か所	R2決算 170,100 R3予算 340,200	・待機児童数 令和3年4月1日 8人 令和3年10月1日 44人 ・民間保育所増改築支援 保育所3か所	R3決算 510,300 R4予算 340,200	・待機児童数 令和4年4月1日 3人 令和4年10月1日 23人 ・民間保育所増改築支援 保育所2か所	R4決算 340,200 R5予算 -	民間保育所 46か所 (分園除く) うち増改築6か所	幼児保育課
2	地域型保育事業の拡充	小規模保育事業、家庭的保育事業等の拡充を図ります。	小規模保育事業 19か所 家庭的保育事業 7か所	・小規模保育事業 22か所 ・家庭的保育事業 8か所	R2決算 874,514 R3予算 小規模 828,000 家庭的 95,000	・小規模保育事業 22か所 ・家庭的保育事業 8か所	R3決算 851,876 R4予算 小規模 761,000 家庭的 96,000	・小規模保育事業 20か所 ・家庭的保育事業 8か所	R4決算 788,438 R5予算 小規模 766,000 家庭的 104,000	小規模保育事業 22か所 家庭的保育事業 10か所	幼児保育課
3	延長保育事業の推進	就労形態の多様化に伴い、保育時間を延長して子どもを預かる延長保育を実施します。	認定こども園 保育所等 88か所	・実施数 79か所 (市立13 民間82) ・延べ利用者数79,489人	R2決算 37,723 R3予算 48,325	・実施数 96か所 (市立13 民間83) ・延べ利用者数86,526人	R3決算 30,470 R4予算 42,874	・実施数 96か所 (市立13 民間83) ・延べ利用者数94,186人	R4決算 29,340 R5予算 35,597	認定こども園 保育所等 94か所	幼児保育課
4	一時預かり事業の推進(幼稚園型)	幼稚園や認定こども園に在籍する満3歳以上の子どもを、教育時間を超えて又は長期休業期間に一時的に預かる事業を推進します。	幼稚園・ 認定こども園 33か所	実施数 ・幼稚園・認定こども園 33か所	R2決算 4,646 R3予算 6,000	実施数 ・幼稚園・認定こども園 29か所	R3決算 3,817 R4予算 15,600	実施数 ・幼稚園・認定こども園 30か所	R4決算 8,812 R5予算 12,900	幼稚園・ 認定こども園 33か所	幼児保育課
5	認可外保育施設への支援	認可外保育施設に関する情報を保護者に提供するとともに、認可外保育施設の職員に対する健康診断に要する費用の補助を行います。	一部実施	・職員健康診断補助 6施設対象 ・児童健康診断等補助 6施設対象	R2決算 537 R3予算 810	・職員健康診断補助 6施設対象 ・児童健康診断等補助 6施設対象	R3決算 810 R4予算 630	・職員健康診断補助 6施設対象 ・児童健康診断等補助 6施設対象	R4決算 466 R5予算 531	継続	幼児保育課
6	障害児保育事業の推進	集団保育が可能な軽・中程度の障害をもつ子どもを受け入れ保育を行う保育所に対し、支援を行います。	実施	・市立保育所・認定こども園 13か所		・市立保育所・認定こども園 13か所 ・民間保育所・認定こども園 16か所	R3決算 10,920 R4予算 13,680	・市立保育所・認定こども園 13か所 ・民間保育所・認定こども園 16か所	R4決算 16,250 R5予算 17,280	継続	幼児保育課

(2) よりよい子育て環境づくりの促進

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
7	保育所地域活動事業の推進	世代間交流や異年齢児交流等の事業を行います。	実施	・保育所の有する専門機能を 活かした世代間交流や異年齢 児交流等の事業を自主事業と して実施	R2決算 - R3予算 -	・保育所の有する専門機能を 活かした世代間交流や異年齢 児交流等の事業を自主事業と して実施	R3決算 - R4予算 -	・保育所の有する専門機能を 活かした世代間交流や異年齢 児交流等の事業を自主事業と して実施	R4決算 - R5予算 -	継続	幼児保育課
8	園庭開放(幼稚園・保育所等)の推進	入園(所)児と地域の子どもの交流、保護者への育児相談など、園庭開放を推進します。	実施	・市立幼稚園16か所 (延べ利用者数49人) ・市立保育所11か所 (延べ利用者数16人) ・市立認定こども園 (延べ利用者数812人)	R2決算 82 R3予算 101	・市立幼稚園13か所 (延べ利用者数324人) ・市立保育所11か所 (延べ利用者数1,001人) ・市立認定こども園3か所 (延べ利用者数336人)	R3決算 85 R4予算 69	・市立幼稚園7か所 (延べ利用者数591人) ・市立保育所11か所 (延べ利用者数1,313人) ・市立認定こども園3か所 (延べ利用者数252人)	R4決算 69 R5予算 61	継続	幼児保育課

## 2 教育・保育環境等の充実

### (1) 就学前の教育・保育の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
9	質の高い幼児教育の提供	幼児教育アドバイザーが幼稚園、保育所、認定こども園を巡回し、助言等を行います。	実施	・計画訪問等 各施設年4回	R2決算 — R3予算 —	・計画訪問等 各施設年4回	R3決算 — R4予算 —	・計画訪問等 各施設年4回	R4決算 — R5予算 —	継続	幼児保育課
10	幼稚園、保育所、認定こども園と小学校の連携の強化	幼稚園、保育所、認定こども園と小学校との連携を強化します。	一部実施	・アプローチ・スタートカリキュラムの改訂 ・アプローチ・スタートカリキュラムの活用 ・幼児教育と小学校教育接続のための協議会設置	R2決算 102 R3予算 —	・アプローチ・スタートカリキュラムの改訂 ・アプローチ・スタートカリキュラムの活用 ・幼児教育と小学校教育接続のための協議会実施	R3決算 — R4予算 —	・アプローチ・スタートカリキュラムの活用 ・幼児教育と小学校教育接続のための協議会実施	R4決算 — R5予算 —	継続	幼児保育課 教育研究課
11	アプローチスタートカリキュラムによる小学校への接続	アプローチ・スタートカリキュラムとして、研修会等を充実することにより、幼児の小学校への円滑な接続を図ります。	実施	・アプローチ・スタートカリキュラムの改訂	R2決算 — R3予算 —	・アプローチ・スタートカリキュラムの改訂 ・アプローチ・スタートカリキュラムの活用	R3決算 — R4予算 —	・アプローチ・スタートカリキュラムの活用	R4決算 — R5予算 —	継続	幼児保育課 教育研究課
12	市立幼稚園の再編	市立幼稚園を再編し、適正配置を図ります。	検討	・稲荷第一幼稚園・常澄保育所及び内原幼稚園・内原保育所を幼保連携型認定こども園に移行 ・飯富幼稚園及び稲荷第二幼	R2決算 — R3予算 —	・石川幼稚園を幼稚園型認定こども園に移行 ・城東幼稚園・千波幼稚園・梅が丘幼稚園及び妻里幼稚園廃止	R3決算 — R4予算 —	・浜田幼稚園・常磐幼稚園を幼稚園型認定こども園に移行 ・緑岡幼稚園・酒門幼稚園を3年保育へ移行	R4決算 — R5予算 —	実施	幼児保育課
13	認定こども園への移行促進	質の高い幼児教育・保育のため、市立幼稚園の認定こども園への移行を推進します。	実施	・稲荷第一幼稚園・常澄保育所及び内原幼稚園・内原保育所を幼保連携型認定こども園に移行	R2決算 — R3予算 —	・石川幼稚園を幼稚園型認定こども園に移行	R3決算 — R4予算 —	・浜田幼稚園・常磐幼稚園を幼稚園型認定こども園に移行	R4決算 — R5予算 —	継続	幼児保育課
14	保育士確保のための支援	市内で働く保育士確保のため、新卒保育士や潜在保育士に対する支援を図ります。	実施	・保育士等就労支援補助金 31人 ・新卒保育士等就労奨励補助金 44人 ・保育体制強化事業補助金 5園 ・保育補助者雇上強化事業補助金 2園	R2決算 10,805 R3予算 46,996	・保育士等就労支援補助金 18人 ・新卒保育士等就労奨励補助金 33人 ・保育体制強化事業補助金 12園 ・保育補助者雇上強化事業補助金 3園	R3決算 19,321 R4予算 64,936	・保育士等就労支援補助金 13人 ・新卒保育士等就労奨励補助金 11人 ・保育体制強化事業補助金 21園 ・保育補助者雇上強化事業補助金 9園	R4決算 35,203 R5予算 52,280	継続	幼児保育課
15	保育士確保のための他機関との連携	民間保育所やハローワークと連携した保育の職場体験講習会などを実施し、官・民協働で市内で働く保育士を確保します。	実施	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	R2決算 — R3予算 —	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	R3決算 — R4予算 —	・ハローワークとの合同説明会を実施	R4決算 — R5予算 —	継続	幼児保育課
16	教育・保育の質の向上	教育・保育の質の向上のため、幼稚園教諭や保育士等の合同研修を開催するなど、各種研修の充実を図ります。	一部実施	・幼児安全法講習会	R2決算 — R3予算 —	・幼児安全法講習会	R3決算 — R4予算 —	・幼児安全法講習会	R4決算 — R5予算 —	継続	幼児保育課

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
17	教育・保育施設への運営指導の実施	安全な環境のもとで、質の高い教育・保育を提供できるよう、事業者等に対し、指導監督等を実施します。	実施		R2決算 — R3予算 —		R3決算 — R4予算 —		R4決算 — R5予算 —	継続	幼児保育課
18	保護者の費用負担の軽減	世帯の所得状況等を勘案して、保育料を軽減します。	実施	【保育料の軽減】 ・保育所 多子世帯保育料軽減事業 子どもを2人以上持つ世帯における3歳未満児の利用者負担金の軽減を実施 対象 第2子131人 第3子300人(年間実人数)	R2決算 114,513 (多子軽減) R3予算 120,000 (多子軽減)	【保育料の軽減】 ・保育所 多子世帯保育料軽減事業 子どもを2人以上持つ世帯における3歳未満児の利用者負担金の軽減を実施 対象 第2子138人 第3子309人(年間実人数)	R3決算 121,755 (多子軽減) R4予算 121,200 (多子軽減)	【保育料の軽減】 ・保育所 多子世帯保育料軽減事業 子どもを2人以上持つ世帯における3歳未満児の利用者負担金の軽減を実施 対象 第2子144人 第3子337人(年間実人数)	R4決算 130,099 (多子軽減) R5予算 128,000 (多子軽減)	継続	幼児保育課
19	実費徴収に係る補足給付の実施	保護者が支払うべき日用品や文房具、また行事への参加に要する費用等の、実費負担に対する補助を行います。	実施			保護者実費負担軽減補助 46人	R3決算 739 R4予算 1,134	保護者実費負担軽減補助 67人	R4決算 948 R5予算 1,424	継続	幼児保育課
20	子育てのための施設等利用給付の円滑な実施	幼児教育・保育の無償化に伴う、子育てのための施設等利用給付の円滑な実施を通じ、保護者の経済的負担の軽減を図ります。	実施	・幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センターの保育料 620人 ・新制度未移行幼稚園の保育料 122人	R2決算 ・幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センターの保育料 57,109 ・新制度未移行幼稚園の保育料 10,663  R3予算 ・幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センターの保育料 70,000 ・新制度未移行幼稚園の保育料 10,846	・幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センターの保育料 645人 ・新制度未移行幼稚園の保育料 112人	R3決算 ・幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センターの保育料 61,166 ・新制度未移行幼稚園の保育料 9,309  R4予算 ・幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センターの保育料 70,000 ・新制度未移行幼稚園の保育料 10,650	・幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センターの保育料 660人 ・新制度未移行幼稚園の保育料 111人	R4決算 ・幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センターの保育料 55,391 ・新制度未移行幼稚園の保育料 9,533  R5予算 ・幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センターの保育料 70,000 ・新制度未移行幼稚園の保育料 10,860	継続	幼児保育課

II 総合的な放課後児童対策の推進

1 放課後等の児童の健全育成

(1) 放課後児童健全育成事業の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
21	開放学級・学童クラブの充実	保護者が労働等により、昼間家庭にいない児童が、安全・安心に過ごすことができるよう、開放学級・学童クラブの運営の充実に努めます。	登録児童数 4,290人 (令和元年 5月1日現在)	【学童クラブ】 ・設置数 22クラブ22支援の単位 ・利用延人数 153,009人 ・登録児童数 969人	R2決算 153,745 R3予算 150,900 R2繰越明許費 8,600	【学童クラブ】 ・設置数 23クラブ23支援の単位 ・利用延人数 149,428人 ・登録児童数 1,079人	R3決算 147,166 R4予算 206,800 R3繰越明許費 13,500	【民間学童クラブ】 ・設置数 23クラブ23支援の単位 ・利用延人数 162,986人 ・登録児童数 1,053人	R4決算 138,290 R5予算 172,800 R4繰越明許費 31,136	希望者全員が利用できる環境の整備	こども政策課
				【開放学級】 ・設置数 32小学校, 1義務教育学校 74支援の単位 ・利用延人数 444,230人 ・登録児童数 4,046人 ※学童クラブと開放学級の登録児童数合計 5,015人	R2決算 549,969 R3予算 600,797 R2繰越明許費 30,000	【開放学級】 ・設置数 32小学校, 1義務教育学校 75支援の単位 ・利用延人数 472,627人 ・登録児童数 4,047人 ※学童クラブと開放学級の登録児童数合計 5,126人	R3決算 676,306 R4予算 661,682 R3繰越明許費 23,252	【放課後学級】 ・設置数 32小学校, 1義務教育学校 75支援の単位 ・利用延人数 484,034人 ・登録児童数 4,304人 ※学童クラブと放課後学級の登録児童数合計 5,357人	R4決算 664,710 R5予算 578,844 R4繰越明許費 42,800		こども政策課
22	開放学級・学童クラブの整備	開放学級においては、余裕教室の活用、特別教室等の一時的な利用を図るとともに、学童クラブの参入を促すことにより、希望者全員が利用できる環境を整備します。		【開放学級・学童クラブ合計】 ・設置数 96支援の単位 ・利用延人数 597,239人 ・登録児童数 5,015人	R2決算 — R3予算 —	【開放学級・学童クラブ合計】 ・設置数 98支援の単位 ・利用延人数 622,055人 ・登録児童数 5,126人	R3決算 — R4予算 —	【放課後学級・学童クラブ合計】 ・設置数 98支援の単位 ・利用延人数 647,020人 ・登録児童数 5,357人	R4決算 — R5予算 —		こども政策課
23	特別な配慮を要する児童への対応	放課後児童支援員等を増員し、当該児童が放課後等を安心して過ごすことができる環境づくりに努めます。	実施	・開放学級の実情に応じて放課後児童支援員等を増員するとともに、民間活力活用の際し、あらかじめ各校に1人程度加配することを仕様書に定めた。	R2決算 — R3予算 —	・開放学級の実情に応じて放課後児童支援員等を増員するとともに、民間活力活用の際し、あらかじめ各校に1人程度加配することを仕様書に定めた。	R3決算 — R4予算 —	・放課後学級の実情に応じて放課後児童支援員等を増員するとともに、民間活力活用の際し、あらかじめ各校に1人程度加配することを仕様書に定めた。	R4決算 — R5予算 —	継続	こども政策課
24	開放学級の開所時間の延長	開放学級の開所時間の延長について、全校で実施します。	17校	・平日午後6時30分までの延長実施校 25小学校 1義務教育学校 60支援の単位	R2決算 — R3予算 —	平日午後6時30分までの延長 ・32小学校 1義務教育学校 (全校)で実施	R3決算 — R4予算 —	平日午後6時30分までの延長 ・32小学校 1義務教育学校 (全校)で実施	R4決算 — R5予算 —	全校実施 (33校)	こども政策課
25	放課後児童クラブの役割の更なる向上	開放学級の運営委員会における協議や学童クラブとの意見交換会等を踏まえた運営により、児童の自主性や社会性等を一層向上させる取組を実施します。	検討	・開放学級の運営委員会等により、保護者や学校の意見を踏まえ、児童に寄り添った運営に努めた。	R2決算 — R3予算 —	・開放学級の運営委員会等により、保護者や学校の意見を踏まえ、児童に寄り添った運営に努めた。	R3決算 — R4予算 —	・放課後学級の運営委員会等により、保護者や学校の意見を踏まえ、児童に寄り添った運営に努めた。	R4決算 — R5予算 —	実施	こども政策課
26	放課後児童クラブの取組の周知	市のホームページや各開放学級の運営委員会等における報告など、様々な機会を捉えて保護者や地域住民に放課後児童クラブの取組等の周知に努めます。	実施	・市のホームページや開放学級の運営委員会等の機会を捉え、保護者や地域住民に放課後児童クラブの取組等の周知に努めた。	R2決算 — R3予算 —	・市のホームページや開放学級の運営委員会等の機会を捉え、保護者や地域住民に放課後児童クラブの取組等の周知に努めた。	R3決算 — R4予算 —	・市のホームページや放課後学級の運営委員会等の機会を捉え、保護者や地域住民に放課後児童クラブの取組等の周知に努めた。	R4決算 — R5予算 —	継続	こども政策課

(2) 放課後子ども教室の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
27	放課後子ども教室の充実	児童の安全・安心な居場所となるとともに、多様な体験、活動を通じて、心豊かで健やかに成長できるよう、実施内容の充実に努めます。	全校実施 (33校)	・設置数 36箇所(水戸市内全小学校・義務教育学校及びNPO法人等への委託3箇所を含む) ・延べ参加人数 9,527人 ・活動回数 計690回	R2決算 16,390 R3予算 27,445	・設置数 33箇所 (32小学校 1義務教育学校) ・延べ参加人数 11,412人 ・活動回数 計1,006回	R3決算 27,445 R4予算 27,946	・設置数 33箇所 (32小学校 1義務教育学校) ・延べ参加人数 13,448人 ・活動回数 計1,018回	R4決算 27,918 R5予算 27,429	継続	こども政策課
28	放課後学力サポート事業の拡充	放課後子ども教室において、望ましい学習習慣を身に付け、学力向上につながるよう、放課後学力サポート事業を全校で実施します。	実施校数 28校 (令和元年 5月1日現在)	放課後学力サポート事業 ・小学校・義務教育学校(前期課程)30校で実施	R2決算 — R3予算 —	放課後学力サポート事業 ・32小学校 1義務教育学校(全校)で実施	R3決算 — R4予算 —	放課後学力サポート事業 ・32小学校 1義務教育学校(全校)で実施	R4決算 — R5予算 —	全校実施 (33校)	こども政策課

(3) 開放学級と放課後子ども教室の一体的な運営の推進

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
29	開放学級と放課後子ども教室の一体的な運営	民間活力を活用しながら開放学級と放課後子ども教室の連携を図り、一体的な運営を一層推進します。	全校実施 (33校)	・開放学級と放課後子ども教室の連携をより一層図り、実施内容等の調整を行いながら、子どもたちのニーズに沿った一体的な運営を推進した。 ・一体的運営数 33か所	R2決算 — R3予算 —	・開放学級と放課後子ども教室の連携をより一層図り、実施内容等の調整を行いながら、子どもたちのニーズに沿った一体的な運営を推進した。 ・一体的運営数 33か所	R3決算 — R4予算 —	・放課後学級と放課後子ども教室の連携をより一層図り、実施内容等の調整を行いながら、子どもたちのニーズに沿った一体的な運営を推進した。 ・一体的運営数 33か所	R4決算 — R5予算 —	継続	こども政策課
30	開放学級と放課後子ども教室の一体的な運営を推進するための組織体制	放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を教育委員会が所管し、一体的、総合的な放課後児童対策を推進します。	実施	・放課後児童課において、総合的な放課後児童対策を推進した。 ・年度末待機児童数 0人	R2決算 — R3予算 —	・放課後児童課において、総合的な放課後児童対策を推進した。 ・年度末待機児童数 0人	R3決算 — R4予算 —	・こども政策課において、総合的な放課後児童対策を推進した。 ・年度末待機児童数 0人	R4決算 — R5予算 —	継続	こども政策課

Ⅲ 地域における子育ての支援の充実

1 子育て支援サービスの充実

(1) 各種子育て支援サービスの充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
31	一時預かり事業の推進(幼稚園型以外)	公共施設や保育所、認定こども園で子どもを一時的に預かる事業を推進します。	56か所	民間31か所 (保育所24か所、幼保連携型認定こども園2か所、小規模保育事業所 5か所) 公立13か所 (保育所11か所、幼保連携型認定こども園2か所)	R2決算 25,320 R3予算 64,419	民間31か所 (保育所23か所、幼保連携型認定こども園2か所、小規模保育事業所 5か所、家庭的保育事業所1か所) 公立13か所 (保育所11か所、幼保連携型認定こども園2か所)	R3決算 21,162 R4予算 65,904	民間31か所 (保育所23か所、幼保連携型認定こども園2か所、小規模保育事業所 5か所、家庭的保育事業所1か所) 公立13か所 (保育所11か所、幼保連携型認定こども園2か所)	R4決算 19,151 R5予算 65,964	62か所	こども政策課
				【わんぱーく・みと、はみんぐばーく・みと】 ・一時預かり 延べ2,299人	R2決算 6,210 R3予算 7,854	【わんぱーく・みと、はみんぐばーく・みと】 ・一時預かり 延べ2,257人	R3決算 6,264 R4予算 7,920	【わんぱーく・みと、はみんぐばーく・みと】 ・一時預かり 延べ2,379人	R4決算 6,264 R5予算 7,920		
				【スマイルキッズ】 ・一時預かり 延べ1,777人	R2決算 3,213 R3予算 4,641	【スマイルキッズ】 ・一時預かり 延べ1,633人	R3決算 3,240 R4予算 4,680	【スマイルキッズ】 ・一時預かり 延べ2,064人	R4決算 4,680 R5予算 4,680		
32	病児保育事業の推進	病気あるいは病気回復期のため、保育所等での集団保育が困難な子どもを預かります。	7か所	【病児保育】 ・実施数 民間6か所 (病児2, 病後児3, 体調不良児1) ・延べ利用者数 358人 (病児69人, 病後児242人, 体調不良児47人)	R2決算 29,684 R3予算 47,353	【病児保育】 ・実施数 民間6か所 (病児2, 病後児3, 体調不良児1) ・延べ利用者数 543人 (病児141人, 病後児307人, 体調不良児95人)	R3決算 31,857 R4予算 56,266	【病児保育】 ・実施数 民間6か所 (病児2, 病後児3, 体調不良児1) ・延べ利用者数 480人 (病児85人, 病後児320人, 体調不良児75人)	R4決算 32,279 R5予算 56,204	11か所	こども政策課
			1か所	【訪問型】 ・実施数 委託1箇所 ・延べ利用者数 23人	R2決算 7,280 R3予算 5,056	【訪問型】 ・実施数 委託1箇所 ・延べ利用者数 50人	R3決算 5,287 R4予算 7,280	【訪問型】 ・実施数 委託1箇所 ・延べ利用者数 69人	R4決算 5,545 R5予算 7,280	1か所	こども政策課
33	ファミリー・サポート・センター事業の推進	育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、互いに援助しあうファミリー・サポート・センター事業を推進します。	実施	(令和3年3月末現在) ・会員数 利用会員 1,086人 協力会員 170人 利用・協力会員56人 合計 1,312人 ・活動回数 4,757回 (うち病児・病後児 26回)	R2決算 12,460 R3予算 13,160	(令和4年3月末現在) ・会員数 利用会員 1,021人 協力会員 157人 利用・協力会員 55人 合計 1,233人 ・活動回数 4,545回 (うち病児・病後児 10回)	R3決算 12,560 R4予算 13,160	(令和5年3月末現在) ・会員数 利用会員 999人 協力会員 156人 利用・協力会員 58人 合計 1,213人 ・活動回数 3,874回 (うち病児・病後児 1回)	R4決算 12,560 R5予算 13,160	継続	こども政策課
34	子育て短期支援事業(ショートステイ、トワイライトステイ事業)の推進	一時的に子どもの養育が困難になった場合に、乳児院や児童養護施設等において子どもを預かります。	7か所	【ショートステイ】 ・利用実人数26人 ・延件数36件 ・延日数152日 【トワイライトステイ】 ・実績なし	R2決算 852 R3予算 4,000	【ショートステイ】 ・利用実人数43人 ・延件数56件 ・延日数245日 【トワイライトステイ】 ・実績なし	R3決算 1,410 R4予算 4,000	【ショートステイ】 ・利用実人数29人 ・延件数54件 ・延日数284日 【トワイライトステイ】 ・実績なし	R4決算 1,718 R5予算 4,000	7か所	子育て支援課
35	子育て支援・多世代交流センター事業の推進	子育て支援の中核施設である、わんぱーく・みと、はみんぐばーく・みとの運営の充実を図り、多様な子育て支援・多世代交流事業を推進します。	実施	・設置数 2か所 ・利用者数 延べ12,920人 ・育児相談 延べ218人 ・一時預かり 延べ2,299人(再掲)	R2決算 98,894 R3予算 87,378	・設置数 2か所 ・利用者数 延べ15,895人 ・育児相談 延べ511人 ・一時預かり 延べ2,257人(再掲)	R3決算 85,282 R4予算 85,648	・設置数 2か所 ・利用者数 延べ23,119人 ・育児相談 延べ876人 ・一時預かり 延べ2,379人(再掲)	R4決算 86,232 R5予算 88,748	継続	こども政策課

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
36	市民センター子育て広場事業の推進	地域との連携を強化しながら、子どもたちが伸びやかに遊びながら多世代とふれあうことができる場を提供します。	20か所	・実施 27か所 見川, 双葉台, 赤塚, 吉田, 常磐, 桜川, 千波, 柳河, 石川, 見和, 堀原, 城東, 緑岡, 笠原, 渡里, 内原, 稲荷第二, 寿, 酒門, 吉沢, 飯富, 稲荷第一, 新荘 【新設】 上大野, 下大野, 国田, 鯉淵 ・実施回数 週1回～月1回 ・利用者数 計 3,128人	R2決算 3,053 R3予算 5,700	・実施 32か所 見川, 双葉台, 赤塚, 吉田, 常磐, 桜川, 千波, 柳河, 石川, 見和, 堀原, 城東, 緑岡, 笠原, 渡里, 内原, 稲荷第二, 寿, 酒門, 吉沢, 飯富, 稲荷第一, 新荘, 上大野, 下大野, 国田, 鯉淵 【新設】 上中妻, 大場, 妻里, 山根, 竹隈 ・実施回数 週1回～月1回 ・利用者数 計 5,805人	R3決算 4,289 R4予算 4,900	・実施 33か所 見川, 双葉台, 赤塚, 吉田, 常磐, 桜川, 千波, 柳河, 石川, 見和, 堀原, 城東, 緑岡, 笠原, 渡里, 内原, 稲荷第二, 寿, 酒門, 吉沢, 飯富, 稲荷第一, 新荘, 上大野, 下大野, 国田, 鯉淵, 上中妻, 大場, 妻里, 山根, 竹隈 【新設】 五軒 ・実施回数 週1回～月1回 ・利用者数 計 7,953人	R4決算 3,240 R5予算 4,824	34か所 (全市民センター)	こども政策課
37	子育て広場事業の推進	親子で遊びながら気軽に交流できる場を提供するため、公共施設等を活用した子育て広場事業を推進します。	2か所	・利用者数 五軒小学校余裕教室 115人 常澄保健センター 263人	R2決算 221 R3予算 532	・利用者数 五軒小学校余裕教室 212人 常澄保健センター 485人	R3決算 375 R4予算 550	・利用者数 五軒小学校余裕教室 143人 常澄保健センター 309人	R4決算 342 R5予算 548	2か所	こども政策課
38	親子幼児教室の開催	音楽や体操, ふれあい遊びなどを通じて, 楽しみながら子育てができるよう, 未就園児とその親を対象に, 親子幼児教室を開催します。	実施	【市民センターの親子幼児教室】 市民センター数 2か所 回数 35回 参加者数 延794人 【ほっとひといき夢らんど】 回数 8回 参加者数 延86人	R2決算 - R3予算 -	【市民センターの親子幼児教室】 市民センター数 1か所 回数 27回 参加者数 延497人 【ほっとひといき夢らんど】 回数 8回 参加者数 延164人 【ほっとひといき夢らんどパパといっしょ!】 回数 6回 参加者数 延104人	R3決算 298 R4予算 205	【市民センターの親子幼児教室】 市民センター数 1か所 参加者数 延538人 【パパといっしょに夢らんど】 回数 3回 参加者数 延86人	R4決算 82 R5予算 285	継続	市民生活課 こども政策課 生涯学習課
39	親子関係を深めるための事業の充実	ひとり親家庭の親子関係を深めるための事業を推進します。	実施	・実施回数 0回 ・参加者数 0世帯0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	R2決算 - R3予算 -	・実施回数 0回 ・参加者数 0世帯0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	R3決算 - R4予算 -	・実施回数 0回 ・参加者数 0世帯0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	R4決算 - R5予算 -	継続	こども政策課
40	高齢者と子供の多世代交流の推進	いきいき交流センターにおける多世代交流と子育て支援を推進します。	実施	【多世代交流事業】 ・参加者数 延227人	R2決算 - R3予算 -	【多世代交流事業】 ・参加者数 延388人	R3決算 - R4予算 -	【多世代交流事業】 ・参加者数 延473人	R4決算 - R5予算 -	継続	高齢福祉課 こども政策課
41	子どもの健全育成に向けた手当の支給	児童手当, 児童扶養手当, 遺児養育手当を支給します。	実施	・対象者 出産後から中学校3年修了時までの児童を養育している方 ・支給対象延児童数 児童手当 381,454名 児童扶養手当 41,777名 遺児養育手当 3,635名	R2決算 4,063,785 R3予算 4,038,000	対象者 児童手当 369,125名 児童扶養手当 39,466名 遺児養育手当 3,430名	R3決算 5,086,947 R4予算 5,090,940	対象者 児童手当 353,789名 児童扶養手当 37,455名 遺児養育手当 3,507名	R4決算 4,869,612 R5予算 4,896,030	継続	こども政策課
42	就学援助の実施	経済的理由から学校納付金や学用品などの支出が困難な家庭に対し, 就学援助費を支給します。	実施	就学援助実施児童生徒数 小学校 808人 中学校 561人 小学校入学予定者 56人	R2決算 小学校 44,485 中学校 45,639 R3予算 小学校 58,000 中学校 75,700	就学援助実施児童生徒数 小学校 761人 中学校 540人 小学校入学予定者 53人	R3決算 小学校 51,384 中学校 59,245 R4予算 小学校 63,100 中学校 78,500	就学援助実施児童生徒数 小学校 719人 中学校 506人 小学校入学予定者 72人	R4決算 小学校 50,754 中学校 60,236 R5予算 小学校 58,500 中学校 53,100	継続	学校管理課

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
43	子ども医療福祉費の助成	子どもの医療費の助成を行います。	実施	・件数 332,478件	R2決算 588,721 R3予算 700,000	・件数 392,427件	R3決算 709,803 R4予算 777,000	・件数 431,024件	R4決算 784,365 R5予算 793,000	継続	国保年金課

(2) 育児情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
44	子育て支援相談員による利用者支援事業の実施	子どもとその保護者等が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、情報提供や相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施します。	1か所	【子育て支援相談員】 ・子育てに関する専門的な知識と経験を持つ専門員を配置し、子育て家庭に対して施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談助言等を実施 ・相談件数 102件	R2決算 2,833 R3予算 3,534	【子育て支援相談員】 ・子育てに関する専門的な知識と経験を持つ専門員を配置し、子育て家庭に対して施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談助言等を実施 ・相談件数 98件	R3決算 2,833 R4予算 3,612	【子育て支援相談員】 ・子育てに関する専門的な知識と経験を持つ専門員を配置し、子育て家庭に対して施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談助言等を実施 ・相談件数 90件	R4決算 2,766 R5予算 3,735	1か所	こども政策課
45	※地域子育て支援拠点事業の推進	公共施設、保育所、認定こども園等に、乳幼児と保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供などを行います。	15か所	・子育て家庭に対する育児相談や子育てサークル支援等を地域ごとに実施 ・設置数 16か所 (公共施設3か所、市立保育所・認定こども園4か所、民間保育所・認定こども園9か所)	R2決算 62,227(子) 26,184(幼) R3予算 90,970(子) 33,080(幼)	・子育て家庭に対する育児相談や子育てサークル支援等を地域ごとに実施 ・設置数 16か所 (公共施設3か所、市立保育所・認定こども園4か所、民間保育所・認定こども園9か所)	R3決算 63,607(子) 24,042(幼) R4予算 84,000(子) 33,592(幼)	・子育て家庭に対する育児相談や子育てサークル支援等を地域ごとに実施 ・設置数 17か所 (公共施設3か所、市立保育所・認定こども園4か所、民間保育所・認定こども園10か所)	R4決算 68,522 R5予算 92,400	20か所	こども政策課
46	多様なメディアを活用した子育て情報の提供	子育て支援総合ガイドブックなどの紙媒体のほか、ホームページやSNSなど多様なメディアを活用した子育て情報の提供の充実を図ります。	実施	・市ホームページや広報みとを活用し、子育て支援に関する積極的な情報の提供を実施 ・民間企業との協働による子育てガイドブックを発行。	R2決算 — R3予算 —	・市ホームページや広報みとを活用し、子育て支援に関する積極的な情報の提供を実施 ・民間企業との協働による子育てガイドブックを発行。	R3決算 — R4予算 —	・市ホームページや広報みとを活用し、子育て支援に関する積極的な情報の提供を実施 ・民間企業との協働による子育てガイドブックを発行。	R4決算 — R5予算 —	継続	こども政策課
47	保育所入所児童への保健師巡回相談の充実	0歳児保育を実施している市立保育所において、保健師が巡回し、健康相談を行います。	実施	・保健師1名を配置し、各市立保育所に巡回指導を実施 ・食物アレルギー対応の指導を実施	R2決算 — R3予算 —	・保健師1名を配置し、各市立保育所に巡回指導を実施 ・食物アレルギー対応の指導を実施	R3決算 — R4予算 —	・保健師1名を配置し、各市立保育所に巡回指導を実施 ・食物アレルギー対応の指導を実施	R4決算 — R5予算 —	継続	幼児保育課
48	家庭児童相談の充実	家庭児童相談員及びケースワーカーによる子どもに関する相談、指導の充実を図ります。	実施	家庭における児童の健全育成を図るため、家庭児童相談員及び専任のケースワーカーにより育児相談及び助言を実施 ・家庭児童相談員の配置2人 ・心理担当支援員の配置2人 ・相談件数 延べ 15,500件 実数 953件	R2決算 8,941 R3予算 10,874	家庭における児童の健全育成を図るため、家庭児童相談員及び専任のケースワーカーにより育児相談及び助言を実施 ・家庭児童相談員の配置2人 ・心理担当支援員の配置2人 ・相談件数 延べ 15,138件 実数 871件	R3決算 11,169 R4予算 11,178	家庭における児童の健全育成を図るため、家庭児童相談員及び専任のケースワーカーにより育児相談及び助言を実施 ・家庭児童相談員の配置2人 ・心理担当支援員の配置2人 ・相談件数 延べ 19,407件 実数 863件	R4決算 10,606 R5予算 11,374	継続	子育て支援課
49	訪問型家庭教育支援事業の推進	家庭教育支援員が、家庭でのしつけなどについて悩みを持つ保護者を訪問し、情報提供や相談・助言等を行います。	実施	・訪問世帯数 10世帯 ・訪問回数 19回	R2決算 446 R3予算 690	・訪問世帯数 42世帯 ・訪問回数 59回	R3決算 705 R4予算 689	・訪問世帯数 30世帯 ・訪問回数 50回 ・市内1小学校の1年生世帯への全戸訪問 ・幼稚園訪問 3園	R4決算 822 R5予算 990	継続	生涯学習課
50	子育て応援塾(家庭教育出前講座)の推進	専門の講師を幼稚園等に派遣し、家庭教育に関する講座を行います。	実施	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	R2決算 — R3予算 140	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	R3決算 — R4予算 417	・講座数 1講座 ・参加者数 31人	R4決算 20 R5予算 140	継続	生涯学習課
51	家庭教育強化事業の推進	市民センター等において、未就学児や保護者等を対象とした家庭教育に関する講座やふれあい教室などを開催します。	実施	・講座数 16講座 ・参加者数 719人	R2決算 396 R3予算 1,630	・講座数 24講座 ・参加者数 885人	R3決算 493 R4予算 1,600	・講座数 40講座 ・参加者数 延1,754人	R4決算 755 R5予算 1,600	継続	生涯学習課



2 子育てを支援する生活環境の整備

(1) 生活環境の整備

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
52	子育てしやすい住環境の整備	子育て世帯向けの市営住宅の供給とともに、子育てしやすい環境への住みかえを支援します。	実施	・市営河和田住宅(30戸)において、多家族向け(4人以上世帯用)の住戸を3戸整備。 ・市営砂久保住宅において、子育て世帯用住宅(16戸)を整備。	R2決算 762,808 R3予算 -	実績なし	R3決算 - R4予算 -	実績なし	R4決算 - R5予算 5,000	継続	住宅政策課
53	交通安全施設等の整備	親子や児童生徒が安心して歩行できるよう、交通安全施設やスクールゾーン等の整備を進めます。	実施	【生活安全課】 ・スクールゾーン路面標示設置工事 7箇所  【建設計画課】 防護柵の整備 L=378m	R2決算 924 R3予算 1,342  R2決算※ 8,778 R3予算 63,500 ※R2年度実績は防護柵設置のみ計上	【生活安全課】 ・スクールゾーン路面標示設置工事 7箇所  【建設計画課】 交通安全施設の整備 カーブミラー設置 60基 防護柵 512m 路面表示 50箇所 グリーンライン 1,505㎡ イメージハンブ 20箇所 他	R3決算 990 R4予算 1,442  R3決算 59,023 R4予算 56,000	【生活安全課】 ・キッズゾーン路面標示設置工事 24箇所 ・スクールゾーン路面標示設置工事 1箇所  【建設計画課】 カーブミラー 81基 防護柵 1,175m 路面表示 20箇所 グリーンライン 234㎡ イメージハンブ 17箇所 他	R4決算 3,861 R5予算 1,100  R4決算 51,815 R5予算 45,000	継続	生活安全課 建設計画課
54	通学路の交通安全確保	児童生徒の通学の安全確保に向け、関係機関と連携してハード、ソフト両面から通学路の交通安全対策を推進します。	実施	・通学路現況調査の実施 ・水戸市通学路安全対策推進会議の開催	R2決算 - R3予算 -	・通学路現況調査の実施 ・通学路合同点検の実施 ・水戸市通学路安全対策推進会議の開催	R3決算 - R4予算 28	・通学路現況調査の実施 ・通学路合同点検の実施 ・水戸市通学路安全対策推進会議の開催	R4決算 28 R5予算 28	継続	学校保健給食課
55	通学路等の安全対策の強化	通過交通及び速度の抑制が必要な区域を「ゾーン30」に設定し、通学路や生活道路における歩行者等の交通安全対策を強化します。	実施	・石川小学校区内の一部をゾーン30の区域に設定し、路側帯やイメージハンブの設置等の各種交通安全対策を実施した。	R2決算 - R3予算 -	・石川小学校区内の一部をゾーン30の区域に設定し、路側帯やイメージハンブの設置等の各種交通安全対策を実施した。	R3決算 - R4予算 -	・渡里小学校区内の一部をゾーン30プラスの区域に設定し、イメージハンブや狭窄等を設置して各種交通安全対策を実施した。	R4決算 - R5予算 -	継続	生活安全課
56	親子で外出しやすい環境の整備	「水戸市バリアフリー基本構想」の重点整備地区における道路や施設等のバリアフリー化とともに、全市的な取組として、心のバリアフリーを推進し、子育てしやすい環境づくりに努めます。	実施	基本構想に位置付けた事業の進捗管理等を行うため、法定協議会を開催するなど、必要な協議及び連絡調整を行った。 (全体会議1回、調査部会3回)	R2決算 272 R3予算 1,760	基本構想に位置付けた事業の進捗管理等を行うため、法定協議会を開催するなど、必要な協議及び連絡調整を行った。 (全体会議2回、調査部会1回 ※いずれも書面協議)	R3決算 12 R4予算 1,560	基本構想に位置付けた事業の進捗管理等を行うため、法定協議会を開催するなど、必要な協議及び連絡調整を行った。 (全体会議2回、調査部会1回)	R4決算 1,008 R5予算 2,200	継続	交通政策課
57	公園・緑地の整備・充実	バリアフリー化やリニューアル整備により、親子が快適に過ごせる公園づくりを進めます。	実施	・バリアフリー改修を進めた。 (七ツ洞公園 延長L=103m) ・老朽化に伴い、遊具の改築や施設の改修等を実施した。 (六番池児童公園外遊具改築工事、逆川緑地木道改築工事など)	R2決算 140,360 R3予算 125,700	・バリアフリー改修を進めた。 (七ツ洞公園 延長L=65m) ・施設の改修等を実施した。 (逆川緑地木道改築工事、朝日町児童公園遊具改築工事など)	R3決算 125,495 R4予算 83,500	・バリアフリー改修を進めた。 (七ツ洞公園 延長L=40m 保和苑 延長L=40m) ・施設の改修等を実施した。 (逆川緑地木道改築工事、裡5丁目児童公園遊具改築工事など)	R4決算 84,227 R5予算 77,500	継続	公園緑地課

(2) 防犯・安全対策の推進

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
58	防犯・安全対策の強化	夜間の犯罪防止、通行の安全確保のため、防犯灯の設置促進や防犯カメラ等を拡充します。	実施	・防犯灯管理補助金 17,857基 ・防犯灯設置等補助金 設置156基, 交換756基	R2決算 30,634 R3予算 42,200	・防犯灯管理補助金 17,851基 ・防犯灯設置等補助金 設置174基, 交換651基	R3決算 29,829 R4予算 38,160	・防犯灯管理補助金 19,038基 ・防犯灯設置等補助金 設置101基, 交換419基	R4決算 26,938 R5予算 39,920	継続	生活安全課
59	地域における防犯活動の推進	自主防犯活動団体への支援や緊急避難所「こどもの安全を守る家」の充実に努めるなど、地域における防犯活動を推進します。	実施	・自主防犯パトロール活動団体委嘱 22団体	R2決算 — R3予算 —	・自主防犯パトロール活動団体委嘱 22団体	R3決算 — R4予算 —	・自主防犯パトロール活動団体委嘱 23団体	R4決算 — R5予算 —	継続	生活安全課

IV 健やかな妊娠・出産・育児への支援

1 妊娠・出産への支援

(1) 妊産婦の健康診査・医療等の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
60	母子健康手帳等の交付	母子健康手帳を交付するほか、母子保健サービスに係る各種の情報提供を行います。また、初めて父親になる方を対象に、「お父さんのための子育て手帳」を配付します。	実施	・妊娠届出 2,123件 ・出生後届出 7件 合計2,130件	R2決算 508 R3予算 761	・妊娠届出 1,997件 ・出生後届出 8件 合計2,005件	R3決算 481 R4予算 606	・妊娠届出 1,946件 ・出生後届出 12件 合計 1,958件	R4決算 442 R5予算 692	継続	子育て支援課
61	妊婦健康診査の実施	妊婦を対象とした健康診査を実施します。	27,747人 [延べ人数] (80.8%)	・受診率 80.3% ・受診者 延25,104件	R2決算 190,120 R3予算 219,260	・受診率 82.1% ・受診者 延24,145件	R3決算 183,175 R4予算 202,222	・受診率 81.8% ・受診者 延23,278件	R4決算 174,222 R5予算 197,684 □	対象者がすべて受診	子育て支援課
62	妊婦歯科健康診査の実施	妊婦を対象とした歯科健康診査を実施するとともに、歯科指導を行い、妊娠期の口腔の健康維持を図ります。	実施	・医療機関受診者 832件 ・受診率 39.2%	R2決算 2,566 R3予算 2,772	・医療機関受診者 899件 ・受診率 45.5%	R3決算 2,770 R4予算 2,772	・医療機関受診者 878件 ・受診率 45.9%	R4決算 2,705 R5予算 3,090	継続	子育て支援課
63	産婦健康診査の実施	産後2週間及び産後1か月に健康診査を実施し、産後うつや新生児虐待等の母子のリスクを把握し、早期支援につなげます。	実施	・受診率 84.7% ・受診者 延3,374件	R2決算 16,441 R3予算 21,389	・受診率 89.1% ・受診者 延3,500件	R3決算 17,165 R4予算 19,696	・受診率 92.3% ・受診者 延3,429件	R4決算 16,449 R5予算 19,743 □	継続	子育て支援課
64	妊産婦医療福祉費の助成	母子健康手帳の交付を受けた妊産婦に対し、医療費の一部を助成します。	実施	・件数 11,493件	R2決算 97,477 R3予算 115,000	・件数 11,727件	R3決算 100,268 R4予算 111,000	・件数 11,452件	R4決算 96,650 R5予算 111,000	継続	国保年金課

(2) 不妊等への支援

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
65	不妊相談の周知	不妊で悩んでいる方に対し、県不妊専門相談センター等の情報提供を行います。	実施	・不妊相談センターの周知 ・相談件数 5件	R2決算 — R3予算 —	・不妊相談センターの周知 ・相談件数 5件	R3決算 — R4予算 —	・不妊相談センターの周知 ・相談件数 6件	R4決算 — R5予算 —	継続	子育て支援課
66	不妊治療費の助成	不妊治療を受けた方に対し、費用の一部を助成します。	実施	・不妊治療費助成件数 383件	R2決算 94,248 R3予算 167,000	・特定不妊治療費助成件数 715件 ・一般不妊治療費助成件数 212件	R3決算 202,662 R4予算 122,750	・特定不妊治療費助成件数 149件 ・生殖補助医療費助成件数 287件 ・一般不妊治療費助成件数 201件	R4決算 56,784 R5予算 45,420	継続	子育て支援課
67	不育症治療費の助成	保険適用外の不育症の検査及び治療を受けた方に対し、費用の一部を助成します。	実施	・不育治療費助成件数 2件	R2決算 87 R3予算 500	・不育治療費助成件数 9件	R3決算 406 R4予算 500	・不育治療費助成件数 11件	R4決算 414 R5予算 500	継続	子育て支援課

(3) 妊産婦への保健指導等の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
68	妊婦教室の充実	初妊婦とその家族が、協力して出産・育児ができるよう、妊娠・出産・育児に関する講義や実習を行います。	実施	・13回 ・参加者 延484人	R2決算 2 R3予算 261	・17回 ・参加者 延626人	R3決算 226 R4予算 124	・26回 ・参加者 延887人	R4決算 22 R5予算 32	継続	子育て支援課
69	妊産婦健康相談の推進	妊産婦の悩みや不安等に対し、保健師が面談や電話による相談を行います。	実施	・245回 ・妊産婦相談者 2,102件	R2決算 — R3予算 —	・244回 ・妊産婦相談者 1,976件	R3決算 — R4予算 —	・244回 ・妊産婦相談者 1,919件	R4決算 — R5予算 —	継続	子育て支援課
70	出産後の母子保健情報の周知	産婦健診や乳児期の健診、予防接種、休日診療及び相談窓口等の情報提供を行います。	実施	妊娠届出,妊婦・乳児教室,訪問,乳児健診等の事業を通して情報提供している。	R2決算 — R3予算 —	妊娠届出,妊婦・乳児教室,訪問,育児相談等の事業を通して情報提供している。	R3決算 — R4予算 —	妊娠届出,妊婦・乳児教室,訪問,育児相談等の事業を通して情報提供している。	R4決算 — R5予算 —	継続	子育て支援課
71	利用者支援事業 産前産後支援センター「すまいるママみと」の充実	妊娠期から産後1年までの妊産婦と乳児に対し、母子保健コーディネーター(保健師,助産師)による相談を実施することで、安心して出産・育児ができるよう支援します。	1か所	・「すまいるママみと」 妊産婦相談件数 延1,781件	R2決算 247 R3予算 300	・「すまいるママみと」 妊産婦相談件数 延1,786件	R3決算 328 R4予算 438	・「すまいるママみと」 妊産婦相談件数 延1,870件	R4決算 371 R5予算 364	1か所	子育て支援課
72	産後ケア事業の充実	産後の心身ともに不安定な時期に、家族等から十分な家事・育児等の援助が受けられない母子に対し、心身のケアや育児サポート等の支援を行います。	実施	・通所型利用数 延30人 ・訪問型利用数 延9人 ・宿泊型利用数 延20人	R2決算 647 R3予算 1,420	・通所型利用数 延37人 ・訪問型利用数 延8人 ・宿泊型利用数 延6人	R3決算 633 R4予算 1,410	・通所型利用数 延25人 ・訪問型利用数 延50人 ・宿泊型利用数 延13人	R4決算 975 R5予算 3,147	継続	子育て支援課
73	母乳育児相談の実施	1歳未満の乳児を持つ母親に対して、授乳指導,乳房ケア,卒乳等の母乳育児相談を行います。	実施	・母乳育児相談者 291件	R2決算 897 R3予算 1,232	・母乳育児相談者 312件	R3決算 967 R4予算 1,232	・母乳育児相談者 315件	R4決算 971 R5予算 1,428	継続	子育て支援課

## 2 乳幼児の健康づくりへの支援

### (1) 乳幼児の健康診査・医療等の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
74	乳幼児健康診査の実施	乳児, 1歳6か月児及び3歳児の健康診査を実施します。また, 育児や栄養, 歯科に関する相談等を実施するとともに, 要観察児への継続支援を行います。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目 96.5% 1,943人</li> <li>・2回目 78.9% 1,627人</li> <li>・1歳6か月児健診 94.9% 1,655人</li> <li>・3歳児健診 90.9% 1,688人</li> </ul>	R2決算 25,506 R3予算 50,594	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳児健診 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目 95.1% 1,880人</li> <li>・2回目 77.1% 1,966人</li> </ul> </li> <li>・1歳6か月児健診 87.1% 2,319人</li> <li>・3歳児健診 87.7% 1,841人</li> </ul>	R3決算 46,787 R4予算 49,777	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳児健診 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目 96.0% 1,795人</li> <li>・2回目 77.5% 1,496人</li> </ul> </li> <li>・1歳6か月児健診 94.6% 1,862人</li> <li>・3歳児健診 88.7% 2,519人</li> </ul>	R4決算 40,531 R5予算 45,491	継続	子育て支援課
75	幼児歯科健康診査の実施	2歳児を対象とした歯科健康診査を実施するとともに, 希望者にフッ化物塗布を行います。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児健診でむし菌のない割合 85.8%</li> <li>・2歳児歯科健診受診者1,051人</li> </ul>	R2決算 1,441 R3予算 1,719	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児健診でむし菌のない割合 86.6%</li> <li>・2歳児歯科健診受診者 1,339人</li> </ul>	R3決算 1,589 R4予算 2,015	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児健診でむし菌のない割合 90.8%</li> <li>・2歳児歯科健診受診者 1,566人</li> </ul>	R4決算 1,739 R5予算 2,469	継続	子育て支援課
76	予防接種の実施	予防接種法に基づく予防接種を実施します。また, 乳幼児健康診査時に, 接種の勧奨を行います。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期接種(12種類) 延56,931人</li> <li>・任意接種(3種類) 延47,853人</li> </ul>	R2決算 607,767 R3予算 711,448	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期接種(12種) 延 51,759人</li> <li>・任意接種(2種) 延 37,167人</li> </ul>	R3決算 548,354 R4予算 759,085	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期接種(12種) 延 55,057人</li> <li>・任意接種(2種) 延 35,278人</li> </ul>	R4決算 573,497 R5予算 716,412	継続	保健予防課
77	小児救急医療体制の充実	関係機関との連携により, 小児救急医療体制の充実を図ります。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>水戸市休日夜間緊急診療所</li> <li>・休日診療 74日 633人</li> <li>・夜間診療 365日 1,093人</li> </ul>	R2決算 189,763 R3予算 206,304	<ul style="list-style-type: none"> <li>水戸市休日夜間緊急診療所</li> <li>・休日診療 74日 1,224人</li> <li>・夜間診療 365日 1,788人</li> </ul>	R3決算 186,667 R4予算 204,559	<ul style="list-style-type: none"> <li>水戸市休日夜間緊急診療所</li> <li>・休日診療 73日 2,038人</li> <li>・夜間診療 365日 2,214人</li> </ul>	R4決算 199,598 R5予算 204,843	継続	保健総務課
78	新生児聴覚検査費用の助成	先天性聴覚障害を早期発見し早期療育につなげるため, 新生児聴覚検査費用を助成します。	検討	検討中	R2決算 - R3予算 -	検討中	R3決算 - R4予算 7,000	ABR検査受検者数 781人 OAE検査受検者数 887人 受診率 90.4%	R4決算 4,348 R5予算 5,962	継続	子育て支援課
79	未熟児養育医療費の助成	未熟児の入院治療にかかる医療費を助成します。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未熟児養育医療費給付 延95件</li> </ul>	R2決算 1,1769 R3予算 15,740	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未熟児養育医療費給付 延122件</li> </ul>	R3決算 20,654 R4予算 15,740	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未熟児養育医療費給付 延112件</li> </ul>	R4決算 13,773 R5予算 15,742	継続	子育て支援課
80	小児慢性特定疾病医療費の助成	慢性疾病により長期療養を必要とする子どもの医療費の助成を行います。	茨城県実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児慢性特定疾病受給者 284人</li> </ul>	R2決算 53,883 R3予算 62,430	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児慢性特定疾病受給者 256人</li> </ul>	R3決算 71,619 R4予算 66,252	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児慢性特定疾病受給者 233人</li> </ul>	R4決算 69,217 R5予算 71,381	実施	子育て支援課

### (2) 子育て相談・教室等の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
81	育児教室の開催	乳児とその親を対象として, 育児情報の提供や離乳食の進め方等に関する教室を開催します。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めだか教室 18回 245人</li> <li>・トライ離乳食教室 16回 231人</li> <li>・ひよこ教室 集団 1回 32人 個別 24回 270人</li> </ul>	R2決算 335 R3予算 386	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めだか教室 17回 218人</li> <li>・トライ離乳食教室 18回 245人</li> <li>・ひよこ教室 個別 19回 163人 集団は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul>	R3決算 318 R4予算 389	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めだか教室 24回 349人</li> <li>・トライ離乳食教室 24回 保育者207人, 子137人 (ひよこ教室はR3年度で終了。こども発達支援センターの養育指導教室勸奨)</li> </ul>	R4決算 104 R5予算 101	継続	子育て支援課
82	育児相談の推進	乳幼児の親を対象として, 保健師や栄養士, 歯科衛生士による子育て相談を行います。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談 170回 696人</li> <li>・7か月児育児相談 1,305人 (くじらランドはR元年度で終了)</li> </ul>	R2決算 680 R3予算 910	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談 160回 502人</li> <li>・7か月児育児相談 976人</li> <li>・健診事後母子相談 6回 13人</li> </ul>	R3決算 414 R4予算 927	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談 216回 602人</li> <li>・7か月児育児相談 1,156人</li> <li>・事後相談(発達相談含む) 23回 37人</li> </ul>	R4決算 279 R5予算 1,261	継続	子育て支援課

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
83	事故防止等啓発事業の推進	発達段階に合わせた乳幼児の事故防止のための情報提供と啓発を行います。	実施	・めだか教室, 健診, 訪問等の事業を通して事故防止啓発実施	R2決算 — R3予算 —	・めだか教室, 健診, 訪問等の事業を通して事故防止啓発実施	R3決算 — R4予算 —	・めだか教室, 健診, 訪問等の事業を通して事故防止啓発実施	R4決算 — R5予算 —	継続	子育て支援課
84	地域活動事業(保健推進員)の推進	保健推進員による, 子育ての経験を生かした相談支援活動を行います。 また, 推進員への研修を実施し, 身近な地域での母子保健活動の充実を図ります。	実施	・保健推進員による相談支援活動の実施	R2決算 1,789 R3予算 1,806	・保健推進員による相談支援活動の実施	R3決算 1,782 R4予算 1,827	・保健推進員による妊産婦・乳幼児健診等の勧奨, 相談支援活動の実施	R4決算 1,802 R5予算 1,852	継続	地域保健課

(3) 訪問指導体制の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
85	乳児家庭全戸訪問事業の推進	生後4か月までの乳児のいる家庭を全戸訪問し, 様々な不安や悩みを聞き, 子育て支援に関する情報提供を行います。	2,063人 (92.8%)	・訪問人数 1,802人(89.3%)	R2決算 4,237 R3予算 6,000	・訪問人数 1,857人(96.1%)	R3決算 4,793 R4予算 5,310	・訪問人数 1,842人(99.8%)	R4決算 5,058 R5予算 5,354	全戸訪問	子育て支援課
86	養育支援訪問事業の推進	妊娠・出産・育児期に養育支援を特に必要とする家庭に対し, 定期的に子育てアドバイザーが訪問し, 養育に関する相談, 指導等を行います。	20人	・訪問人数 実17人 延167人	R2決算 673 R3予算 1,440	・訪問人数 実13人 延79人	R3決算 332 R4予算 1,290	・訪問人数 実18人 延153人	R4決算 623 R5予算 1,173	継続	子育て支援課
87	乳幼児訪問指導の推進	保健指導等が必要と思われる乳幼児やその親を, 保健師などが訪問し, 相談や指導を行います。	実施	・訪問件数 502件	R2決算 — R3予算 —	・訪問件数 473件	R3決算 — R4予算 —	・訪問件数 461件	R4決算 — R5予算 —	継続	子育て支援課

### 3 思春期保健対策の充実

#### (1) 健康相談・教育の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
88	健全母性育成事業の推進	性知識の普及を図るとともに、性に関する悩みや不安などの解消に向け、電話による相談を行います。	実施	・ヤングコール 42回 370件 ・性教育講演会 31回 2,683人	R2決算 1,149 R3予算 1,374	・ヤングコール 40回 384件 ・性教育講演会 36回 2,914人	R3決算 1,274 R4予算 1,374	・ヤングコール 43回 397件 ・性教育講演会 38回 3,023人	R4決算 1,324 R5予算 1,374	継続	子育て支援課
89	思春期ふれあい体験学習の実施	命の大切さを学ぶとともに、思いやりのある心を育み、母性・父性の育成を図ることを目的に、乳児とふれあう体験の場を提供します。	実施	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止	R2決算 - R3予算 58	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止	R3決算 - R4予算 68	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止	R4決算 - R5予算 71	継続	子育て支援課

V 社会全体で子どもを支える環境づくり

1 児童虐待防止対策の充実

(1) 未然防止・早期発見のための体制整備

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
90	利用者支援事業 産前産後支援センター「すまいるママみと」の充実(再掲)	妊娠期から産後1年までの妊産婦と乳児に対し、母子保健コーディネーター(保健師、助産師)による相談を実施することで、安心して出産・育児ができるよう支援します。	1か所	・「すまいるママみと」 妊産婦相談件数 延1,781件	R2決算 247 R3予算 300	・「すまいるママみと」 妊産婦相談件数 延1,786件	R3決算 328 R4予算 438	・「すまいるママみと」 妊産婦相談件数 延1,870件	R4決算 371 R5予算 364	1か所	子育て支援課
91	子育て支援相談員による利用者支援事業の実施(再掲)	子どもとその保護者等が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、情報提供や相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施します。	1か所	【子育て支援相談員】 ・子育てに関する専門的な知識と経験を持つ専門員を配置し、子育て家庭に対して施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談助言等を実施 ・相談件数 102件	R2決算 2,833 R3予算 3,534	【子育て支援相談員】 ・子育てに関する専門的な知識と経験を持つ専門員を配置し、子育て家庭に対して施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談助言等を実施 ・相談件数 98件	R3決算 2,833 R4予算 3,612	【子育て支援相談員】 ・子育てに関する専門的な知識と経験を持つ専門員を配置し、子育て家庭に対して施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談助言等を実施 ・相談件数 90件	R4決算 2,766 R5予算 3,735	1か所	こども政策課
92	※ 乳児家庭全戸訪問事業の推進(再掲)	生後4か月までの乳児のいる家庭を全戸訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供を行います。	2,063人 (92.8%)	・訪問人数 1,802人(89.3%)	R2決算 4,237 R3予算 6,000	・訪問人数 1,857人(96.1%)	R3決算 4,793 R4予算 5,310	・訪問人数 1,842人(99.8%)	R4決算 5,058 R5予算 5,354	全戸訪問	子育て支援課
93	※ 養育支援訪問事業の推進(再掲)	妊娠・出産・育児期に養育支援を特に必要とする家庭に対し、定期的に子育てアドバイザーが訪問し、養育に関する相談、指導等を行います。	20人	・訪問人数 実17人 延167人	R2決算 673 R3予算 1,440	・訪問人数 実13人 延79人	R3決算 332 R4予算 1,290	・訪問人数 実18人 延153人	R4決算 623 R5予算 1,173	継続	子育て支援課
94	乳幼児訪問指導の推進(再掲)	保健指導等が必要と思われる乳幼児やその親を、保健師などが訪問し、相談や指導を行います。	実施	・訪問件数 502件	R2決算 — R3予算 —	・訪問件数 473件	R3決算 — R4予算 —	・訪問件数 461件	R4決算 — R5予算 —	継続	子育て支援課
95	家庭児童相談の充実(再掲)	家庭児童相談員及びケースワーカーによる子どもに関する相談、指導の充実を図ります。	実施	家庭における児童の健全育成を図るため、家庭児童相談員及び専任のケースワーカーにより育児相談及び助言を実施 ・家庭児童相談員の配置2人 ・心理担当支援員の配置2人 ・相談件数 延べ 15,500件 実数 953件	R2決算 8,941 R3予算 10,874	家庭における児童の健全育成を図るため、家庭児童相談員及び専任のケースワーカーにより育児相談及び助言を実施 ・家庭児童相談員の配置2人 ・心理担当支援員の配置2人 ・相談件数 延べ 15,138件 実数 871件	R3決算 11,169 R4予算 11,178	家庭における児童の健全育成を図るため、家庭児童相談員及び専任のケースワーカーにより育児相談及び助言を実施 ・家庭児童相談員の配置2人 ・心理担当支援員の配置2人 ・相談件数 延べ 19,407件 実数 863件	R4決算 10,606 R5予算 11,374	継続	子育て支援課
96	乳幼児健診などにおける児童虐待の早期発見	母子保健事業を通して、児童虐待の早期発見と未然防止に努めるとともに、関係機関と連携し支援の充実を図ります。	実施	・育児相談、健康診査、訪問指導など、母子保健事業を通して児童虐待の早期発見に努めた。	R2決算 — R3予算 —	・育児相談、健康診査、訪問指導など、母子保健事業を通して児童虐待の早期発見に努めた。	R3決算 — R4予算 —	・育児相談、健康診査、訪問指導など、母子保健事業を通して児童虐待の早期発見に努めた。	R4決算 — R5予算 —	継続	子育て支援課
97	子育て短期支援事業(ショートステイ、トワイライトステイ事業)の推進(再掲)	一時的に子どもの養育が困難になった場合に、乳児院や児童養護施設等において子どもを預かります。	7か所	【ショートステイ】 ・利用実人数26人 ・延件数36件 ・延日数152日 【トワイライトステイ】 ・実績なし	R2決算 852 R3予算 4,000	【ショートステイ】 ・利用実人数43人 ・延件数56件 ・延日数245日 【トワイライトステイ】 ・実績なし	R3決算 1,410 R4予算 4,000	【ショートステイ】 ・利用実人数29人 ・延件数54件 ・延日数284日 【トワイライトステイ】 ・実績なし	R4決算 1,718 R5予算 4,000	7か所	子育て支援課
98	児童虐待防止のための啓発活動の推進	児童虐待の未然防止、早期発見のため、相談窓口の周知をはじめとした啓発活動を推進します。	実施	・オレンジリボンキャンペーンによる相談窓口の周知	No.100に含む	・オレンジリボンキャンペーンによる相談窓口の周知	No.100に含む	・オレンジリボンキャンペーンによる相談窓口の周知	No.100に含む	継続	子育て支援課
99	他市区町村との連携による情報共有	要保護児童等が転出入した場合に、継続した支援が行えるよう、転入元、転出先の市区町村との情報共有を徹底します。	実施	・転入元、転出先の市区町村と要保護児童等について書面による情報共有を徹底した。	No.48に含む	・転入元、転出先の市区町村と要保護児童等について書面による情報共有を徹底した。	No.48に含む	・転入元、転出先の市区町村と要保護児童等について書面による情報共有を徹底した。	No.48に含む	継続	子育て支援課



No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
100	※要保護児童及びDV対策地域協議会による地域ネットワークの強化	市要保護児童及びDV対策地域協議会の円滑な運営により、児童虐待の未然防止と早期対応のための地域ネットワークを強化します。	実施	市要保護児童及びDV対策地域協議会 ・代表者会議 1回開催 ・実務者会議 14回開催 ・オレンジリボンキャンペーンの実施	R2決算 224 R3予算 391	市要保護児童及びDV対策地域協議会 ・代表者会議 1回開催 ・実務者会議 14回開催 ・オレンジリボンキャンペーンの実施	R3決算 211 R4予算 391	市要保護児童及びDV対策地域協議会 ・代表者会議 1回開催 ・実務者会議 14回開催 ・オレンジリボンキャンペーンの実施	R4決算 241 R5予算 391	継続	子育て支援課
101	子ども家庭総合支援拠点の強化	市子ども家庭総合支援拠点について、必要な体制の整備・強化を図ります。	実施	・心理担当支援員2名を新たに配置	No.48に含む	・令和2年度の体制を継続	No.48に含む	・令和3年度の体制を継続	No.48に含む	継続	子育て支援課

(2) 要保護・要支援児童等への支援

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
102	児童虐待に関する相談・指導の推進	児童相談所などの関係機関と連携し、児童虐待に関する相談、指導の充実を図ります。	実施	・関係機関と連携し、家庭児童相談員及びケースワーカーによる児童虐待に関する相談、指導を実施  ・相談件数 延べ15,500件 (うち虐待相談 2,373件 虐待の実件数 95件)	No.48に含む	・関係機関と連携し、家庭児童相談員及びケースワーカーによる児童虐待に関する相談、指導を実施  ・相談件数 延べ15,138件 (うち虐待相談 3,062件 虐待の実件数 60件)	No.48に含む	・関係機関と連携し、家庭児童相談員及びケースワーカーによる児童虐待に関する相談、指導を実施  ・相談件数 延べ19,407件 (うち虐待相談 7,513件 虐待の実件数 92件)	No.48に含む	継続	子育て支援課
103	※要保護児童及びDV対策地域協議会による地域ネットワークの強化(再掲)	市要保護児童及びDV対策地域協議会の円滑な運営により、児童虐待の未然防止と早期対応のための地域ネットワークを強化します。	実施	市要保護児童及びDV対策地域協議会 ・代表者会議 1回開催 ・実務者会議 14回開催 ・オレンジリボンキャンペーンの実施	R2決算 224 R3予算 391	市要保護児童及びDV対策地域協議会 ・代表者会議 1回開催 ・実務者会議 14回開催 ・オレンジリボンキャンペーンの実施	R3決算 211 R4予算 391	市要保護児童及びDV対策地域協議会 ・代表者会議 1回開催 ・実務者会議 14回開催 ・オレンジリボンキャンペーンの実施	R4決算 241 R5予算 391	継続	子育て支援課
104	虐待被害にあった子どもの安全確保	児童虐待に関する通告に対して、速やかに子どもの安全確認を行うとともに、児童相談所や警察と連携し、適切に子どもの安全確保を行います。	実施	・児童虐待に関する通告があった児童について、速やかに安全確認を行い、一時保護が必要と判断した児童については、児童相談所に送致した。 ・安全確認実件数 95件 ・児童相談所送致件数 1件 (児童虐待に関する送致件数)	No.48に含む	・児童虐待に関する通告があった児童について、速やかに安全確認を行った。 ・安全確認実件数 60件 ・児童相談所送致件数 0件 (児童虐待に関する送致件数)	No.48に含む	・児童虐待に関する通告があった児童について、速やかに安全確認を行い、一時保護が必要と判断した児童については、児童相談所に送致した。 ・安全確認実件数 92件 ・児童相談所送致件数 4件 (児童虐待に関する送致件数)	No.48に含む	継続	子育て支援課
105	社会的養育の推進	国の「新しい社会的養育ビジョン」に基づき、子どもが健やかに養育されるよう、里親制度等の周知と活用を図ります。	実施	・10月の里親月間に合わせ、広報みやホームページによる里親制度の周知	R2決算 — R3予算 —	・10月の里親月間に合わせ、広報みやホームページによる里親制度の周知	R3決算 — R4予算 —	・10月の里親月間に合わせ、広報みやホームページによる里親制度の周知	R4決算 — R5予算 —	継続	子育て支援課
106	DV被害者とその子どもへの適切な支援	DV被害者とその子どもに対する支援を推進します。また、市配偶者暴力相談支援センターとして、婦人相談所等の関係機関と連携し、相談、指導を行います。	実施	DV対策基本計画の進行管理 ・水戸市配偶者暴力相談センターの運営 ・水戸市庁内DV対応マニュアルの活用 ・水戸市DV対策基本計画(第2次)策定	R2決算 4,368 R3予算 5,510	DV対策基本計画(第2次)の進行管理 ・水戸市配偶者暴力相談センターの運営 ・水戸市庁内DV対応マニュアルの活用	R3決算 5,216 R4予算 5,597	DV対策基本計画(第2次)の進行管理 ・水戸市配偶者暴力相談センターの運営 ・水戸市庁内DV対応マニュアルの活用	R4決算 5,260 R5予算 5,679	継続	子育て支援課
107	児童虐待対応職員の専門性の強化	外部有識者による研修の実施等により、児童虐待対応にあたる職員の知識や対応力の向上を図ります。	実施	・外部有識者による事例検討研修 2回開催	No.48に含む	・外部有識者による事例検討研修 2回開催	No.48に含む	・外部有識者による事例検討研修 2回開催	No.48に含む	継続	子育て支援課
108	児童虐待・DVに関する研修の充実	児童虐待やDVへの対応を確実に行うため、基礎知識や対応方法などについて、外部関係者や市職員向けに研修を実施します。	実施	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため未実施	No.100に含む	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため未実施	No.100に含む	・庁内DV対応研修 2回開催	No.100に含む	継続	子育て支援課

## 2 子どもの貧困対策の推進

### (1) 教育支援の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
109	生活困窮世帯の子どもに対する学習支援	生活困窮世帯の子どもが将来自立した生活ができるように、学習支援や居場所づくり等を行います。	実施	無料の学習支援会「すてっぷ」を実施 実施会場数:4会場 延べ実施回数:145回 延べ参加者数:1393名	R2決算 1,018 R3予算 1,080	無料の学習支援会「すてっぷ」を実施 実施会場数:4会場 延べ実施回数:149回 延べ参加者数:1697名	R3決算 10,799 R4予算 16,500	無料の学習支援会「すてっぷ」を実施 実施会場数:6会場 延べ実施回数:262回 延べ参加者数:2284名	R4決算 16,545 R5予算 19,000	継続	生活福祉課
110	放課後学力サポート事業の拡充(再掲)	放課後子ども教室において、望ましい学習習慣を身に付け、学力向上につながるよう、放課後学力サポート事業を全校で実施します。	実施校数 28校 (令和元年5月 1日現在)	放課後学力サポート事業 ・小学校・義務教育学校(前期 課程)30校で実施	R2決算 — R3予算 —	放課後学力サポート事業 ・小学校・義務教育学校(前期 課程)33校で実施	R3決算 — R4予算 —	放課後学力サポート事業 ・32小学校 1義務教育学校 (全校)で実施	R4決算 — R5予算 —	全校実施 (33校)	こども政策課
111	就学援助の実施(再掲)	経済的理由から学校納付金や学用品などの支出が困難な家庭に対し、就学援助費を支給します。	実施	就学援助実施児童生徒数 小学校 808人 中学校 561人 小学校入学予定者 56人	R2決算 小学校 44,485 中学校 45,639 R3予算 小学校 58,000 中学校 75,700	就学援助実施児童生徒数 小学校 761人 中学校 540人 小学校入学予定者 53人	R3決算 小学校 51,384 中学校 59,245 R4予算 小学校 63,100 中学校 78,500	就学援助実施児童生徒数 小学校 719人 中学校 506人 小学校入学予定者 77人	R4決算 小学校 50,754 中学校 60,236 R5予算 小学校 58,500 中学校 53,100	継続	学校管理課
112	交通遺児への就学奨励補助の実施	交通遺児の保護者に対し、就学奨励金を支給します。	実施	支給対象交通遺児数 小学校 2人 中学校 1人	R2決算 198 R3予算 330	支給対象交通遺児数 小学校 2人 中学校 1人	R3決算 198 R4予算 330	支給対象交通遺児数 小学校 1人 中学校 2人	R4決算 198 R5予算 330	継続	学校管理課
113	高等学校で就学するための支援	経済的理由により高等学校での修学が困難な生徒に対して、奨学金を支給します。	実施	支給対象奨学生数 57人	R2決算 4,170 R3予算 5,400	支給対象奨学生数 46人	R3決算 3,282 R4予算 5,400	支給対象奨学生数 35人	R4決算 2,520 R5予算 4,320	継続	学校管理課
114	生活保護世帯への教育費用の扶助	生活保護世帯の子どもに対し、義務教育に必要な費用及び高等学校就学に係る費用について扶助を行います。	実施	3,483件 45,980千円	R2決算 45,980 R3予算 44,849	4,571件 40,660千円	R3決算 40,660 R4予算 45,914	2,946件 42,643千円	R4決算 42,643 R5予算 15,735	継続	生活福祉課
115	生活保護世帯への進学準備給付金の支給	生活保護世帯の子どもが大学等へ進学する際に、転居や学用品の購入に係る費用を支給します。	実施	7件 1,700千円	R2決算 1,700 R3予算 —	12件 2,600千円	R3決算 2,600 R4予算 —	11件 2,500千円	R4決算 2,500 R5予算 —	継続	生活福祉課
116	高等教育の修学支援新制度の周知と活用促進	意欲と能力のある子どもが経済的理由により進学を断念することがないように、大学等の修学支援新制度の周知及び活用促進に努めます。	実施	窓口相談時における周知, 案内	R2決算 — R3予算 —	窓口相談時における周知, 案内	R3決算 — R4予算 —	窓口相談時における周知, 案内	R4決算 — R5予算 —	継続	こども政策課

(2)生活支援の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
117	ひとり親家庭等日常生活支援事業の実施	ひとり親家庭の親が自立に向けた就職活動や疾病などの理由により、一時的に家族の介護や保育サービスが必要になった場合に、支援員を派遣します。	茨城県実施	ひとり親家庭の親が研修会等に参加する際の子どもの預かりなどを行った。	R2決算 751 R3予算 1,213	ひとり親家庭の親が研修会等に参加する際の子どもの預かりなどを行った。 派遣回数:33件	R3決算 724 R4予算 1,200	ひとり親家庭の親が研修会等に参加する際の子どもの預かりなどを行った。 派遣回数:48件	R4決算 933 R5予算 1,200	実施	子ども政策課
118	子ども食堂の運営支援	民間団体等による子ども食堂の運営を支援します。	実施	子ども食堂に関する周知・広報活動を行った。	R2決算 — R3予算 —	子ども食堂に関する周知・広報活動を行った。	R3決算 — R4予算 —	子ども食堂に関する周知・広報活動を行った。	R4決算 — R5予算 —	継続	子ども政策課
119	放課後子ども教室の充実(再掲)	児童の安全・安心な居場所となるとともに、多様な体験、活動を通じて、心豊かで健やかに成長できるように、実施内容の充実に努めます。	全校実施 (33校)	・設置数 36箇所(水戸市内全小学校・義務教育学校及びNPO法人等への委託3箇所を含む) ・延べ参加人数 9,527人 ・活動回数 計690回	R2決算 16,390 R3予算 27,445	・設置数 33箇所 (32小学校 1義務教育学校) ・延べ参加人数 11,412人 ・活動回数 計1,006回	R3決算 27,445 R4予算 27,946	・設置数 33箇所 (32小学校 1義務教育学校) ・延べ参加人数 13,448人 ・活動回数 計1,018回	R4決算 27,918 R5予算 27,429	継続	子ども政策課
120	ひとり親家庭支援団体に対する支援	市母子寡婦福祉会等のひとり親家庭支援団体の運営を支援します。	実施	水戸市母子寡婦福祉会への補助	R2決算 26 R3予算 24	水戸市母子寡婦福祉会への補助	R3決算 24 R4予算 32	水戸市母子寡婦福祉会への補助	R4決算 33 R5予算 38	継続	子ども政策課
121	子育て中の生活困窮世帯に対する相談支援	子育て中の生活困窮世帯の自立に向けた情報提供や助言等を行います。	実施	生活困窮者自立相談支援事業相談件数:8,154件 子育て中の生活困窮世帯については、該当世帯に対する食糧支援、生活福祉資金貸付制度の案内及び生活保護申請への繋ぎ等を行った。	R2決算 21,092 R3予算 17,600	生活困窮者自立相談支援事業相談件数:3,068件 子育て中の生活困窮世帯については、該当世帯に対する食糧支援、生活福祉資金貸付制度の案内及び生活保護申請への繋ぎ等を行った。	R3決算 23,018 R4予算 20,600	生活困窮者自立相談支援事業相談件数:1,411件 子育て中の生活困窮世帯については、該当世帯に対する食糧支援、生活福祉資金貸付制度の案内及び生活保護申請への繋ぎ等を行った。	R4決算 23,365 R5予算 21,000	継続	生活福祉課

(3)保護者の就労支援の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
122	ハローワークと連携した就業支援	ハローワークと連携し市役所庁舎内に設置した、就業支援窓口「つなぐハローワークみと」において、生活困窮世帯やひとり親家庭に対する相談・支援を推進します。	実施	支援対象者数 336人 就職者数 202人	R2決算 — R3予算 —	支援対象者数 231人 就職者数 169人	R3決算 — R4予算 —	支援対象者数 227人 就職者数 173人	R4決算 — R5予算 —	継続	子ども政策課 生活福祉課
123	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等の支給	ひとり親家庭の親が、就労に必要な資格を取得するための給付金を支給します。	実施	支給対象者数 15人	R2決算 16,258 R3予算 20,475	支給対象者 25人	R3決算 25,661 R4予算 38,176	支給対象者 29人	R4決算 36,724 R5予算 40,660	継続	子ども政策課
124	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の実施	ひとり親家庭の親又は児童に対し、高等学校卒業認定試験に係る給付金を支給します。	実施	支給対象者数 0人	R2決算 — R3予算 —	支給対象者 0人	R3決算 — R4予算 —	支給対象者 0人	R4決算 — R5予算 —	継続	子ども政策課
125	母子家庭等就業自立支援センター事業の実施	就業相談や就業支援講習会等、就業につながるサービスを提供し、ひとり親家庭の親が就業し自立していけるよう支援します。	茨城県実施	茨城県母子寡婦福祉連合会へ委託 相談件数:100件 講習会開催:2回	R2決算 717 R3予算 811	茨城県の事業廃止に伴い事業廃止	R3決算 — R4予算 —	茨城県の事業廃止に伴い事業廃止	R4決算 — R5予算 —	継続	子ども政策課

(4) 経済的支援の充実

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
126	児童扶養手当の支給	児童扶養手当法に基づき、児童を養育するひとり親家庭等に対して手当を支給します。	実施	・児童扶養手当認定世帯数 2,221世帯	R2決算 1,176,928 R3予算 1,220,700	・児童扶養手当認定世帯数 2,235世帯	R3決算 1,114,714 R4予算 1,237,500	・児童扶養手当認定世帯数 1,972世帯	R4決算 1,050,337 R5予算 1,162,800	継続	こども政策課
127	遺児養育手当の支給	遺児を養育している方を対象に手当を支給します。	実施	・支給対象遺児数 320人	R2決算 12,723 R3予算 13,440	・支給対象児童 320人	R3決算 12,005 R4予算 13,440	・支給対象児童 316人	R4決算 12,275 R5予算 13,230	継続	こども政策課
128	母子・父子家庭の医療福祉費の助成	児童を養育するひとり親家庭等の父親、母親又はその子が医療機関にかかった場合の医療費の助成を行います。	実施	・件数 31,450件	R2決算 146,600 R3予算 169,000	・件数 49,095件	R3決算 149,789 R4予算 164,000	・件数 51,877件	R4決算 155,568 R5予算 163,000	継続	国保年金課
129	寡婦(夫)控除のみなし適用による支援	未婚のひとり親家庭を経済的に支援するため、保護者負担金や各種手当等の算定において寡婦(夫)控除のみなし適用します。	実施	地方税法の一部改正に伴い 制度廃止	R2決算 — R3予算 —	地方税法の一部改正に伴い 制度廃止	R3決算 — R4予算 —	地方税法の一部改正に伴い 制度廃止	R4決算 — R5予算 —	継続	—

### 3 配慮が必要な子どもへの支援の充実

#### (1) 発達に心配のある子どもへの支援

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
130	子ども発達支援センターにおける支援の充実	専門職(社会福祉士, 言語聴覚士, 臨床心理士等)が保護者の相談に応じるとともに, 発達に心配のある児童の通所療育指導を充実します。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども発達支援センター運営</li> <li>相談員面接件数 316件</li> <li>心理士面接件数 370件</li> <li>電話相談件数 382件</li> <li>通所児数 延1,011人</li> <li>個別言語指導児数 延584人</li> <li>巡回訪問指導回数 145回</li> </ul>	R2決算 子ども発達支援センター運営経費 35,558  R3予算 子ども発達支援センター運営経費 53,138	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども発達支援センター運営</li> <li>相談員面接件数 348件</li> <li>心理士面接件数 285件</li> <li>電話相談件数 509件</li> <li>通所児数 延1,328人</li> <li>個別言語指導児数 延757人</li> <li>申請 27人</li> <li>巡回訪問指導回数 140回</li> </ul>	R3決算 子ども発達支援センター運営経費 11,407  R4予算 子ども発達支援センター運営経費 12,038	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども発達支援センター運営</li> <li>相談員面接件数 308件</li> <li>心理士面接件数 539件</li> <li>電話相談件数 676件</li> <li>通所児数 延1,383人</li> <li>個別言語指導児数 延659人</li> <li>申請 76人</li> <li>巡回訪問指導回数 154回</li> </ul>	R4決算 子ども発達支援センター運営経費 80,274 R5予算 子ども発達支援センター運営経費 15,363	継続	子育て支援課
131	幼稚園における通級指導の充実	発達に何らかの不安のある子どもを対象とした「ことば・こころの教室」の通級指導を充実します。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の「ことば・こころの教室」</li> <li>4, 5歳児対象</li> <li>設置数 3学級</li> <li>通級児童数 263人(実人数)</li> </ul>	R2決算 — R3予算 —	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育指導教室(幼児の「ことば・こころの教室」)</li> <li>4, 5歳児対象</li> <li>設置数 7学級</li> <li>通所児童数 237人(実人数)</li> </ul>	R3決算 — R4予算 子ども発達支援センター運営経費に含む	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育指導教室(幼児の「ことば・こころの教室」)</li> <li>4, 5歳児対象</li> <li>設置数 5学級</li> <li>通所児童数 213人(実人数)</li> </ul>	R4決算 R5予算 子ども発達支援センター運営経費に含む	継続	子育て支援課 幼児保育課
132	福祉, 保健, 教育の連携強化	発達に不安のある子どもの早期発見・早期支援や発達に応じた適切な指導, 支援を推進するなど, 子ども発達支援センター, 地域保健課, 通級指導教室, 特別支援学級等の連携による子どもの発達支援の充実に努めます。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害に係る早期支援体制連絡会議</li> <li>年3回実施</li> <li>各関係各課が参加</li> <li>市発達障害早期支援リーフレット作成(3歳児に配付)</li> </ul>	R2決算 74,030 R3予算 30,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害に係る早期支援体制連絡会議</li> <li>市発達障害早期支援リーフレット作成(3歳児に配布)</li> </ul>	R4決算 55 R5予算 43	継続	子育て支援課 地域保健課 教育研究課 幼児保育課	継続	子育て支援課 地域保健課 教育研究課 幼児保育課

#### (2) 障害のある子どもへの日常生活支援

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
133	障害児に対する手当の支給	日常生活において常時の介護を必要とする在宅の重度の障害児(20歳未満)に対して, 障害児福祉手当を支給します。また, 心身に重度又は中度の障害のある障害児に対して, 心身障害児(者)福祉手当を支給します。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害児福祉手当の支給 延1,824人</li> <li>市心身障害児(者)福祉手当の支給 延60,807人</li> </ul>	R2決算 229,910 R3予算 232,699	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害児福祉手当の支給 延1,803人</li> <li>市心身障害児(者)福祉手当の支給 延60,912人</li> </ul>	R3決算 229,919 R4予算 233,555	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害児福祉手当の支給 延1,828人</li> <li>市心身障害児(者)福祉手当の支給 延60,908人</li> </ul>	R4決算 229,360 R5予算 234,291	継続	障害福祉課
134	障害児通所サービス等の充実	在宅の障害児(医療的ケア児を含む)を対象とした児童発達支援, 放課後等デイサービス, 短期入所, 補装具費の支給, 日常生活用具の給付等の福祉サービスの充実を図ります。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>居宅介護 4,562件(成人含む)</li> <li>短期入所 893件(成人含む)</li> <li>放課後等デイサービス 9,012件</li> <li>児童発達支援 2,663件</li> <li>保育所等訪問支援 67件</li> <li>補装具の交付 482件(成人含む)</li> <li>日常生活用具の給付 6,341件(成人含む)</li> </ul>	R2決算 1,710,262 R3予算 1,751,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>居宅介護 4,871件(成人含む)</li> <li>短期入所 843件(成人含む)</li> <li>放課後等デイサービス 10,246件</li> <li>児童発達支援 2,945件</li> <li>保育所等訪問支援 89件</li> <li>補装具の交付 400件(成人含む)</li> <li>日常生活用具の給付 6,331件(成人含む)</li> </ul>	R3決算 1,928,648 R4予算 2,116,300	<ul style="list-style-type: none"> <li>居宅介護 4,859件(成人含む)</li> <li>短期入所 981件(成人含む)</li> <li>放課後等デイサービス 11,611件</li> <li>児童発達支援 3,353件</li> <li>保育所等訪問支援 130件</li> <li>補装具の交付 485件(成人含む)</li> <li>日常生活用具の給付 6,425件(成人含む)</li> </ul>	R4決算 2,158,843 R5予算 2,350,000	継続	障害福祉課
135	重度心身障害者医療福祉費の助成	健康保険に加入している重度心身障害者を対象とした医療費の助成を行います。	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 121,962件</li> </ul>	R2決算 686,115 R3予算 750,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 129,819件</li> </ul>	R3決算 703,942 R4予算 750,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 132,192件</li> </ul>	R4決算 686,121 R5予算 740,000	継続	国保年金課

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
136	一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進	障害のある子どもが特性や発達段階に応じた教育を受けられるよう、就学相談を実施するとともに、特別支援教育支援員の適切な配置に努めます。	実施	・幼稚園12園 20名の幼児に17名の支援員を配置 ・小中義務教育学校36校 169名の児童生徒に147名の支援員を配置(R2.4)	R2決算 141,506 R3予算 168,357	・小中義務教育学校41校 192名の児童生徒に176名の支援員を配置(R3.4)	R3決算 144,884 R4予算 174,215	・小中義務教育学校41校 218名の児童生徒に193名の支援員を配置(R4.4)	R4決算 175,763 R5予算 222,085	継続	教育研究課

(3)外国につながる子どもへの支援

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
137	市ホームページの多言語化による情報発信	幼児教育・保育や子育て支援サービス等を円滑に利用できるよう、市ホームページの多言語化による情報発信を充実します。	実施	英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語への翻訳に対応したホームページによる情報発信を行った。	R2決算 510 R3予算 660	英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語への翻訳に対応したホームページによる情報発信を行った。	R3決算 495 R4予算 660	英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語への翻訳に対応したホームページによる情報発信を行った。 ※市ホームページのリニューアルに伴い、外国語翻訳サービスをGoogle翻訳へと切り替えた。本サービスは費用がかからないため、令和5年度は予算措置されていない。	R4決算 490 R5予算 -	継続	みとの魅力発信課 こども政策課 幼児保育課
138	外国人のための生活情報紙の充実	本市在住の外国人等に対して、生活に役立つ情報を分かりやすく届けるため、生活情報紙の充実を図ります。	実施	生活情報誌「Culture Pot MITO」の発行 ・年4回(5,8,11,2月) ・言語 ルビ付き日本語版、英語版 ・部数 940部/各回	※市国際交流協会事業	生活情報誌「Culture Pot MITO」の発行 ・年4回(5,8,11,2月) ・言語 ルビ付き日本語版、英語版 ・部数 950部/各回	R3決算 36 R4予算 52 ※市国際交流協会事業	生活情報紙「Culture Pot MITO」の発行 ・年4回(5, 8, 11, 2月) ・言語 ルビ付き日本語版、英語版 ・部数 900部/各回	R4決算 55 R5予算 52 ※市国際交流協会事業	継続	文化交流課
139	外国人のための日本語支援の充実	日常生活に必要な日本語能力等を習得できるよう、外国人を対象とした日本語支援の充実を図ります。	実施	日本語プレ初級クラス ・期間 [第1期] 令和2年11月18日 ～12月18日 [第2期] 令和3年2月17日 ～3月18日 ・開催数 10回(各期) ・受講者 [第1期] 13人 [第2期] 8人	※市国際交流協会事業	子どものための日本語教室 ・期間 令和3年5月16日～ 令和3年11月28日 ・開催日 毎週日曜日 ・参加児童生徒 4人  日本語プレ初級クラス ・期間 [第1期] 令和3年5月12日 ～6月10日 [第2期] 令和4年1月19日 ～3月2日 ・開催数 [第1期] 全10回 [第2期] 全12回 ・受講者 6人	R3決算 438 R4予算 1,629 ※市国際交流協会事業	子どものための日本語教室 ・期間 令和4年5月8日～ 令和5年3月26日 ・開催日 毎週日曜日 ・参加児童生徒 3人  日本語プレ初級クラス ・期間 [第1期] 令和4年4月13日 ～5月26日(全12回) [第2期] 令和4年7月13日 ～8月25日(全12回) [第3期] 令和4年10月19日 ～12月7日(全12回) [第4期] 令和5年2月1日 ～3月15日(全12回) ・受講者 25人	R4決算 852 R5予算 1,614 ※市国際交流協会事業	継続	文化交流課
140	学校における日本語指導の充実	日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒に対して、学校における日本語指導の充実を図ります。	実施	・日本語指導員3名による巡回指導(児童生徒1人につき週1～2時間目安) ・日本語指導員研修 1回実施	R2決算 3,409 R3予算 4,964	・日本語指導員4名による巡回指導(児童生徒1人につき週1～2時間目安) ・日本語指導員研修 1回実施	R3決算 4,524 R4予算 5,007	・日本語指導員4名による巡回指導(児童生徒1人につき週1～2時間目安) ・日本語指導員研修 3回実施	R4決算 4,614 R5予算 5,778	継続	教育研究課
141	外国語に対応した窓口サービスの充実	外国語による対応が必要な保護者に対し、音声翻訳機を使用するなど、子育て支援に関する手続き等の円滑化を図ります。	検討	自動翻訳機の導入(令和2年6月) ・設置場所 本庁舎総合案内 文化交流課 ・使用回数 5回	R2決算 238 R3予算 -	自動翻訳機の運用 ・設置場所 本庁舎総合案内 文化交流課 ・使用回数 文化交流課1件	R3決算 - R4予算 -	自動翻訳機の運用 ・設置場所 本庁舎総合案内 文化交流課 ・使用回数 文化交流課1件	R4決算 - R5予算 -	実施	文化交流課 こども政策課

#### 4 ワーク・ライフ・バランスの促進

##### (1) 仕事と家庭生活の調和の促進

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
142	仕事と家庭生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の周知	市民や事業者に対し、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発を推進するための講習会等を開催します。	実施	・講習会等実施回数:4回 ・参加者数合計:144人	R2決算 194 R3予算 2,707	・講習会等実施回数:6回 ・参加者数合計:461人 ・参加事業所数:301事業所	R3決算 1,876 R4予算 2,598	・講習会等実施回数:7回 ・参加者数合計:218人	R4決算 357 R5予算 2,305	継続	男女平等参画課
143	ハローワーク等関係機関との連携	ハローワーク等と連携を図り、多様な働き方についての情報提供や、母親の再就職を支援するためのセミナー等を開催します。	実施	女性対象復職支援講座 ・講習会等実施回数:1回 ・参加者数合計:6人	R2決算 62 R3予算 76	・女性対象起業講座 実施回数:1回 参加者数:17人 ・女性対象復職支援講座 講習会等実施回数:1回 参加者数:16人	R3決算 170 R4予算 253	・女性対象起業講座 実施回数:1回 参加者数:13人 ・女性対象復職支援講座 講習会等実施回数:1回 参加者数:11人 ・就職応援セミナー(マザーズコーナー)の実施 実施回数:2回 参加者数:13名	R4決算 180 R5予算 314	継続	男女平等参画課 商工課
144	両立支援制度の周知, 利用促進	事業者に対し、従業員が育児休業を取得した際に受けられる国の各種助成金制度を周知し、利用を促進します。	実施	・対面による周知が困難な状況等における効果的な手法の検討。	R2決算 — R3予算 —	・市HPで相談窓口等の情報提供を実施 ・人材不足解消セミナーの実施(動画配信):1回 参加事業所:301事業所	R3決算 135 R4予算 150	・市HPで相談窓口等の情報提供を実施 ・建設業事業者向けセミナーを開催予定していたが、コロナウイルス感染症により、実施延期となる	R4決算 — R5予算 150	継続	男女平等参画課
145	ダブルケア支援の実施	子育てと介護を同時に担うダブルケア世帯への支援を行います。	検討	高齢者支援センターがこども政策課と連携し、ダブルケア世帯を支援した。 該当ケース:1件	R2決算 — R3予算 —	高齢者支援センターが子育て支援課と連携し、ダブルケア世帯を支援する。 該当ケース:0件	R3決算 — R4予算 —	高齢者支援センターが子育て支援課と連携し、ダブルケア世帯を支援する。 該当ケース:0件	R4決算 — R5予算 —	実施	子育て支援課 高齢福祉課

##### (2) 結婚支援・出会いの場の創出

No.	事業名	事業の概要	基準値 2018 (H30)年度末	2020(令2)年度実績	R2決算 R3予算 (千円)	2021(R3)年度実績	R3決算 R4予算 (千円)	2022(R4)年度実績	R4決算 R5予算 (千円)	目標指標 2024 (R6)年度末	関係課
146	結婚支援事業の実施	民間団体との協働等により、結婚支援事業を実施します。	検討	・新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止	R2決算 — R3予算 —	連携中枢都市圏事業としての婚活事業の実施に向けて、市町村間の協議を行った。	R3決算 — R4予算 2,000	地域連携中枢都市圏事業として構成市町村と連携しながら、プロポーザル方式により企画運営事業者を選定し、婚活イベントを実施した。 ・オンラインセミナー1回 ・オンラインパーティー2回 ・対面パーティー1回	R4決算 1,903 R5予算 2,000	実施	こども政策課
147	いばらき出会いサポートセンター等との連携	いばらき出会いサポートセンター、市社会福祉協議会等と連携・協力しながら、良好な男女の出会い場の創出に努めます。	実施	・いばらき出会いサポートセンターと連携・協力しながら、男女の出会いの場を創出した。	R2決算 289 R3予算 289	・いばらき出会いサポートセンターと連携・協力しながら、男女の出会いの場を創出した。	R3決算 289 R4予算 289	・いばらき出会いサポートセンターと連携・協力しながら、男女の出会いの場を創出した。	R4決算 289 R5予算 297	継続	こども政策課
148	結婚新生活支援補助金の支給	結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯に対し、新生活のスタートに係る費用を支給します。	実施	・結婚新生活支援補助金 補助件数 65件	R2決算 12,068 R3予算 15,000	・結婚新生活支援補助金 補助件数 84件	R3決算 15,471 R4予算 15,000	・結婚新生活支援補助金 補助件数 67件	R4決算 12,622 R5予算 30,000	継続	こども政策課

## (仮称)水戸市こども計画の策定に係る基礎調査について

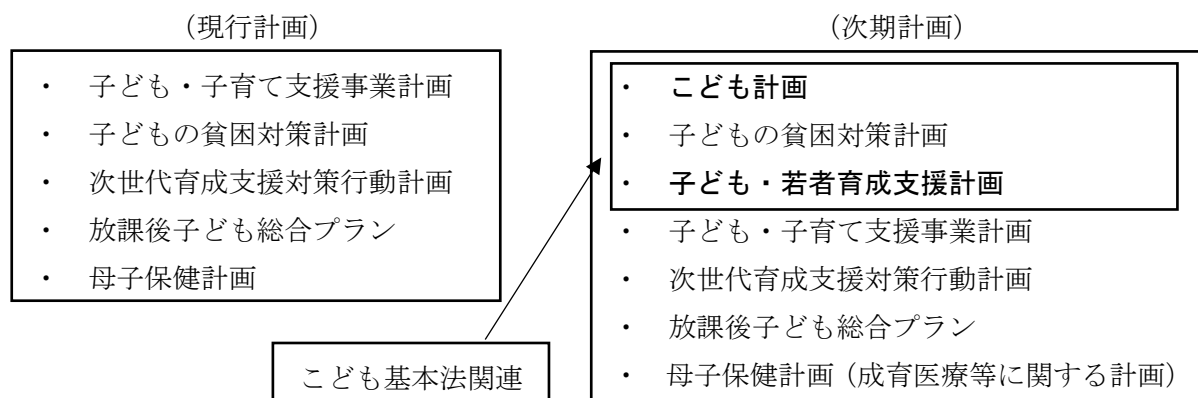
### 1 (仮称)水戸市こども計画の策定について

本市のこども・子育て支援に係る計画である「水戸市第2期子ども・子育て支援事業計画 - みと・すくすくプラン -」(以下「現行計画」という。)の計画期間が令和2年度から令和6年度となっているため、現行計画に替わる新たな計画(以下「次期計画」という。)の策定が必要である。

次期計画の策定に当たって、令和5年度においては、課題や実態を把握するための基礎調査を実施するが、令和5年4月に施行された「こども基本法」に基づく「こども計画」に係る施策等を次期計画に新たに位置付けるため、これまで行ってきた児童の保護者向けニーズ調査に加えて、こども・若者本人向け意識調査を実施する。

令和6年度においては、基礎調査の結果を踏まえた計画の施策体系、事業計画における量の見込みと確保方策等について検討し、当分科会の御意見をいただいた上で策定する。

#### 【参考】現行計画と次期計画の位置付け



### 2 基礎調査について

#### (1) 児童の保護者向けニーズ調査

現行計画を策定したときと同様に、子育て家庭の現状とニーズを把握するため、国の手引きを踏まえ、保護者に対するアンケート調査を実施する。

- 就学前児童の保護者向けアンケート 2,000人 前回調査(H30)回収率 39.2%
- 小学生の保護者向けアンケート 2,000人 " 回収率 42.2%

#### (2) こども・若者本人向け意識調査

令和5年4月に施行された「こども基本法」の趣旨を踏まえ、施策の対象となるこども・若者本人の意見を聴取するため、新たに、こども・若者向けの意識調査を実施する。

- こども意識調査(中学生から概ね18歳まで) 2,000人
- 若者意識調査(概ね19歳から30歳未満) 2,000人

#### (3) 調査内容

別紙調査票(案)のとおり



お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの中学校区は次のうちどちらですか。(1つに○)

1. 第一中学区	2. 第二中学区	3. 第三中学区	4. 緑岡中学区	5. 第四中学区
6. 飯富中学区	7. 国田義務教育学区	8. 赤塚中学区	9. 第五中学区	10. 見川中学区
11. 双葉台中学区	12. 笠原中学区	13. 石川中学区	14. 千波中学区	15. 常澄中学区
16. 内原中学区	17. わからない	※国田義務教育学校は小中一貫校です。		

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。

20   年(西暦)   月   日 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月日をご記入ください。

きょうだい数  人 末子の生年月日 20   年(西暦)   月   日 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他( )

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他( )

こどもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親
4. 祖父母	5. 幼稚園	6. 保育園(所)
7. 認定こども園	8. 小規模保育・家庭的保育	9. その他( )

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭	2. 地域	3. 幼稚園
4. 保育園(所)	5. 認定こども園	6. その他( )

**問9 保育所等施設の通所の有無に関わらず、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)**

- |   |   |      |   |
|---|---|------|---|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる                               | ⇒ | 問9-1 | △ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる                      | ⇒ | 問9-1 | △ |
| 3. 日常的にこどもをみてもらえる友人・知人がいる                           | ⇒ | 問9-2 | △ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる                  | ⇒ | 問9-2 | △ |
| 5. いずれもない ⇒ 問10 △ ※選択項目によっては、問9-1と問9-2の両方を回答してください。 |   |      |   |

**問9-1 問9で「1」、「2」に○をつけた方にうかがいます。**

**祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)**

- |   |
|---|
| 1. 祖父母等の親族に大きな負担をかけることなく、安心してこどもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である               |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である        |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい          |
| 5. こどもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある     |
| 6. その他 ( )                              |

**問9-2 問9で「3」、「4」に○をつけた方にうかがいます。**

**友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)**

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 友人・知人に大きな負担をかけることなく、安心してこどもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である               |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である        |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい        |
| 5. こどもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある   |
| 6. その他 ( )                            |

**問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。(1つに○)**

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. はい ⇒ 問10-1 △ | 2. いいえ ⇒ 問11 △ |
|-----------------|----------------|

**問10-1 問10で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。**

**お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)**

- |  |                |              |
|--|----------------|--------------|
| 1. 祖父母等の親族                             | 2. 友人や知人       | 3. 近所の人      |
| 4. 子育て支援施設(わんぱーく・みと、はみんぐぱーく・みと、子育て広場等) | 5. 市の子育て関連相談窓口 | 6. 保育園(所)    |
| 7. 幼稚園                                 | 8. 認定こども園      | 9. 民生委員・児童委員 |
| 10. かかりつけの医師                           | 11 その他 ( )     |              |



## 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

今後の設問で、「フルタイム」、「短時間勤務」とは、次の場合とします。

「フルタイム」＝ 週5日程度・1日8時間程度の勤務の場合（※雇用形態に関わらず）

「短時間勤務」＝ 「フルタイム」よりも短時間の勤務の場合

**問 13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。**

**（1）母親（1つに○） 【父子家庭の場合は記入不要 ⇒ （2）父親 へ】**

- |                                 |   |            |   |
|---------------------------------|---|------------|---|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | ⇒ | (1) - 1, 2 | へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | ⇒ | (1) - 1, 2 | へ |
| 3. 短時間勤務で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | ⇒ | (1) - 1, 2 | へ |
| 4. 短時間勤務で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | ⇒ | (1) - 1, 2 | へ |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない        | ⇒ | (2) 父親     | へ |
| 6. これまで就労したことがない                | ⇒ | (2) 父親     | へ |

**（1） - 1** (1) 母親の間で「1」～「4」に○をつけた方のみにうかがいます。

1週あたりの「平均就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり  日 / 1日あたり   時間

**（1） - 2** (1) 母親の間で「1」～「4」に○をつけた方のみにうかがいます。

概ね家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず（例）「08時～18時」のように、24時間制でお答えください。

（口内に数字で記入、数字は一桁に一字）

家を出る時間   時 / 帰宅時間   時

**（2）父親（1つに○） 【母子家庭の場合は記入不要 ⇒ 問 14 へ】**

- |                              |   |            |   |
|------------------------------|---|------------|---|
| 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない | ⇒ | (2) - 1, 2 | へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である | ⇒ | (2) - 1, 2 | へ |
| 3. 短時間勤務で就労しており、育休・介護休業中ではない | ⇒ | (2) - 1, 2 | へ |
| 4. 短時間勤務で就労しているが、育休・介護休業中である | ⇒ | (2) - 1, 2 | へ |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない     | ⇒ | 問 13       | へ |
| 6. これまで就労したことがない             | ⇒ | 問 13       | へ |

(2) - 1 (2) 父親の間で「1」～「4」に○をつけた方のみにかがいます。

1週あたりの「平均就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり	<input type="text"/>	日	/	1日あたり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
-------	----------------------	---	---	-------	----------------------	----------------------	----

(2) - 2 (2) 父親の間で「1」～「4」に○をつけた方のみにかがいます。

概ね家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず（例）「08時～18時」のように、24時間制でお答えください。

（口内に数字で記入、数字は一枠に一字）

家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	/	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時
--------	----------------------	----------------------	---	---	------	----------------------	----------------------	---

問14 問13の(1)母親の間または(2)父親の間で「3」、「4」（短時間勤務で就労）に○をつけた方のみにかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに○）

(1)母親	<ul style="list-style-type: none"><li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li><li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li><li>3. 短時間勤務の就労を続けることを希望</li><li>4. 短時間勤務をやめて子育てや家事に専念したい</li></ul>
(2)父親	<ul style="list-style-type: none"><li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li><li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li><li>3. 短時間勤務の就労を続けることを希望</li><li>4. 短時間勤務をやめて子育てや家事に専念したい</li></ul>

問 15 問 13 の (1) 母親の間または (2) 父親の間で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方のみにかがいます。

就労したいという希望はありますか。(それぞれ該当する番号・記号1つに○、該当する口内に記入)

(1)母親	<p>1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)</p> <p>2. 1年より先になる見込だが、一番下のこどもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい</p> <p>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</p> <p><b>希望する就労形態</b></p> <p>ア. フルタイム <input type="text"/> <input type="text"/> 時間</p> <p>イ. 短時間勤務 → (1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間)</p>
(2)父親	<p>1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)</p> <p>2. 1年より先になる見込だが、一番下のこどもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい</p> <p>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</p> <p><b>希望する就労形態</b></p> <p>ア. フルタイム <input type="text"/> <input type="text"/> 時間</p> <p>イ. 短時間勤務 → (1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間)</p>

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」は、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 16-1 に示した事業が含まれます。

問 16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。  
(1つに○)

1. 利用している ⇒ 問 16-1、2、3、4、5 へ  
2. 利用していない ⇒ 問 16-6 へ (7ページ)

問 16-1 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方のみにかがいます。

宛名のお子さんは、「平日」どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している施設をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. 幼稚園              | 2. 幼稚園の預かり保育 |
| 3. 認可保育園(所)         | 4. 認定こども園    |
| 5. 小規模保育事業          | 6. 家庭的保育事業   |
| 7. 事業所内保育事業         | 8. 企業主導型保育事業 |
| 9. その他の認可外の保育施設     | 10. 居宅訪問型保育  |
| 11. ファミリー・サポート・センター | 12. その他( )   |

問 16-2 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方のみにかがいます。

「平日」に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください。

(1)現在	1週あたり <input type="text"/> 日 / 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 ( <input type="text"/> <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 )
(2)希望	1週あたり <input type="text"/> 日 / 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 ( <input type="text"/> <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 )

問 16-3 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方のみにかがいます。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(1つに○)

1. 水戸市内 2. 他の市区町村(市区町村名: )

**問 16-4 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方のみにかがいます。**

「平日」に定期的に教育・保育事業を利用されている主な理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. こどもの教育や発達のため                        |
| 2. 主に子育て(教育を含む)をしている保護者が就労中である         |
| 3. 主に子育て(教育を含む)をしている保護者が就労予定がある/求職中である |
| 4. 主に子育て(教育を含む)をしている保護者が家族・親族などを介護している |
| 5. 主に子育て(教育を含む)をしている保護者に病気や障害がある       |
| 6. 主に子育て(教育を含む)をしている保護者が学生である          |
| 7. その他( )                              |

**問 16-5 問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方のみにかがいます。**

宛名のお子さんが利用している施設は、ご自宅からどのくらいの距離と時間ですか。また、送迎はどのような方法でされていますか。最も多い方法をお答えください。(1つに○)

**(1) 距離と時間**

自宅から約( ) km 約( )分

**(2) 送迎の方法**

	①誰が	②移動手手段	③形態
送り	1. 父親 2. 母親 3. 祖父母等の親族 4. 知人・友人など 5. その他 ( )	1. 自家用車 2. 自転車・バイク等 3. 公共交通機関 4. 施設の送迎バス等 5. 自宅から徒歩 6. その他 ( )	1. 出勤の途中で送る 2. 送ってから自宅に戻り出勤する 3. 通勤のない人が送る(在宅, 自宅勤務等) 4. その他 ( )
迎え	1. 父親 2. 母親 3. 祖父母等の親族 4. 知人・友人など 5. その他 ( )	1. 自家用車 2. 自転車・バイク等 3. 公共交通機関 4. 施設等の送迎バス等 5. 自宅から徒歩 6. その他 ( )	1. 退勤の途中で迎える 2. 帰宅後に迎えに行く 3. 通勤のない人が迎える(在宅, 自宅勤務等) 4. その他 ( )



**問 16-6** 問 16 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由としてあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用する必要性を感じない(こどもの教育や発達のため、こどもの母親か父親が就労していないなどの理由で)
2. こどもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、希望する教育・保育事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. こどもがまだ小さいため(   歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他( )

**問 17** 現在の利用状況にかかわらず、宛名のお子さんについて、平日「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園(通常就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で県等の認可を受けたもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模保育事業(市の認可を受けた定員19人以下のもの)
6. 家庭的保育事業(保育者の家庭等でこどもを保育する施設)
7. 事業所内保育事業(市の認可を受けた企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 企業主導型保育事業(認可外保育施設で、企業が主に従業員用に運営する施設)
9. その他の認可外の保育施設
10. ファミリー・サポート・センター(会員登録制で地域住民がこどもを預かる事業)
11. その他( )

**問 17-1** 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。(1つに○)

1. 水戸市内
2. 他の市区町村(市区町村名: )

**問 17-2** 教育・保育事業を利用するにあたり何を基準に選びますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅の近く
2. 職場の近く
3. 祖父母等の家の近く
4. 職場と自宅の間
5. 園・所の雰囲気
6. 教育方針
7. 駅の近く
8. その他( )

**問 17-3** 問 17 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3. ~ 11. に○をつけた方にうかがいます。

幼稚園の利用を最も強く希望しますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

**問18 宛名のお子さんは、現在、「地域子育て支援拠点事業」や「わんぱーく・みと」、「はみんぐぱーく・みと」、「あかしあ」などの子育て支援施設を利用していますか。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。（あてはまるものすべてに○、おおよその利用回数（頻度）を記入）**

1. 「地域子育て支援拠点事業」（保育所などで実施される、園児以外の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）や「わんぱーく・みと」、「はみんぐぱーく・みと」等

(1) 地域子育て支援拠点事業                      1週あたり  回    もしくは    1か月あたり  回程度

(2) わんぱーく・みと、はみんぐぱーく・みと、1週あたり  回    もしくは    1か月あたり  回程度  
あかしあ

2. その他水戸市が実施している類似の事業（具体名：子育てぽかぽか広場、市民センター子育て広場等）  
1週あたり  回    もしくは    1か月あたり  回程度

3. 利用していない

**問18-1 問18で「3. 利用していない」に○をつけた方のみにかがいます。**

**利用していない理由としてもっともあてはまるものをお答えください。（1つに○）**

1. 利用したい事業が地域にない  
 2. 地域の事業に不安がある  
 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が悪い  
 4. 利用料がかかる・高い  
 5. 利用料がわからない  
 6. 自分が事業の対象者になるのかわからない  
 7. 時間がない  
 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない  
 9. どのような事業を実施しているかわからない  
 10. その他（                                  ）  
 11. 特に理由はない

**問19 問18のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。なお、これらの事業の利用には実費などの利用者負担が発生する場合があります。（1つに○、おおよその利用回数を記入）**

1. 利用していないが、今後利用したい  
     1週あたり  回    もしくは    1か月あたり  回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
     1週あたり さらに  回    もしくは    1か月あたり さらに  回程度

3. 今後利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

**問 19-1** 問 19 で「3. 今後利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」に○をつけた方のみにうかがいます。

思わない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 身近に相談や交流ができる友人や親族がいるから 2. 見ず知らずの人たちの中に入ることに不安を感じるから 3. 事業の内容について情報が不足しているから 4. 民間団体等が実施している類似事業を利用しているから 5. その他 ( )
--

**問 20** 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑫の事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

	A 知っている	B 利用した ことがある	C 今後 利用したい
※記入例⇒	はい・ <u>いいえ</u>	はい・ <u>いいえ</u>	はい・ <u>いいえ</u>
①市が主催する母親（父親）を対象とした子育て講座	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②育児相談、訪問事業など（子育て支援課）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③市が主催する家庭教育に関する各種講座等	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④教育相談（総合教育研究所）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤保育所・認定こども園の園庭開放	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥幼稚園の親子登園・園庭開放	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦家庭児童相談員による相談	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧子育て支援総合ガイドブック	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨みとっこ1丁目（市の子育て支援インターネット・サイト）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩産前産後支援センター「すまいるママみと」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪お父さんのための子育て手帳「だいすきお父さん」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫健康づくりガイドブック・みと	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

宛名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除きます）はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（それぞれ1つに○、希望がある場合は利用したい時間帯を記入）

※教育・保育事業とは幼稚園、保育所などで行う事業ですが、親族・知人による預かりは含みません。

(1)土曜日	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで
(2)日曜日・祝日	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

問 21-1 問 21 の (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方のみうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 休息やリフレッシュのため
5. その他（ ）	

問 22 宛名のお子さんが「幼稚園」に通園されている方のみうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（1つに○、希望がある場合は利用したい時間帯を記入）

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで
--	---------------------------

問 22-1 問 22 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 休息やリフレッシュのため
5. その他（ ）	

【※平日の教育・保育を利用する方のみ】  
宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます

※問 16 で「2. 利用していない」に○をつけた方 ⇒ 問 24 へ（15 ページ）

**問 23** 問 16 で平日の定期的な教育・保育事業について「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。  
(1つに○)

1. あった ⇒  へ 2. なかった ⇒ 問 24 へ

**問 23-1** 問 23 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○、それぞれの日数を記入、半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数	
1. 父親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ <input type="text" value="問 23-2"/> へ
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ <input type="text" value="問 23-5"/> へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
5. 病児・病後児保育を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
6. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
7. ファミリー・サポート・センターの病児・病後児預かりを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
9. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	

**問 23-2** 問 23-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。

その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つに○、「1」または「2」の日数のうち利用したかった日数を記入)

1. 病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒  日 ⇒  へ  
2. 利用したいとは思わない ⇒  へ

問 23-3 問 23-2で「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にのみ  
うかがいます。

上記の目的でこどもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設でこどもを保育する事業
- 2. 病院等に併設した施設でこどもを保育する事業
- 3. 看護師等がこどもの自宅で保育する事業(訪問型)
- 4. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)
- 5. その他( )

問 23-4 問 23-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にのみ  
うかがいます。

そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 病気のこどもを他人に看てもらうのは不安
- 2. 事業の質に不安がある
- 3. 事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない
- 4. 利用料がかかる・高い
- 5. 利用料がわからない
- 6. 親が仕事を休んで看るのが理想だから
- 7. その他( )

問 23-5 問 23-1で「3」～「9」に○をつけた方にのみ  
うかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

(1つに○、「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数を数字で記入)

- 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒   日
- 2. 休んで看ることは非常に難しい

問 23-6 問 23-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にのみ  
うかがいます。

そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. こどもの看護を理由に休みがとれない
- 2. 自営業なので休めない
- 3. 休暇日数が足りないため休めない
- 4. その他( )

宛名のお子さんの不規則の教育・保育事業や  
宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

**問 24** 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。

(あてはまるものすべてに○、1年間のおおよその利用日数を記入)

利用している事業	日数(年間)	
1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育所、幼稚園、公共施設などで一時的にこどもを保育する事業)	□ □ 日	⇒ 問 24 へ
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ)	□ □ 日	
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民がこどもを預かる事業)	□ □ 日	
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、こどもを保護する事業)	□ □ 日	
5. ベビーシッター	□ □ 日	
6. その他 ( )	□ □ 日	
7. 利用していない		⇒ 問 23-1 へ

**問 24-1** 問 24 で「7. 利用していない」に○をつけた方のみにかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

<p>1. 特に利用する必要がない</p> <p>2. 利用したい事業がない</p> <p>3. 事業の質に不安がある</p> <p>4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない</p> <p>5. 利用料がかかる・高い</p> <p>6. 利用料がわからない</p> <p>7. 自分が事業の対象者になるのかわからない</p> <p>8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない</p> <p>9. どのような事業を実施しているかわからない</p> <p>10. その他 ( )</p>
--

問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（利用希望について、あてはまる番号・記号すべてに○、利用したい場合は日数の合計と目的別の内訳の日数を記入）

1. 利用したい	計 <input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ 問 24-1 へ
ア. 私用（買物、こども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、こども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
ウ. 不定期の就労	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
エ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
2. 利用する必要はない		⇒ 問 25 へ

問 25-1 問 25 で「1. 利用したい」に○をつけた方のみにかがいます。

問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 幼稚園・保育所・認定こども園等での一時預かり事業
2. その他施設（わんぱく・みと、はみんぐぱく・みと等）での一時預かり事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ <input type="text"/> ）

問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないこと（預け先が見つからなかった場合も含みます）はありましたか。（あてはまる番号・記号すべてに○、あった場合はそれぞれの日数を記入）

	1年間の対処方法	日数	
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	⇒ 問 25-1 へ
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、こどもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	⇒ 問 26 へ
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	
	エ. 仕方なくこどもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	
	オ. 仕方なくこどもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	
	カ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	
2. なかった			

問 26-1 問 26 で「ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方のみにかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。（1つに○）

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------



**【※宛名のお子さんが5歳以上である方のみ】**  
**小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます**

※5歳未満の方 ⇒ 問31 へ(20ページ)

問27 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をし、希望する週あたりの日数を記入してください。また、「5. 民間学童クラブ」、「6. 放課後学級」の場合には、利用を希望する時間と学年も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)「18時」のように24時間制でご記入ください。(数字は一桁に一字)

「民間学童クラブ」… 放課後児童クラブのうち社会福祉法人などが実施する、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に実施するものをいいます。

「放課後学級」… 放課後児童クラブのうち市が実施する、小学校内の余裕教室などを活用し、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に実施するものをいいます(料金は月額4,000円~8,600円程度です)。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室*	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 民間学童クラブ(放課後児童クラブ)	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで 小学 <input type="text"/> 年まで
6. 放課後学級(放課後児童クラブ)	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで 小学 <input type="text"/> 年まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 小学校のクラブ活動(吹奏楽、金管バンドなど)	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他(スポーツ施設、図書館、公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい

※ 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や市民センター等で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます(活動の内容及び回数については、各教室により異なります)。

問 28 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をし、希望する週あたりの日数を記入してください。また、「5. 民間学童クラブ」、「6. 放課後学級」の場合には、利用を希望する時間と学年も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）「18時」のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 民間学童クラブ（放課後児童クラブ）	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで 小学 <input type="text"/> 年まで
6. 放課後学級（放課後児童クラブ）	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで 小学 <input type="text"/> 年まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 小学校のクラブ活動（吹奏楽、金管バンドなど）	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他（スポーツ施設、図書館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

問 29 問 27 または問 28 で「5. 民間学童クラブ」に○をつけた方のみにかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中に、民間学童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。（それぞれ1つに○、希望がある場合は利用したい時間帯と学年を記入）

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	
	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
	小学 <input type="text"/> 年まで

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		
		小学 <input type="text"/> 年まで

(3) 長期休業期間（夏休み・冬休み等）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		
		小学 <input type="text"/> 年まで

問 30 問 27 または問 28 で「6. 放課後学級」に○をつけた方のみにかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中に、放課後学級の利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。

（それぞれ1つに○、希望がある場合は利用したい時間帯と学年を記入）

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		
		小学 <input type="text"/> 年まで

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		
		小学 <input type="text"/> 年まで

(3) 長期休業期間（夏休み・冬休み等）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		
		小学 <input type="text"/> 年まで

**【※すべての方】 育児休業や短時間勤務制度など職場の  
両立支援制度についてうかがいます**

問 31 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

また、取得していない方はその理由をお答えください。

(それぞれ1つに○、取得していない方はその理由を記入)

(1) 母親	(2) 父親
1. 働いていなかった 2. 取得した(育児休業中である) 3. 取得していない	1. 働いていなかった 2. 取得した(育児休業中である) 3. 取得していない
取得していない理由(あてはまる番号すべて) ↑	取得していない理由(あてはまる番号すべて) ↑

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった</li> <li>2. 仕事が忙しかった</li> <li>3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった</li> <li>4. 仕事に戻るのが難しそうだった</li> <li>5. 昇給・昇格などが遅れそうだった</li> <li>6. 収入減となり、経済的に苦しくなる</li> <li>7. 保育所(園)などに預けることができた</li> <li>8. 配偶者が育児休業制度を利用した</li> <li>9. 配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった</li> <li>10. 子育てや家事に専念するため退職した</li> <li>11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)</li> <li>12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった</li> <li>13. 育児休業を取得できることを知らなかった</li> <li>14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した</li> <li>15. 自営業などであるため、育児休業の制度がない</li> <li>16. その他( )</li> </ol> |
|--|

**問 31-1** 現行の育児・介護休業法の規定では、こどもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、こどもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について社会保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（1つに○）

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた  |
| 2. 育児休業給付のみ知っていた           |
| 3. 保険料免除のみ知っていた            |
| 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

**問 31-2** 問 31 で「2. 取得した（育児休業中である）」に○をつけた方のみにかがいます。

（※該当しない方 ⇒ 問 32 へ）

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ1つに○）

(1) 母親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 31-3、4、5、7 へ
	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 31-9 へ
	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 32 へ（24ページ）
(2) 父親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 31-3、4、5、7 へ
	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 31-9 へ
	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 32 へ（24ページ）

**問 31-3** 問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみにかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの4月に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。なお、年度初めでの保育園（所）等の利用を希望して、1月～2月頃に職場復帰して、一時的に保育園（所）に利用した場合などは選択肢の「1」にあてはまります。年度初めでの利用を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

（それぞれ1つに○）

(1) 母親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
(2) 父親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった

**問 31-4** 問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみにかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。（それぞれ実際と希望の復帰時期を記入）

(1) 母親	実際の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月	希望の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月
(2) 父親	実際の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月	希望の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月

**問 31-5** 問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみにうかがいます。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（それぞれ希望の取得時期を記入）

(1) 母親	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> <input type="text"/> か月	(2) 父親	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> <input type="text"/> か月
--------	------------------------	--	--------	------------------------	--

**問 31-6** 問 31-4 で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみにうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

(1) 希望より早く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに○）

(1) 母親	1. 希望する保育園（所）に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
(2) 父親	5. 仕事の変化に早く追いつく必要があった	6. その他（ <input type="text"/> ）
	1. 希望する保育園（所）に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
(2) 父親	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
	5. 仕事の変化に早く追いつく必要があった	6. その他（ <input type="text"/> ）

(2) 希望より遅く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに○）

(1) 母親	1. 希望する保育園（所）に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
	3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
(2) 父親	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	6. その他（ <input type="text"/> ）
	1. 希望する保育園（所）に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
(2) 父親	3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	6. その他（ <input type="text"/> ）

**問 31-7** 問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみにうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（それぞれ1つに○）

(1) 母親	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかったから、または休業前から短時間勤務だった）
	2. 利用した 「1」、「2」に○ ⇒ 問 32 へ（24ページ）
	3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問 31-8 へ
(2) 父親	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかったから、または休業前から短時間勤務だった）
	2. 利用した 「1」、「2」に○ ⇒ 問 32 へ（24ページ）
	3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問 31-8 へ

**問 31-8** 問 31-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方のみにかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由をお答えください。  
（それぞれあてはまるものすべてに○）

(1) 母親	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育園（所）の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他（ ）
(2) 父親	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育園（所）の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他（ ）

**問 31-9** 問 31-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方のみにかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる定期的な教育・保育事業（問 16-1 参照）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる定期的な教育・保育事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（それぞれ1つに○）

なお、「2. 1歳になる前に復帰したい」に○をつけた方は、その理由を復帰したい理由からあてはまる番号すべて選んでそれぞれご記入ください。

(1) 母親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい → （理由： ）
(2) 父親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい → （理由： ）

《復帰したい理由》

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため         | 2. 配偶者や家族の希望があるため       |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. 仕事の変化に早く追いつく必要があるため  |                         |
| 6. その他（ ）               |                         |

問 32 水戸市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)

また、そう思う具体的な理由がある場合は、内容をご記入ください。

満足度が低い ←————→ 満足度が高い				
1	2	3	4	5
【そう思う具体的な理由】				

問 33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。




お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの中学校区は次のうちどちらですか。(1つに○)

- |            |             |                    |           |           |
|------------|-------------|--------------------|-----------|-----------|
| 1. 第一中学区   | 2. 第二中学区    | 3. 第三中学区           | 4. 緑岡中学区  | 5. 第四中学区  |
| 6. 飯富中学区   | 7. 国田義務教育学区 | 8. 赤塚中学区           | 9. 第五中学区  | 10. 見川中学区 |
| 11. 双葉台中学区 | 12. 笠原中学区   | 13. 石川中学区          | 14. 千波中学区 | 15. 常澄中学区 |
| 16. 内原中学区  | 17. わからない   | ※国田義務教育学校は小中一貫校です。 |           |           |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。

20   年(西暦)   月   日生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字  
 でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月日をご記入ください。

きょうだい数  人 末子の生年月日 20   年(西暦)   月   日生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- |       |       |           |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他( ) |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- |          |         |         |          |           |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他( ) |
|----------|---------|---------|----------|-----------|



問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。（1つに○）

1. はい ⇒ **問 10-1** へ

2. いいえ ⇒ 問 11 へ

**問 10-1** **問 10 で「1. はい」に○をつけた方のみにかがいます。**

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                |              |              |
|----------------|--------------|--------------|
| 1. 祖父母等の親族     | 2. 友人や知人     | 3. 近所の人      |
| 4. 市の子育て関連相談窓口 | 5. 小学校       | 6. 放課後学級     |
| 7. 学習塾         | 8. 放課後デイサービス | 9. 民生委員・児童委員 |
| 10. かかりつけの医師   | 11 その他（      |              |

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市の担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/>
-------------------

問 12 水戸市のこども・子育てに関する事業の情報をどのように収集していますか。利用したことのあるものをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 広報みと             | 2. 市のホームページ「みとっこ1丁目」 |
| 3. 市の幼稚園・保育所等利用案内   | 4. 市の子育て支援総合ガイドブック   |
| 5. 市の子育て支援アプリ       | 6. 市の公式 SNS          |
| 7. 健康づくりガイドブック・みと   | 8. 友人等からの口コミ         |
| 9. ソーシャルネットワーク（SNS） | 10. 新聞               |
| 11. タウン誌            | 12. テレビ、ラジオ等の放送メディア  |
| 13. チラシ等の配布物        | 14. 市以外のホームページ       |
| 15. 専門知識がある人に聞く     | 16. その他（             |

## 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

今後の設問で、「フルタイム」、「短時間勤務」とは、次の場合といたします。

「フルタイム」＝ 週5日程度・1日8時間程度の勤務の場合（※雇用形態に関わらず）

「短時間勤務」＝ 「フルタイム」よりも短時間の勤務の場合

**問 13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。**

**（1）母親（1つに○） 【父子家庭の場合は記入不要 ⇒ （2）父親 へ】**

- |                                 |   |            |   |
|---------------------------------|---|------------|---|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | ⇒ | (1) - 1, 2 | △ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | ⇒ | (1) - 1, 2 | △ |
| 3. 短時間勤務で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | ⇒ | (1) - 1, 2 | △ |
| 4. 短時間勤務で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | ⇒ | (1) - 1, 2 | △ |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない        | ⇒ | (2) 父親     | △ |
| 6. これまで就労したことがない                | ⇒ | (2) 父親     | △ |

**（1） - 1** (1) 母親の間で「1」～「4」に○をつけた方のみうかがいます。

1週あたりの「平均就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。  
就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり  日 / 1日あたり   時間

**（1） - 2** (1) 母親の間で「1」～「4」に○をつけた方のみうかがいます。

概ね家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず（例）「08時～18時」のように、24時間制でお答えください。

（口内に数字で記入、数字は一桁に一字）

家を出る時間   時 / 帰宅時間   時

**（2）父親（1つに○） 【母子家庭の場合は記入不要 ⇒ 問 14 へ】**

- |                              |   |            |   |
|------------------------------|---|------------|---|
| 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない | ⇒ | (2) - 1, 2 | △ |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である | ⇒ | (2) - 1, 2 | △ |
| 3. 短時間勤務で就労しており、育休・介護休業中ではない | ⇒ | (2) - 1, 2 | △ |
| 4. 短時間勤務で就労しているが、育休・介護休業中である | ⇒ | (2) - 1, 2 | △ |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない     | ⇒ | 問 8        | △ |
| 6. これまで就労したことがない             | ⇒ | 問 8        | △ |

**(2) - 1 (2) 父親の間で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。**

1週あたりの「平均就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり	<input type="text"/>	日	/	1日あたり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
-------	----------------------	---	---	-------	----------------------	----------------------	----

**(2) - 2 (2) 父親の間で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。**

概ね家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず（例）「08時～18時」のように、24時間制でお答えください。

（口内に数字で記入、数字は一枠に一字）

家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	/	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時
--------	----------------------	----------------------	---	---	------	----------------------	----------------------	---

**問 14 問 13 の (1) 母親の間または (2) 父親の間で「3」、「4」（短時間勤務で就労）に○をつけた方にうかがいます。**

フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに○）

(1) 母親	<ol style="list-style-type: none"><li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li><li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li><li>3. 短時間勤務の就労を続けることを希望</li><li>4. 短時間勤務をやめて子育てや家事に専念したい</li></ol>
(2) 父親	<ol style="list-style-type: none"><li>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある</li><li>2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li><li>3. 短時間勤務の就労を続けることを希望</li><li>4. 短時間勤務をやめて子育てや家事に専念したい</li></ol>

問 15 問 13 の (1) 母親の間または (2) 父親の間で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方のみにうかがいます。

就労したいという希望はありますか。(それぞれ該当する番号・記号1つに○、該当する口内に数字を記入)

(1) 母親	<p>1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)</p> <p>2. 1年より先になる見込だが、一番下のこどもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい</p> <p>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</p> <p><b>希望する就労形態</b></p> <p>ア. フルタイム</p> <p>イ. 短時間勤務 → (1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間)</p>
(2) 父親	<p>1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)</p> <p>2. 1年より先になる見込だが、一番下のこどもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい</p> <p>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</p> <p><b>希望する就労形態</b></p> <p>ア. フルタイム</p> <p>イ. 短時間勤務 → (1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間)</p>

## 放課後の過ごし方についてうかがいます

問 16 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたい（過ごさせなかった）と思いますか。あてはまるものすべてに○をし、希望する週あたりの日数を記入してください。また、「5. 民間学童クラブ」、「6. 放課後学級」の場合には、利用を希望する時間と学年も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）「18時」のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

なお、宛名のお子さんが小学校4年生以上の場合は、当時の希望をお答えください。

「民間学童クラブ」… 放課後児童クラブのうち社会福祉法人などが実施する、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に実施するものをいいます。

「放課後学級」… 放課後児童クラブのうち市が実施する、小学校内の余裕教室などを活用し、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に実施するものをいいます（料金は月額4,000円～8,600円程度です）。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室※	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 民間学童クラブ（放課後児童クラブ）	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで 小学 <input type="text"/> 年まで
6. 放課後学級（放課後児童クラブ）	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで 小学 <input type="text"/> 年まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 小学校のクラブ活動（吹奏楽、金管バンドなど）	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他（スポーツ施設、図書館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※ 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や市民センター等で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます（活動の内容及び回数については、各教室により異なります）。

問 17 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をし、希望する週あたりの日数を記入してください。また、「5. 民間学童クラブ」、「6. 放課後学級」の場合には、利用を希望する時間と学年も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）「18時」のように24時間制で記入。（数字は一枠に一字）

なお、宛名のお子さんが小学校4年生以上の場合は、現在の希望をお答えください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 民間学童クラブ（放課後児童クラブ）	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで 小学 <input type="text"/> 年まで
6. 放課後学級（放課後児童クラブ）	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで 小学 <input type="text"/> 年まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 小学校のクラブ活動（吹奏楽、金管バンドなど）	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他（スポーツ施設、図書館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

問 18 問 16 または問 17 で「5. 民間学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中に、民間学童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。

（それぞれ1つに○、希望する場合は利用したい時間帯と学年を記入）

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	
	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
	小学 <input type="text"/> 年まで



**(2) 日曜日・祝日**

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		
		小学 <input type="text"/> 年まで

**(3) 長期休業期間（夏休み・冬休み等）**

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		
		小学 <input type="text"/> 年まで

問 19 問 16 または問 17 で「6. 放課後学級」に○をつけた方のみにかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中に、放課後学級の利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。

（それぞれ1つに○、希望がある場合は利用したい時間帯と学年を記入）

**(1) 土曜日**

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		
		小学 <input type="text"/> 年まで

**(2) 日曜日・祝日**

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		
		小学 <input type="text"/> 年まで

**(3) 長期休業期間（夏休み・冬休み等）**

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		
		小学 <input type="text"/> 年まで

育児休業や短時間勤務制度など職場の  
両立支援制度についてうかがいます

問 20 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
また、取得していない方はその理由をお答えください。  
(それぞれ1つに○、取得していない方はその理由を記入)

(1) 母親	(2) 父親
1. 働いていなかった 2. 取得した(育児休業中である) 3. 取得していない	1. 働いていなかった 2. 取得した(育児休業中である) 3. 取得していない
取得していない理由(あてはまる番号すべて) ↑	取得していない理由(あてはまる番号すべて) ↑

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. 自営業などであるため、育児休業の制度がない
16. その他 ( )

**問 20-1** 現行の育児・介護休業法の規定では、こどもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、こどもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について社会保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（1つに○）

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた  |
| 2. 育児休業給付のみ知っていた           |
| 3. 保険料免除のみ知っていた            |
| 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

**問 20-2** 問 20 で「2. 取得した（育児休業中である）」に○をつけた方のみにかがいます。

（※該当しない方 ⇒ 問 21 へ）

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ1つに○）

(1) 母親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 14-3、4、5、7 へ
	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 14-9 へ
	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 15 へ（12ページ）
(2) 父親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 14-3、4、5、7 へ
	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 14-9 へ
	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 15 へ（12ページ）

**問 20-3** 問 20-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみにかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。なお、年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃に職場復帰して、一時的に認可外保育所に入所した場合などは選択肢の「1」にあてはまります。年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

（それぞれ1つに○）

(1) 母親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
(2) 父親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった

**問 20-4** 問 20-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみにかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。（それぞれ実際と希望の復帰時期を記入）

(1) 母親	実際の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月	希望の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月
(2) 父親	実際の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月	希望の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月

**問 20-5** 問 20-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみにうかがいます。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（それぞれ希望の取得時期を記入）

(1) 母親	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> <input type="text"/> か月	(2) 父親	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> <input type="text"/> か月
--------	------------------------	--	--------	------------------------	--

**問 20-6** 問 20-4 で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみにうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

(1) 希望より早く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに○）

(1) 母親	1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
(2) 父親	5. 仕事の変化に早く追いつく必要があった	6. その他（ <input type="text"/> ）
	1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
(2) 父親	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
	5. 仕事の変化に早く追いつく必要があった	6. その他（ <input type="text"/> ）

(2) 希望より遅く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに○）

(1) 母親	1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
	3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
(2) 父親	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	6. その他（ <input type="text"/> ）
	1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
(2) 父親	3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	6. その他（ <input type="text"/> ）

**問 20-7** 問 20-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみにうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（それぞれ1つに○）

(1) 母親	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかったから、または休業前から短時間勤務だった）
	2. 利用した 「1」、「2」に○ ⇒ 問 21 へ （14ページ）
	3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問 20-8 へ
(2) 父親	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかったから、または休業前から短時間勤務だった）
	2. 利用した 「1」、「2」に○ ⇒ 問 21 へ （14ページ）
	3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問 20-8 へ

**問 20-8** 問 20-7で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方のみ  
 にかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由をお答えください。

（それぞれあてはまるものすべてに○）

(1) 母親	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他（ ）
(2) 父親	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他（ ）

**問 20-9** 問 20-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方のみにかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる定期的な教育・保育事業（幼稚園・保育所・認定こども園など）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる定期的な教育・保育事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（それぞれ1つに○）

なお、「2. 1歳になる前に復帰したい」に○をつけた方は、その理由を復帰したい理由からあてはまる番号すべて選んでそれぞれご記入ください。

(1) 母親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい → （理由： ）
(2) 父親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい → （理由： ）

《復帰したい理由》

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため         | 2. 配偶者や家族の希望があるため       |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. 仕事の変化に早く追いつく必要があるため  |                         |
| 6. その他（ ）               |                         |

問 21 水戸市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)

また、そう思う具体的な理由がある場合は、内容をご記入ください。

満足度が低い ←————→ 満足度が高い				
1	2	3	4	5
【そう思う具体的な理由】				

問 22 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。


## あなた自身と家族の状況についてうかがいます

## 問1 あなたのお住いの地区（中学校区）をお答えください。（1つに○）

- |           |           |             |            |
|-----------|-----------|-------------|------------|
| 1. 第一中学区  | 2. 第二中学区  | 3. 第三中学区    | 4. 緑岡中学区   |
| 5. 第四中学区  | 6. 飯富中学区  | 7. 国田義務教育学区 | 8. 赤塚中学区   |
| 9. 第五中学区  | 10. 見川中学区 | 11. 双葉台中学区  | 12. 笠原中学区  |
| 13. 石川中学区 | 14. 千波中学区 | 15. 常澄中学区   | 16. 内原中学校区 |
| 17. わからない |           |             |            |

※国田義務教育学校は小中一貫校です。

## 問2 あなたの学年、または年齢をお答えください。（1つに○）（年齢は令和5年4月1日時点のもの）

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 中学1年生（12歳） | 2. 中学2年生（13歳） | 3. 中学3年生（14歳） |
| 4. 15歳        | 5. 16歳        | 6. 17歳        |

## 問3 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

- |      |      |        |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 無回答 |
|------|------|--------|

## 問4 あなたと一緒に住んでいる家族をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- |                                |           |              |
|--------------------------------|-----------|--------------|
| 1. 父                           | 2. 母      | 3. きょうだい     |
| 4. 祖父・祖母                       | 5. その他の親戚 | 6. 一人で暮らしている |
| 7. その他（                      ） |           |              |

# あなたのインターネットの利用状況についてうかがいます

**問5 あなたは、携帯電話・スマートフォンを持っていますか。（1つに○）**

- |                      |           |
|----------------------|-----------|
| 1. 持っている（借りている場合も含む） | 2. 持っていない |
|----------------------|-----------|

**問6 あなたは、普段どのような端末でインターネットを利用していますか。（あてはまるものすべてに○）**

- |                                      |                    |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1. 携帯電話・スマートフォン                      | 2. タブレット           |
| 3. パソコン                              | 4. 家庭用ゲーム機         |
| 5. 音楽プレーヤー                           | 6. テレビ             |
| 7. その他（                            ） | 8. インターネットを利用していない |

**問7 あなたは、インターネットを利用して次にあげるトラブルのようなものはありましたか。（あてはまるものすべてに○）**

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. メッセージの内容についてもめたことがある              |
| 2. メッセージの返信が遅いことでもめたことがある            |
| 3. メッセージ・SNSなどで悪口や嫌がらせを受けたことがある      |
| 4. SNS等のアカウントを乗っ取られたことがある            |
| 5. 自分の写真やアカウントなど、個人情報を勝手に流されたことがある   |
| 6. 覚えのない請求がきたことがある                   |
| 7. 出会い系アプリでトラブルになったことがある             |
| 8. フィッシング詐欺※にあったことがある                |
| 9. その他（                            ） |
| 10. トラブルにあったことはない                    |

※偽装されたURLをクリックさせることで、個人情報を取得しようとする詐欺のこと。

**問8 あなたは、インターネットを利用して次のようなことがありますか。（それぞれ1つに○）**

	非常にあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
(1) 初めて会った人に気軽にSNSのアカウントを教える	1	2	3	4	5
(2) SNSのアカウントを何度も変える	1	2	3	4	5
(3) 友達と一緒にいても、他の人とメッセージのやりとりをする	1	2	3	4	5
(4) いつも携帯電話・スマートフォンをそばに置いておかないと不安になる	1	2	3	4	5



## あなたの悩みごとや心配ごとについてうかがいます

### 問9 あなたは今、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                 |              |
|------------------|-----------------|--------------|
| 1. 勉強や仕事のこと      | 2. 進路や就職のこと     | 3. 家族のこと     |
| 4. 友達関係のこと       | 5. 学校や先生のこと     | 6. 部活や習い事のこと |
| 7. 恋愛や好きな人のこと    | 8. 自分の外見や性格のこと  | 9. 自分の将来のこと  |
| 10. お金のこと        | 11. 性のこと        | 12. 健康のこと    |
| 13. 地域や社会のこと     | 14. SNSなどネットのこと | 15. その他( )   |
| 16. 悩みごとや困りごとはない |                 |              |

### 問10 あなたは、悩んだり困ったりしたとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |                         |                             |
|-------------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 父                          | 2. 母                    | 3. きょうだい                    |
| 4. 祖父・祖母                      | 5. その他の親戚               | 6. 友達                       |
| 7. 恋人                         | 8. 先輩・後輩                | 9. 学校の先生                    |
| 10. スクールカウンセラー                | 11. 行政の窓口や専門の相談場<br>所など | 12. その他の大人<br>(習い事の先生、近所の人) |
| 13. SNSなどのネットで知り<br>合った人      | 14. その他( )              | 15. 誰にも相談しない                |
| 16. 誰に(どこに)相談すれば<br>良いのかわからない |                         |                             |

### 問11 あなたは悩みごとや困りごとを相談する際に、どのような相談窓口なら相談したいと思いますか。(最大3つに○)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 親身になって聞いてくれる                    |
| 2. 医者やカウンセラー等の資格を持つ人が専門的なサポートしてくれる |
| 3. 同じ悩みを持つ人と出会える                   |
| 4. 悩みや困りごとに応じた支援をしてくれる場所を紹介してくれる   |
| 5. とく名で相談できる                       |
| 6. 自分が希望する場所で相談に乗ってくれる             |
| 7. その他( )                          |
| 8. 相談したいと思わない                      |

### 問12 あなたが悩みごとや困りごとを誰かに相談するとしたら、どのような方法や場所でしたいですか。(最大3つに○)

- |         |        |             |
|---------|--------|-------------|
| 1. 対面   | 2. 電話  | 3. オンラインの面談 |
| 4. チャット | 5. SNS | 6. その他( )   |

問13 あなたの家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。（あてはまるものすべてに○）  
※ここでいう「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話など日常的にすることです。

- |           |                                |              |
|-----------|--------------------------------|--------------|
| 1. 父      | 2. 母                           | 3. きょうだい     |
| 4. しまい    | 5. 祖父                          | 6. 祖母        |
| 7. その他の親戚 | 8. その他（                      ） | 9. お世話はしていない |



## あなたの地域活動についてうかがいます

問17 あなたは、学校（部活含む）や職場、習い事の活動で以下の活動に参加したことがありますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. スポーツ活動（スポーツ少年団を含む）
2. 音楽や美術などの文化・芸術に親しむ活動
3. 友達や仲間と交流する活動
4. 料理や工作など、自分で何かを作る活動
5. お年寄りや障害のある人たちと交流する活動
6. 小さな子どもと遊ぶ活動
7. 水戸の歴史や伝統芸能にふれる活動
8. ゲームやアニメ等の文化に親しむ活動
9. 外国人と交流する活動（ホームステイなど）
10. 自然の中で遊ぶ活動
11. 宿泊を伴う集団活動
12. 地域のボランティア活動（清掃や植物を植えるなど）
13. 地域の子ども会活動
14. その他（）
15. 参加したことがない（理由：）

問18 あなたは、学校（部活含む）や職場、習い事以外のどのような活動があれば参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. スポーツ活動（スポーツ少年団を含む）
2. 音楽や美術などの文化・芸術に親しむ活動
3. 友達や仲間と交流する活動
4. 料理や工作など、自分で何かを作る活動
5. お年寄りや障害のある人たちと交流する活動
6. 小さな子どもと遊ぶ活動
7. 水戸の歴史や伝統芸能にふれる活動
8. ゲームやアニメ等の文化に親しむ活動
9. 外国人と交流する活動（ホームステイなど）
10. 自然の中で遊ぶ活動
11. 宿泊を伴う集団活動
12. 地域のボランティア活動（清掃や植物を植えるなど）
13. その他（）
14. 特に活動は参加したくない

## あなたの将来のことについての考えをうかがいます

問19 あなたはこれまで、自分の将来（どんな仕事をしたいか、結婚したいか、子どもを持ちたいかなど）について考えたことがありますか。（1つに〇）

1. ある

2. ない

問20 結婚について、あなたの考えに一番近いと思うものを選んでください。（1つに〇）

1. 結婚したい

2. どちらかといえば結婚したい

3. どちらかといえば結婚したくない

4. 結婚したくない

5. 今は考えていない

6. わからない

7. その他（ ）

問21 あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。（最大3つに〇）

1. 好きな人や子どもと一緒に居られて幸せそう

2. お金に余裕が出来そう

3. 将来が安定していそう

4. 親や親せきが喜びそう

5. 家事や子育てが大変そう

6. お金がかかりそう

7. 自分の時間が減りそう

8. 仕事との両立が大変そう

9. 面倒そう・疲れそう

10. その他（ ）

11. 特になし・わからない

問22 あなたは将来、子どもは何人ほしいですか。（1つに〇）

1. 1人ほしい

2. 2人ほしい

3. 3人以上ほしい

4. どちらでもない

5. 子どもはほしくない

6. わからない

問23 あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

1. 幸せそう

2. 楽しいことが増えそう

3. 生活が充実しそう

4. 自分も成長できそう

5. お金がかかりそう

6. 自分や夫婦の時間が減りそう

7. 仕事との両立が大変そう

8. 面倒そう・疲れそう

9. その他（ ）

10. 特になし・わからない

## あなたの水戸市についての考えをうかがいます

問24 あなたは、大人になっても水戸市に住み続けたいと思いますか。（1つに○）

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. そう思う      | 2. まあそう思う    |
| 3. どちらともいえない | 4. あまりそう思わない |
| 5. そう思わない    | 6. わからない     |

問25 水戸市の良いと思うところはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 1. 働く場所がたくさんあること         |   |
| 2. 自然が豊かなこと              |   |
| 3. 防災の面で安心なこと            |   |
| 4. 買い物する場所がたくさんあること      |   |
| 5. 遊べる場所がたくさんあること        |   |
| 6. 教育や文化、スポーツ施設がたくさんあること |   |
| 7. 医療・福祉サービスが充実していること    |   |
| 8. バスや電車などの交通が便利なこと      |   |
| 9. 地域の交流が活発なこと           |   |
| 10. その他（                 | ） |
| 11. わからない                |   |

問26 水戸市の悪いと思うところはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| 1. 働く場所が少ないこと             |   |
| 2. 自然が豊かではないこと            |   |
| 3. 防災の面で安心できないこと          |   |
| 4. 買い物する場所が少ないこと          |   |
| 5. 遊べる場所が少ないこと            |   |
| 6. 教育や文化、スポーツ施設が少ないこと     |   |
| 7. 医療・福祉サービスがあまり充実していないこと |   |
| 8. バスや電車などの交通が不便なこと       |   |
| 9. 地域の交流が活発ではないこと         |   |
| 10. その他（                  | ） |
| 11. わからない                 |   |

あなたの意見についてうかがいます

問27 あなたは、子どもに関する市の事業に、こどもの声を取り入れていく方法について、どのようなものがあればいいと思いますか。また、どのようなものが意見を言いやすいですか（あてはまるものすべてに○）

1. 紙でのアンケート
2. インターネットを利用して回答するWEBアンケート
3. いつでも水戸市に要望を伝えられるWEB意見箱
4. 水戸市の事業や計画に対する、子どもを対象とした意見募集
5. 市役所で働く人が直接会ってこどもの意見を聞く仕組み
6. 子どもが利用する施設での職員とこどもの話し合い
7. 子ども同士で意見を出し合い、市に意見を提出する会の開催
8. 大人の会議への子ども委員の参加
9. 子どもが意見を出しやすいよう大人が手伝いをしてくれたり、話をよく聞いて代弁してくれること
10. その他（）
11. わからない

問28 水戸市やまわりの大人に対して、提案や伝えたいこと、期待することを自由にご記入下さい。


あなた自身と家族の状況についてうかがいます

問1 あなたのお住いの地区（中学校区）をお答えください。（1つに○）

- |           |           |             |            |
|-----------|-----------|-------------|------------|
| 1. 第一中学区  | 2. 第二中学区  | 3. 第三中学区    | 4. 緑岡中学区   |
| 5. 第四中学区  | 6. 飯富中学区  | 7. 国田義務教育学区 | 8. 赤塚中学区   |
| 9. 第五中学区  | 10. 見川中学区 | 11. 双葉台中学区  | 12. 笠原中学区  |
| 13. 石川中学区 | 14. 千波中学区 | 15. 常澄中学区   | 16. 内原中学校区 |
| 17. わからない |           |             |            |

※国田義務教育学校は小中一貫校です。

問2 あなたの年齢をお答えください。

年齢   歳

問3 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

- |      |      |        |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 無回答 |
|------|------|--------|

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。（あてはまるものすべてに○）

- |            |                                |                 |
|------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 父       | 2. 母                           | 3. きょうだい        |
| 4. 祖父・祖母   | 5. あなたの配偶者                     | 6. あなたの配偶者の父母   |
| 7. あなたの子ども | 8. その他（                      ） | 9. 同居しているひとはいない |

問5 あなたの家の生計を支えている方は主にどなたですか。仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。（1つに○）

- |               |                                |            |
|---------------|--------------------------------|------------|
| 1. あなた自身      | 2. 父                           | 3. 母       |
| 4. きょうだい      | 5. 祖父・祖母                       | 6. あなたの配偶者 |
| 7. あなたの配偶者の父母 | 8. その他（                      ） |            |

問6 あなたの住居についてお答えください。（1つに○）

- |           |                |                                |
|-----------|----------------|--------------------------------|
| 1. 持ち家    | 2. 賃貸（公営住宅を除く） | 3. 公営住宅                        |
| 4. あなたの実家 | 5. あなたの配偶者の実家  | 6. その他（                      ） |



## あなたの生活状況や居場所についてうかがいます

**問7** あなたは、現在の生活にどのくらい満足していますか。(1つに○)

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 満足している⇒問7-1△          | 2. どちらかといえば満足している⇒問7-1△ |
| 3. どちらかといえば満足していない⇒問7-2△ | 4. 満足していない⇒問7-2△        |

**問7-1** 問7で「1. 満足している」・「2. どちらかといえば満足している」を選んだ方にうかがいます。

次の中で、満足度が高いものについてお答えください。(最大3つに○)

- |             |          |          |            |
|-------------|----------|----------|------------|
| 1. 仕事       | 2. 学業    | 3. 家計・金銭 | 4. 人間関係    |
| 5. 恋愛・結婚・家庭 | 6. 趣味・余暇 | 7. 健康    | 8. その他 ( ) |
| 9. わからない    |          |          |            |

**問7-2** 問7で「3. どちらかといえば満足していない」・「4. 満足していない」を選んだ方にうかがいます。

次の中で、満足度が低いものについてお答えください。(最大3つに○)

- |             |          |          |            |
|-------------|----------|----------|------------|
| 1. 仕事       | 2. 学業    | 3. 家計・金銭 | 4. 人間関係    |
| 5. 恋愛・結婚・家庭 | 6. 趣味・余暇 | 7. 健康    | 8. その他 ( ) |
| 9. わからない    |          |          |            |

**問8** あなた自身について、次のことがどのくらい当てはまりますか。(それぞれ1つに○)

	非常にあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
(1) 自分のことが好きである	1	2	3	4	5
(2) 自分は周りの人に必要とされていると感じる	1	2	3	4	5
(3) 友人や知人と交流することで充実感を得られる	1	2	3	4	5
(4) 新しい物事にチャレンジしたいと思う	1	2	3	4	5

**問9** あなたは、普段どのくらい外出していますか。最も近いものを選択してください。(1つに○)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 仕事(家事やアルバイトを含む)や学校、遊び等で外出している。 |
| 2. 普段はあまり家から出ないが、日用品の買い物等で外出する。   |
| 3. 普段は家からほとんど出ない。                 |

**問10** あなたは、下記の人とどのくらいの頻度で会話やメール等をしていますか。  
 (それぞれ1つに○)

	よくする	どちらかとい えばよくする	どちらとも いけない	どちらかとい えばあまりし ない	あまりしな い
(1) 家族	1	2	3	4	5
(2) 学校や職場の人	1	2	3	4	5
(3) インターネット中心 で付き合いのある人	1	2	3	4	5
(4) 地域の人	1	2	3	4	5

**問11** 現在の生活の中で、あなたが居心地が良いと感じる“居場所”（ほっとできる場所、  
 安心できる場所）はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |
|---|
| 1. 自分の部屋<br>2. 自分の家（自分の部屋を除く）<br>3. 友人・交際相手の家<br>4. 職場・学校<br>5. 公共施設（図書館など）<br>6. 飲食店・商業施設（カフェやショッピングモールなど）<br>7. ネットカフェ・カラオケ・ゲームセンターなどの娯楽施設<br>8. インターネット・SNS・オンラインゲーム上<br>9. その他（ <span style="float: right;">)</span><br>10. わからない<br>11. 居心地が良いと感じる居場所はない |
|---|

**問12** 次の中であればいいなと思う“居場所”はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |
|---|
| 1. 一人で自由に過ごせる場所<br>2. 友人や仲間と過ごせる場所<br>3. 学校や職場とは違う友人と出会える場所<br>4. 自主学習ができる場所<br>5. 問題や悩みを相談できる場所<br>6. 同じ悩みを持つ人と交流を持てる場所<br>7. その他（ <span style="float: right;">)</span><br>8. わからない<br>9. 現状で十分である |
|---|

## あなたの悩みついてうかがいます

**問13** あなたはいま、ご自身のことについてどんなことに悩んだり困ったりしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事	2. 学業	3. 家計・金銭
4. 家庭・家族	5. 子育て	6. 友人や仲間
7. 恋愛・結婚	8. 自分の外見や性格	9. 自分の将来
10. 性	11. 健康	12. 障害・発達
13. 地域や社会	14. 悩みや困り事はない	15. その他 ( )

**問14** あなたは、悩んだり困ったりしたとき、誰(どこ)に相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族	2. 交際相手
3. 友人	4. 職場の上司・同僚
5. 学校の先生	6. 行政の相談窓口
7. 民間団体(NPOなど)	8. インターネット・SNS・ オンラインゲームで知り合った人
9. 通院先の医療関係者	10. 誰に(どこに)相談すればよいのか わからない
11. 誰にも相談しない	

**問15** あなたは悩みごとや困りごとを相談する際に、どのような相談窓口なら相談したいと思いますか。(最大3つに○)

1. 親身になって聴いてくれる
2. 医者や心理カウンセラーなどの資格を持つ人が専門的なサポートをしてくれる
3. 同じ悩みを持つ人と出会える
4. 悩みや困りごとに応じた支援機関を紹介してくれる
5. 匿名で相談できる
6. 自分が希望する場所で相談にのってくれる
7. その他 ( )
8. 相談したいと思わない

**問16** もしあなたが、悩みごとや困りごとを誰かに相談するとしたら、どのような方法でしたいですか。(最大3つに○)

1. 対面	2. 電話
3. オンラインの面談	4. チャット
5. SNS	6. その他 ( )

問17 水戸市には以下のような相談先があります。あなたが知っているものに○をつけてください。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て支援課（子育て・女性に関する相談）
2. 保健予防課（心身の健康に関する相談）
3. 商工課（労働条件や労働個別紛争に関する相談）
4. 男女平等参画課（男女平等参画や性的マイノリティに関する相談）
5. 常澄保健センター・内原保健センター（出産や子育て、こどもの健康に関する相談）
6. こども発達支援センター「すくすく・みと」（こどもの発達に関する相談）
7. 子育て支援・多世代交流センター「わんぱーく・みと」・「はみんぐぱーく・みと」  
（子育てに関する相談）
8. 配偶者暴力相談支援センター（DVに関する相談）

## あなたのこどもの頃についてうかがいます

問18 あなたがこどもの頃、家庭で次のような経験をしたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 親はしつけが厳しかった
2. 朝食がだされることはなかった
3. 自宅では、レトルト食品やインスタント食品をよく食べていた
4. 親には、困りごとや悩みごとを相談できなかった
5. 将来の進路や職業などを親に決められた
6. 親は学校の成績を重視していた
7. 小さい頃、習い事やスポーツ活動には参加していなかった
8. 親と自分との関係がよくなかった
9. 親と旅行に行くことはなかった
10. 両親の関係がよくなかった
11. 両親が離婚した
12. 親と死別した
13. 親から虐待を受けた
14. 親が過保護・過干渉であった
15. 経済的に生活が苦しく、我慢をすることが多かった
16. 家族の介護や面倒をみていた
17. 親に代わって家事をしていた
18. 当てはまるものはない

問19 あなたは、学校で次のような経験がしたことがありましたか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 友達といるよりも1人で遊んでいる方が楽しかった
2. 不登校を経験した
3. 友達をいじめた
4. 友達にいじめられた
5. いじめを見て見ぬふりをした
6. 我慢することが多かった
7. 学校の勉強についていけなかった
8. 学校の先生との関係がうまくいかなかった
9. 言葉や文化の壁を感じた
10. 周りに合わせることが多かった
11. 仲の良い友達がいなかった
12. 当てはまるものはない

## あなたの仕事についてうかがいます

### 問20 あなたの就労状況をお答えください。(1つに○)

1. 正規の社員・職員・従業員 2. 契約社員 3. 派遣社員 4. 臨時職員 5. パート・アルバイト 6. 自営業 7. 家族従業者・内職	⇒問20-1へ
8. 学生 9. 主婦（主夫）	⇒問21へ
10. 無職	⇒問20-2へ

### 問20-1 あなたの年収についてお答えください。(1つに○)

1. 300万円未満	2. 300～400万円未満	3. 400～500万円未満
4. 500～600万円未満	5. 600～700万円未満	6. 700～800万円未満
7. 800～900万円未満	8. 900～1,000万円未満	9. 1,000万円以上
10. わからない		

### 問20-2 現在、無職の方にうかがいます。働いていない理由についてお答えください。(1つに○)

1. 病気・ケガ、障害があるから	2. 精神的な問題や不安があるから
3. 人間関係に不安があるから	4. 希望する職種に求人がないから
5. 就職活動の方法がわからないから	6. どんな仕事につけばいいのかわからないから
7. 労働条件・環境に不安があるから	8. 資格試験などの準備をしているから
9. ボランティア等に従事しているから	10. 独立・開業に向けて準備をしているから
11. 家族の育児をしているから	12. 家族の介護をしているから
13. 知識・能力に自信がないから	14. 家族から経済的支援があるから
15. 働く意欲がわからないから	16. 特に理由はない
17. その他 ( )	

問21 あなたが職業や就職先を選ぶ（選んだ）ときに重視することは何ですか。

（最大3つに〇）

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 賃金・給与                                    | 2. 休日（週休2日など）        |
| 3. 自分に向いているか                                | 4. やりがいが感じられるか       |
| 5. 勤務時間や残業の有無                               | 6. 職種（例：事務、営業、技術職など） |
| 7. 業種（例：建設、製造、サービス業）                        | 8. 福利厚生が充実           |
| 9. 育児・介護休業制度の充実                             | 10. 勤務地（通勤時間）        |
| 11. 雇用形態（正社員・非正社員）                          | 12. 免許・資格が活かせるか      |
| 13. 将来に役立つ（企業、独立など）                         | 14. 会社の安定性・将来性       |
| 15. 会社の規模・従業員数                              | 16. 会社の知名度・評判        |
| 17. その他（                                  ） |                      |

問22 あなたが就職活動をする（した）際に、相談できる人や場所はありますか（ました）か。

（あてはまるものすべてに〇）

- |  |              |              |
|--|--------------|--------------|
| 1. 家族・親族                                   | 2. 友人・知人     | 3. 学校        |
| 4. ハローワーク                                  | 5. 行政（市役所など） | 6. 人材紹介・派遣企業 |
| 7. その他（                                  ） |              |              |

## あなたの「結婚」に対する考えについてうかがいます

問23 あなたが考える「結婚」とはどのようなものですか。(最大3つに○)

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 好きな人といっしょにいられる | 2. 精神的に安心できる  |
| 3. 経済的に安定する       | 4. 子ども・家族をもつ  |
| 5. 親から独立できる       | 6. 親や祖父母が喜ぶ   |
| 7. 時間やお金が制限される    | 8. 家事や子育てが大変  |
| 9. 生活が便利になる       | 10. 親戚づきあいが面倒 |
| 11. その他 ( )       | 12. わからない     |

問24 あなたは結婚していますか。

はい⇒問26へ / いいえ⇒問25へ

問25 未婚の方にうかがいます。あなたは、結婚したいと思いますか。(1つに○)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. したい⇒問25-1へ   | 2. できればしたい⇒問25-1へ |
| 3. どちらでもない⇒問26へ | 4. あまりしたくない⇒問26へ  |
| 5. したくない⇒問26へ   |                   |

問25-1 問25で「1. したい」・「2. できればしたい」を選んだ方にうかがいます。いま現在、あなたが結婚していない理由についてお答えください。(最大3つに○)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. まだ若すぎるから         | 2. 適当な相手に巡り合わないから |
| 3. 収入が少ないから         | 4. 自分の時間が減るから     |
| 5. 肉体的・心理的な負担が大きいから | 6. 仕事や学業を優先したいから  |
| 7. 子育てに不安があるから      | 8. 必要性を感じないから     |
| 9. 特に理由はない・わからない    | 10. その他 ( )       |



## あなたの「子育て」についてうかがいます

**問26** あなたのお子さんについてお答えください。(1つに○)

- |   |   |
|---|---|
| 1. いる(いた) ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問26-1</span> へ | いない ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問27</span> へ |
| → 一番下のお子さんの年齢【       】歳   |   |
| ※令和5年12月1日現在  |   |

**問26-1** 問26で「いる」を選んだ方はお答えください。

あなたの家庭は、子育て・教育などはどのような分担になっています(いました)か。  
(1つに○)

- |          |                              |
|----------|------------------------------|
| 1. 2人で協力 | 2. 主に夫                       |
| 3. 主に妻   | 4. その他 (                   ) |

**問26-2** 問26で「いる」を選んだ方はお答えください。

子育てをする上で、あなたはどのようなことに悩みや不安を感じます(ました)か。  
(最大3つに○)

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| 1. 病気や発育・発達のこと                           | 2. 食事や栄養のこと                    |
| 3. 育児の方法がよくわからない                         | 4. こどもとの接し方に自信がもてない            |
| 5. こどもとの時間が十分でない                         | 6. 話し相手や相談相手がいない               |
| 7. 仕事や自分のやりたいことができない                     | 8. こどもの教育に関すること                |
| 9. 友達づきあい・いじめに関すること                      | 10. 登園・登校拒否などのこと               |
| 11. 子育てに配偶者の協力が少ない                       | 12. 配偶者と子育ての考え方が違う             |
| 13. 自分の子育てに対する親族・近隣の人・<br>職場など周りの見目が気になる | 14. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人が<br>いない |
| 15. こどものしかり方、しつけ                         | 16. 子育てのストレス、負担感               |
| 17. 子育てサービスの利用方法がわからない                   | 18. その他 (                   )  |
| 19. 特になし                                 |                                |

**問26-3** 問26で「いる」を選んだ方はお答えください。

子育てをするうえでの悩みや不安を、特に相談したい(したかった)のは、こどもがどのくらいのときです(でした)か。(1つに○)

- |               |               |             |
|---------------|---------------|-------------|
| 1. 出産まで       | 2. 6ヶ月未満      | 3. 6ヶ月～1歳未満 |
| 4. 1歳～1歳6ヶ月未満 | 5. 1歳6ヶ月～2歳未満 | 6. 2歳       |
| 7. 3歳         | 8. 4歳         | 9. 5歳以上     |



問29 あなたは、子育てや教育はどのようにするのがよいと思いますか。(1つに○)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 2人で協力してすべきだと思う | 2. 男性がすべきだと思う      |
| 3. 男性がした方がよいと思う   | 4. 女性がすべきだと思う      |
| 5. 女性がした方がよいと思う   | 6. 時間がある人がやればよいと思う |
| 7. できる人がやればよいと思う  | 8. 別の誰かに頼めばよいと思う   |
| 9. わからない          |                    |

問30 夫婦共働き世帯の子育てを支援するためには、あなたは、どのような支援が必要だと思いますか。(最大3つに○)

- |  |
|--|
| 1. 夫が家事や育児を分担し、協力する                      |
| 2. 「子育ては女性がするもの」という固定的な考え方を改める           |
| 3. 低年齢児保育、病後児保育など多様な保育サービスを充実する          |
| 4. 急な残業、出張など時間に合わせて柔軟に対応してくれる保育サービスを提供する |
| 5. 勤務時間の短縮、休業制度など労働条件・制度を活用できる職場環境にする    |
| 6. 男性が勤務時間の短縮、休業制度を活用できる職場環境にする          |
| 7. 出産、育児による退職者が仕事復帰できるように企業が体制整備する       |
| 8. 出退社時間の調整、在宅勤務など、多様な就業形態を企業が整備する       |
| 9. 再就職のための職業訓練、就業・起業相談などの支援をする           |
| 10. 企業内に保育施設を整備する                        |
| 11. 育児休業中の経済的支援を充実する                     |
| 12. その他 ( )                              |
| 13. わからない                                |

問31 結婚・出産・子育てについて、あなたが水戸市に期待するものは、どのようなものですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 結婚につながる出会いの機会の創出
2. 若い世代の雇用確保などによる経済活動の活性化
3. 結婚に対する経済的な支援
4. 安心して妊娠・出産・子育てができる医療提供体制の充実
5. 健康診断・健康相談などの保健サービスの充実
6. 不妊で悩む人への支援の充実
7. 子育てと仕事を両立できる職場環境づくり
8. 医療費の助成、奨学金制度の充実など、子育てや教育における経済的な支援
9. 仕事をしながら安心してこどもを預けられる保育環境の充実
10. 子育ての悩みや不安を気軽に相談できる場所の提供
11. 子育て情報を入手しやすい情報発信の充実
12. 子育て世帯向け公営住宅の提供など、住宅面での支援
13. 多子世代に対する支援の充実
14. 幼児教育の充実や少人数学級などによる教育環境の整備
15. 放課後学級や学童クラブなどの放課後児童対策の充実
16. 生命や家庭の大切さといった価値観についての教育
17. その他 ( )

あなたの水戸市への意見についてうかがいます

問32 あなたは、今後も水戸市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1. そう思う

2. どちらでもない

3. そうは思わない

問33 子育て支援やまちづくり等について、ご意見やご要望がありましたら、自由にご記入下さい。


**今後 5 年程度を見据えたこども施策の基本的な方針と重要事項等  
～こども大綱の策定に向けて～  
(中間整理)  
(案)**

【説明資料】

令和 5 年 9 月  
こども家庭審議会

**全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約\*の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的（バイオサイコソーシャル）に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会。**

全てのこどもや若者が、保護者や社会に支えられながら、

- 心身ともに健やかに成長できる。
- 個性や多様性が尊重され、尊厳が重んぜられ、自分らしく、ひとりひとりが思う幸福な生活ができる。
- 様々な遊びや学び、体験等を通じて、生き抜く力を得ることができる。
- 夢や希望をかなえるために、希望と意欲に応じて、のびのびとチャレンジでき、未来を切り拓くことができる。
- 固定観念や価値観を押し付けられず、自由で多様な選択ができ、自分の可能性を拡げることができる。
- 自らの意見を持つための様々な支援を受けることができ、その意見を表明し、社会に参画できる。
- 不安や悩みを抱えたり、困ったりしても、周囲のおとなや社会にサポートされ、問題を解消したり、乗り越えたりすることができる。
- 虐待、いじめ、暴力、経済的搾取、性犯罪・性暴力、災害・事故などから守られ、困難な状況に陥った場合には助けられ、差別されたり、孤立したり、貧困に陥ったりすることなく、安全に安心して暮らすことができる。
- 働くこと、また、誰かと家族になること、親になることに、夢や希望を持つことができる。

そして、20代、30代を中心とする若い世代が、

- 円滑に社会生活を送ることができ、経済的基盤が確保され、将来に見通しを持つことができる。
- 希望するキャリアをあきらめることなく、仕事と生活を調和させながら、希望と意欲に応じて社会で活躍することができる。
- それぞれの希望に応じ、家族を持ち、こどもを産み育てることや、不安なく、こどもとの生活を始めることができる。
- 社会全体から支えられ、自己肯定感を持ちながら幸せな状態で、こどもと向き合うことができ、子育てに伴う喜びを実感することができる。そうした環境の下で、こどもが幸せな状態で育つことができる。



- ① こども・若者が、尊厳を重んぜられ、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を活かすことができるようになる。こどもを産みたい、育てたいと考える個人の希望がかなう。こどもや若者、子育て当事者の幸福追求において非常に重要。
- ② その結果として、少子化・人口減少の流れを大きく変えるとともに、未来を担う人材を社会全体で育み、社会経済の幸福と持続可能性を高める。



こどもや若者、子育て当事者はもちろん、全ての世代にとって、社会的価値が創造され、その幸福が高まることに

# こども施策に関する基本的な方針

日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、以下の6本の柱を基本的な方針とする。

## (1) こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る

- ・こども・若者は、保護者や社会の支えを受けながら、自立した個人として自己を確立していく意見表明・参画と自己選択・自己決定・自己実現の主体であり、生まれながらに権利の主体。多様な人格を持った個として尊重し、その権利を保障し、こども・若者の今とこれからのための最善の利益を図る。「こどもとともに」という姿勢で、こどもや若者の自己選択・自己決定・自己実現を社会全体で後押し。
- ・成育環境等によって差別的取扱いを受けることのないようにする。虐待、いじめ、暴力等からこどもを守り、救済する。

## (2) こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに考えていく

- ・こども・若者が、自らのことについて意見を形成し、その意見を表明し、社会に参画することができるようにし、こども・若者の最善の利益を実現する観点からこども・若者の意見を年齢や発達段階に応じて尊重する。
- ・意見表明・社会参画の前提となる意見形成への支援を進め、意見を表明しやすい環境づくりを行う。困難な状況に置かれたこども・若者や様々な状況にあって声を聴かれにくいこどもや若者等について十分な配慮を行う。

## (3) こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する

- ・こども・若者の状況に応じて必要な支援が特定の年齢で途切れることなく行われ、円滑な社会生活が送れるようになるまでを社会全体で切れ目なく支える。
- ・「子育て」とは、こどもの誕生前から男女ともに始まっており、乳幼児期の後も、学童期、思春期、青年期を経て、おとなになるまで続くものとの認識の下、ライフステージを通じて、社会全体で子育て当事者を支えていく。

## (4) 良好な成育環境を確保し、格差や貧困の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする

- ・乳幼児期からの安定した愛着（アタッチメント）の形成を保障するとともに、愛着を土台として、全てのこども・若者が、相互に人格と個性を尊重されながら、安心して安全に過ごせる多くの居場所を持ち、様々な学びや多様な体験活動・外遊びの機会を得ることを通じて、自己肯定感や自己有用感を高め、幸せな状態で成長し、尊厳が重んぜられ、自分らしく社会生活を円滑に営むことができるように取り組む。
- ・困難を抱えるこども・若者や家庭を誰一人取り残さず、その特性や支援ニーズに応じてきめ細かい支援や合理的配慮を行う。

## (5) 若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路の打破に取り組む

- ・若い世代が「人生のラッシュアワー」と言われる様々なライフイベントが重なる時期において、社会の中で自らを活かす場を持つことができ、現在の所得や将来の見通しを持てるようにする。
- ・多様な価値観・考え方を尊重することを大前提とし、どのような選択をしても不利を被らないようにすることが重要。その上で、若い世代の意見に真摯に耳を傾け、その視点に立って、若い世代が、自らの主体的な選択により、結婚し、こどもを産み、育てたいと望んだ場合に、それぞれの希望に応じて社会全体で支えていく。共働き・共育てを推進し、育児負担が女性に集中している実態を変え、男性の家事や子育てへの参画を促進する。

## (6) 施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方自治体、民間団体等との連携を重視する



# こども施策に関する重要事項

「こどもまんなか社会」を実現するための重要事項を、こども・若者の視点に立って分かりやすく示すため、ライフステージ別に提示。

## 1 ライフステージに縦断的な重要事項

- こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等（こども基本法の周知、学校教育におけるこどもの権利に関する理解促進 等）
- 多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり（遊びや体験活動の推進、生活習慣の形成・定着、こどもまんなかまちづくり 等）
- こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供（成育医療等に関する研究や相談支援等、慢性疾病・難病を抱えるこども・若者への支援）
- こどもの貧困対策（教育の支援、生活の安定に資するための支援、保護者の就労支援、経済的支援）
- 障害児支援・医療的ケア児への支援（地域における支援体制の強化、インクルージョンの推進、特別支援教育 等）
- 児童虐待防止対策等と社会的養護の推進（児童虐待防止対策等の更なる強化、社会的養護を必要とするこども・若者に対する支援、ヤングケアラーへの支援）
- こども・若者の自殺対策、犯罪などからこども・若者を守る取組（こども・若者の自殺対策、インターネット利用環境整備、性犯罪・性暴力対策 等）

## 2 ライフステージ別の重要事項

- こどもの誕生前から幼児期まで  
こどもの将来にわたるウェルビーイングの基礎を培い、人生の確かなスタートを切るための最も重要な時期。  
・妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目のない保健・医療の確保 ・こどもの誕生前から幼児期までのこどもの成長の保障
- 学童期・思春期  
学童期は、こどもにとって、身体も心も大きく成長する時期であり、自己肯定感や道徳性、社会性などを育む時期。  
思春期は、性的な成熟が始まり、それに伴って心身が変化し、自らの内面の世界があることに気づき始め、他者との関わりや社会との関わりの中で、自分の存在の意味、価値、役割を考え、アイデンティティを形成していく時期。  
・こどもが安心して過ごし学ぶことのできる質の高い公教育の再生等 ・居場所づくり  
・小児医療体制、心身の健康等についての情報提供やこころのケアの充実 ・成年年齢を迎える前に必要となる知識に関する情報提供や教育  
・いじめ防止 ・不登校のこどもへの支援 ・高校中退の予防、高校中退後の支援
- 青年期  
高等教育や就職などで新たな環境に適応し、専門性や職業性を身に付け、将来の夢や希望を抱いて自己の可能性を伸展させる時期。  
・高等教育の修学支援、高等教育の充実 ・就労支援、雇用と経済的基盤の安定 ・結婚を希望する方への支援、結婚に伴う新生活への支援

## 3 子育て当事者への支援に関する重要事項

子育て当事者が、経済的な不安や孤立感を抱いたり、仕事との両立に悩んだりすることなく、また、過度な使命感や負担を抱くことなく、健康で、自己肯定感とゆとりを持って、こどもに向き合えるようにする。

- 子育てや教育に関する経済的負担の軽減
- 地域子育て支援、家庭教育支援
- 共働き・共育での推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大
- ひとり親家庭への支援

## 1 こども・若者の社会参画・意見反映

こども基本法において、こども施策の基本理念として、こども・若者の年齢及び発達の程度に応じた意見表明機会と社会参画機会の確保、その意見の尊重と最善の利益の優先考慮が定められている。また、こども施策を策定、実施、評価するに当たって、こども・若者の意見を幅広く聴取して反映させるために必要な措置を講ずることが国や地方自治体に義務付けられている。こどもの権利条約は、児童（18歳未満の全ての者）の意見を表明する権利を定めており、その実践を通じた権利保障を推進することが求められる。

こどもや若者の意見を聴いて施策に反映することやこどもや若者の社会参画を進めることには、大きく、2つの意義がある。

①こどもや若者の状況やニーズをよりの確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになる。

②こどもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながる。ひいては、民主主義の担い手の育成に資する。

こどもや若者ととともに社会をつくるという認識の下、安心して意見を述べることができる場や機会を作るとともに、意見を持つための様々な支援を行い、社会づくりに参画できる機会を保障することが重要。その際、こどもや若者の社会参画・意見反映は形だけに終わる懸念があることを認識して、様々な工夫を積み重ねながら、実効あるものとしていくことが必要。

○国の政策決定過程へのこども・若者の参画促進（『こども若者★いけんぷらす』の推進、若者が主体となって活動する団体からの意見聴取、各府省庁の各種審議会・懇談会等の委員へのこども・若者の登用、行政職員向けガイドラインの作成・周知）

○地方自治体等における取組促進（上記ガイドラインの周知やファシリテーターの派遣等の支援、好事例の横展開等の情報提供 等）

○社会参画や意見表明の機会の充実      ○多様な声を施策に反映させる工夫      ○社会参画・意見反映を支える人材の育成

○若者が主体となって活動する団体等の活動を促進する環境整備      ○こども・若者の社会参画や意見反映に関する調査研究

## 2 こども施策の共通の基盤となる取組

○「こどもまんなか」の実現に向けたEBPM（仕組み・体制の整備、データの整備・エビデンスの構築）

○こども・若者、子育て当事者に関わる人材の確保・育成・支援

○地域における包括的な支援体制の構築・強化（要保護児童対策地域協議会と子ども・若者支援地域協議会の活用、こども家庭センターの全国展開 等）

○子育てに係る手続き・事務負担の軽減、必要な支援を必要な人に届けるための情報発信

○こども・若者、子育てにやさしい社会づくりのための意識改革

## 3 施策の推進体制等

○国における推進体制（総理を長とするこども政策推進会議、こどもまんなか実行計画（仮称）の策定、担当大臣やこども家庭審議会の権限行使 等）

○数値目標と指標の設定      ○自治体こども計画の策定促進、地方自治体との連携      ○国際的な連携・協力

○安定的な財源の確保      ○こども基本法附則第2条に基づく検討

# (参考) こども大綱とこども家庭審議会の答申(中間整理)の関係について

- ・ こども大綱は、政府において定めることとされており(こども基本法第9条第1項)、その案はこども政策推進会議(会長:内閣総理大臣)が作成する(同法第17条第2項第1号)。
- ・ こども家庭審議会の答申(中間整理)は、4月に開催された同会議における決定を踏まえた「今後5年程度を見据えたこども施策の基本的な方針及び重要事項等について」の内閣総理大臣からの諮問を受け、現在、こども家庭審議会の下の基本政策部会において、こども大綱の第1～第5に該当する部分を対象に調査審議が行われている。
- ・ 答申を踏まえて、こども政策推進会議が「目標・指標」を含めたこども大綱の案を作成した上で、政府でこども大綱を閣議決定。
  - ✓ 「目標・指標」は、答申を踏まえて、こども政策推進会議の下で検討・調整。
  - ✓ こども大綱の下で進める施策の具体的内容は、「こどもまんなか実行計画(仮称)」として、こども政策推進会議において、大綱の案の了承と併せて、決定。

こども家庭審議会

内閣総理大臣より諮問

内閣総理大臣へ答申

こども政策推進会議  
(こども大綱の案の作成主体)

## 答申

(今後5年程度を見据えた基本的な方針及び重要事項等)

- 第1 はじめに
- 第2 こども施策に関する基本的な方針
- 第3 こども施策に関する重要事項
- 第4 こども施策を推進するために必要な事項
- 第5 おわりに

※項目名は仮称であり、今後、変わり得る。

## こども大綱

- 第1 はじめに
- 第2 こども施策に関する基本的な方針
- 第3 こども施策に関する重要事項
- 第4 こども施策を推進するために必要な事項
- 第5 おわりに

別紙 目標・指標

※項目名は仮称であり、今後、変わり得る。

こども政策推進会議で案の了承  
→閣議決定(5年程度)

+

こども政策推進会議決定(毎年改定)

こどもまんなか実行計画(仮称)

※ こども大綱の下で進める施策の具体的内容

水戸市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会名簿

令和5年7月10日現在

No.	氏名	区分	所属団体等
1	あおき かをり 青木 かを里	関係団体	水戸市医師会
2	おかだ すみこ 岡田 澄子	関係団体	水戸市民間保育園園長会
3	かくた つねみ 角田 恒巳	関係団体	水戸市住みよいまちづくり推進協議会
4	さいとう めぐみ 齊藤 恵	関係団体	NPO法人子育て応援・ペンギンくらぶ
5	さとう ゆきこ 佐藤 裕紀子	学識経験者	茨城大学教育学部
6	しが まさあき 志賀 正章	関係団体	水戸市学校長会
7	しどみ きよこ 薮 喜代子	関係団体	水戸市保健推進員連絡協議会
8	しらい みさき 白井 美沙紀	関係団体	水戸市国公立幼稚園・認定こども園PTA連絡協議会
9	すずき ゆうた 鈴木 優太	関係団体	水戸市保育所・認定こども園父母の会連絡協議会
10	なかにわ ゆみこ 中庭 由美子	学識経験者	水戸市議会
11	なかやま しょうしん 中山 彰真	関係団体	水戸市私立幼稚園協会
12	ねもと よしみ 根本 好美	市 民	一般公募
13	ほりの れいこ 堀野 礼子	関係団体	水戸市民生委員児童委員連合協議会
14	マースーかわまた マーサー 川又	学識経験者	水戸市議会
15	むろや なおこ 室谷 直子	学識経験者	常磐短期大学幼児教育保育学科
16	やまぐち ともこ 山口 朋子	市 民	一般公募

(50音順, 敬称略)